



## 令和2年度 小山町町民意識調査 分析結果まとめ

- 調査方法 : 往復郵便・留置記入方式  
(質問と回答が一体となったアンケート用紙に回答を直接記入し、その用紙を返信用封筒でそのまま返信していただく調査方法)
- 調査対象 : 町内在住20歳以上の男女  
(町内5地域よりバランスよく無作為抽出)
- 配布票数 : 1,500票
- 調査期間 : 令和2年11月6日 ~ 令和2年11月25日
- 回収結果 : 回収票数685通 ※回収率 45.7%

令和3年2月

・基本事項集計結果（問1～問5）	1
・前期基本計画の目標（指標）に関する結果一覧表	2
・問6「あなたは今後とも小山市に住み続けたいと思いますか」	3
・問7「あなたは町の施策全般について、どの程度満足していますか」	4
・問8－（1）「地域に安心できる防災の仕組みがある」	5
・問8－（2）「町民が手洗いや咳エチケット（マスクの着用等）などの 感染予防に自主的に取り組んでいる」	6
・問8－（3）「消防・救護体制が整っている」	7
・問8－（4）「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」	8
・問8－（5）「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」	9
・問8－（6）「安心して子どもを産み育てる環境が整っている」	10
・問8－（7）「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」	11
・問8－（8）「地域福祉のためのボランティア活動等に、進んで参加したい」	12
・問8－（9）「地域（近所）において、自身や家族の悩み事などを 真剣に相談できる人間関係が構築されている」	13
・問8－（10）「障がいのある人が社会参加し、自立している」	14
・問8－（11）「町内でユニバーサルデザインの取組が推進されている」	15
・問8－（12）「町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる」	16
・問8－（13）「必要な時に適切な医療が受けられる」	17
・問8－（14）「高齢者が自立していきいきと暮らしている」	18
・問8－（15）「介護が必要な状態になった場合に適切なサービスが 受けられる」	19
・問8－（16）「生きる力を育む学校教育が行われている」	20
・問8－（17）「子どもの教育について、学校・家庭・地域の 連携が取れている」	21
・問8－（18）「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」	22

・問 8－(19)「生涯学習活動の機会や場が充実している」	23
・問 8－(20)「図書館が便利で使いやすい」	24
・問 8－(21)「町民が伝統文化や郷土を大切にしている」	25
・問 8－(22)「文化芸術に触れる機会が充実している」	26
・問 8－(23)「町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」	27
・問 8－(24)「地域間交流や国際交流が活発に行われている」	28
・問 8－(25)「小山町は企業誘致を活発に進めている」	29
・問 8－(26)「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」	30
・問 8－(27)「『金太郎生誕の地おやま』のPRが行われている」	31
・問 8－(28)「富士山須走口についての情報発信が行われている」	32
・問 8－(29)「小山町は“農業”の活性化に取り組んでいる」	33
・問 8－(30)「小山町は“林業”の活性化に取り組んでいる」	34
・問 8－(31)「賑わいのある商業地づくりを行っている」	35
・問 8－(32)「町は移住・定住施策に積極的に取り組んでいる」	36
・問 8－(33)「町内の自然環境が適切に保全されている」	37
・問 8－(34)「小山町は地球温暖化対策が進んでいる」	38
・問 8－(35)「小山町はごみの減量化や資源化が進んでいる」	39
・問 8－(36)「清らかで豊かな水資源が守られている」	40
・問 8－(37)「町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる」	41
・問 8－(38)「安全な水道水が安定供給されている」	42
・問 8－(39)「汚水(下水)が適切に処理されている」	43
・問 8－(40)「道路網が便利で快適である」	44
・問 8－(41)「計画的な土地利用が行われている」	45
・問 8－(42)「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした 美しいまちづくりができています」	46
・問 8－(43)「誰もが住みやすい住環境が整っている」	47
・問 8－(44)「自身が暮らす地域に満足できる 公園・緑地が確保されている」	48
・問 8－(45)「町民が自主的に参加してまちづくりを進めている」	49

・問 8－(46)「地域コミュニティが活発である」	50
・問 8－(47)「普段の生活の中で、男女が平等である」	51
・問 8－(48)「町からの必要な情報が適切に伝わっている」	52
・問 8－(49)「小山町は周辺市町村と連携している」	53
・問 8－(50)「無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の 情報が正確に伝わっている」	54
・問 8－(51)「小山町は日頃（有事の際も含む）から、 自衛隊と連携が取れている」	55
・問 8－(52)「町は町民目線に立ち、透明性・公平性の高い 行政運営を行っている」	56
・問 8－(53)「町職員の窓口対応及び各種対応に満足している」	57
・問 8－(54)「町は効率的・効果的な行政運営を行っている」	58
・問 25 「普段から地元産（小山町・御殿場市）のお米を食べている」	59

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 基本事項集計結果 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

問1 あなたの性別は。  
 男性：323人 (47.2%)      女性：354人 (51.7%)      無回答：8人 (1.2%)

問2 あなたの年齢は。  
 20代：57人 (8.3%)      50代：105人 (15.3%)      80代：5人 (0.7%)  
 30代：89人 (13.0%)      60代：160人 (23.4%)      無回答：4人 (0.6%)  
 40代：102人 (14.9%)      70代：163人 (23.8%)

問3 あなたのお住いの地区はどこですか。  
 成美地区：135人 (19.7%)      北郷地区：221人 (32.3%)  
 明倫地区：90人 (13.1%)      須走地区：147人 (21.5%)  
 足柄地区：83人 (12.1%)      無回答：9人 (1.3%)

問4 あなたは現在結婚されていますか。  
 結婚している（事実婚を含む）：505人 (73.7%)  
 結婚していない：119人 (17.4%)  
 結婚していたが、離婚・死別した：58人 (8.5%)      無回答：3人 (0.4%)

問5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。（別居を含む）  
 子どもがいる：510人 (74.5%)  
 子どもはいない：167人 (24.4%)      無回答：8人 (1.2%)

子どもの人数

1人：98人 (19.2%)      4人：11人 (2.2%)  
 2人：254人 (49.8%)      5人：2人 (0.2%)  
 3人：139人 (27.3%)      6人：2人 (0.4%)      無回答：5人 (1.0%)

※各項目の分析について

問6以降の結果については、全体・地区別・男女（年齢）別に分析をしました。なお分析は、第5次小山町総合計画前期基本計画の目標（指標）に関するもの（次頁参照）のみとしています。

今回、同時に調査を行った「男女共同参画について」「ごみの捨て方等について」「健康・子育て・保健事業について」「地元産のお米の消費状況について」「町の防災の取組について」「ICT（情報通信技術）の利活用について」「町のコミュニティバスについて」の結果につきましては、それぞれの所管課において、事業立案や各種計画の策定に活用されます。

担当・問合せ：小山町 企画政策課  
 76-6133

後期基本計画の目標(指標)に関する結果一覧表

前期基本計画の施策(ナンバーとタイトル)	アンケートNo.	町民アンケートによる目標(指標)	H30(前々回)	R1(前回)	R2(今回)	前回の比較	(目標)
1-1 自然災害への対策	問8-(1)	地域に安心できる防災の仕組みがある	48%	48%	52%	↑	60%
1-2 危機管理体制の強化	問8-(2)	町民が手洗いや咳エチケット(マスクの着用等)などの感染予防に自主的に取り組んでいる	-	-	79%	-	90%
1-3 消防・救護体制の推進	問8-(3)	消防・救護体制が整っている	75%	74%	66%	↓	80%
1-4 交通事故・犯罪のないまちづくり	問8-(4)	交通事故や犯罪が少なく、安心して生活ができる	72%	69%	80%	↑	90%
1-4 交通事故・犯罪のないまちづくり	問8-(5)	消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる	71%	65%	77%	↑	90%
2-1 子ども・子育て支援の充実	問8-(6)	安心して子どもを育てる環境が整っている	48%	45%	57%	↑	60%
2-2 地域共生社会の実現に向けた取組	問8-(7)	町民が地域で互いに支え合って暮らしている	53%	53%	57%	↑	70%
2-2 地域共生社会の実現に向けた取組	問8-(8)	地域福祉のためのボランティア活動等に、進んで参加したい	-	38%	36%	↓	55%
2-2 地域共生社会の実現に向けた取組	問8-(9)	地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを真剣に相談できる人間関係が構築されている	28%	28%	30%	↑	55%
2-2 地域共生社会の実現に向けた取組	問8-(10)	障がいのある人が社会参加し、自立している	27%	23%	24%	↑	55%
2-2 地域共生社会の実現に向けた取組	問8-(11)	町内でユニバーサルデザインの取組が推進されている	-	-	18%	-	50%
2-3 健康寿命の延伸と包括的支援の充実	問8-(12)	町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる	42%	36%	44%	↑	55%
2-3 健康寿命の延伸と包括的支援の充実	問8-(14)	高齢者が自立していきいきと暮らしている	37%	33%	45%	↑	55%
3-1 生きる力を育む学校教育の充実	問8-(16)	生きる力を育む学校教育が行われている	48%	46%	40%	↓	50%
3-1 生きる力を育む学校教育の充実	問8-(17)	子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている	51%	48%	49%	↑	55%
3-1 生きる力を育む学校教育の充実	問8-(18)	次世代を担う子どもたちが健やかに成長している	63%	62%	63%	↑	70%
3-2 心豊かな生涯学習の推進	問8-(19)	生涯学習活動の機会や場が充実している	53%	51%	42%	↓	50%
3-2 心豊かな生涯学習の推進	問8-(20)	図書館が便利で使いやすい	46%	43%	37%	↓	50%
3-3 文化芸術活動の振興	問8-(21)	町民が伝統文化や郷土を大切にしている	57%	54%	48%	↓	60%
3-3 文化芸術活動の振興	問8-(22)	文化芸術に触れる機会が充実している	-	-	27%	-	50%
3-4 スポーツ・レクリエーション活動の振興	問8-(23)	町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている	41%	41%	36%	↓	50%
3-4 スポーツ・レクリエーション活動の振興	問8-(12)	町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる(再掲)	42%	36%	44%	↑	55%
3-5 地域間交流・国際交流の推進	問8-(24)	地域間交流や国際交流が活発に行われている	37%	30%	20%	↓	50%
4-1 三来拠点事業の推進	問8-(25)	小山町は企業誘致を活発に進めている	55%	50%	51%	↑	60%
4-2 地域資源を活用した観光交流の振興	問8-(26)	町内の観光施設等で外国語表記が充実している	19%	19%	21%	↑	50%
4-2 地域資源を活用した観光交流の振興	問8-(27)	「金太郎生誕の地おやま」のPRが行われている	53%	48%	46%	↓	60%
4-2 地域資源を活用した観光交流の振興	問8-(28)	富士山須走口についての情報発信が行われている	35%	29%	26%	↓	50%
4-3 活力ある農業の振興と継承	問8-(29)	小山町は“農業”の活性化に取り組んでいる	39%	33%	34%	↑	50%
4-3 活力ある農業の振興と継承	問25	普段から地元(小山町・御殿場市)のお米を食べている	-	-	66%	-	75%
4-4 適切な森林整備を通じた林業の活性化	問8-(30)	小山町は“林業”の活性化に取り組んでいる	27%	22%	21%	↓	50%
4-5 賑わいと活気があふれる商工業の振興	問8-(31)	賑わいのある商業地づくりを行っている	11%	7%	9%	↑	50%
4-6 地域特性を活かした移住定住の促進	問8-(32)	町は移住・定住施策に積極的に取り組んでいる	-	-	37%	-	50%
4-6 地域特性を活かした移住定住の促進	問8-(6)	安心して子どもを育てる環境が整っている(再掲)	48%	45%	57%	↑	60%
5-1 恵まれた環境の保全	問8-(33)	町内の自然環境が適切に保全されている	66%	64%	46%	↓	70%
5-2 地球温暖化対策の推進	問8-(34)	小山町は地球温暖化対策が進んでいる	-	-	18%	-	50%
5-3 資源循環型社会の構築	問8-(35)	小山町はごみの減量化や資源化が進んでいる	58%	52%	40%	↓	60%
5-4 清らかで豊かな水資源の保全と活用	問8-(36)	清らかで豊かな水資源が守られている	80%	77%	68%	↓	80%
6-1 公共交通の維持・活性化	問8-(37)	町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる	27%	19%	34%	↑	50%
6-2 安全な水の安定供給と適切な下水処理	問8-(38)	安全な水道水が安定供給されている	91%	90%	86%	↓	95%
6-2 安全な水の安定供給と適切な下水処理	問8-(39)	汚水(下水)が適切に処理されている	63%	59%	57%	↓	70%
6-3 安全で快適な道路網の整備	問8-(40)	道路網が便利で快適である	30%	26%	35%	↑	50%
6-4 活力ある土地利用の推進	問8-(41)	計画的な土地利用が行われている	34%	29%	23%	↓	50%
6-5 良好な景観の形成と住環境の整備	問8-(42)	富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができています	52%	48%	44%	↓	60%
6-5 良好な景観の形成と住環境の整備	問8-(43)	誰もが住みやすい住環境が整っている	24%	20%	27%	↑	50%
6-6 公園・緑地整備の推進	問8-(44)	自身が暮らす地域に満足できる公園・緑地が確保されている	39%	40%	36%	↓	50%
7-1 町民の目線に立った町政運営	問8-(52)	町は町民目線に立ち、透明性・公平性の高い行政運営を行っている	33%	27%	32%	↑	50%
7-1 町民の目線に立った町政運営	問8-(53)	町職員の窓口対応及び各種対応に満足している	-	-	49%	-	75%
7-2 参加と協働によるまちづくり	問8-(45)	町民が自主的に参加してまちづくりを進めている	30%	22%	22%	↓	50%
7-2 参加と協働によるまちづくり	問8-(46)	地域コミュニティが活発である	33%	27%	24%	↓	50%
7-2 参加と協働によるまちづくり	問8-(47)	普段の生活の中で、男女が平等である	43%	40%	39%	↓	55%
7-2 参加と協働によるまちづくり	問8-(48)	町からの必要な情報が適切に伝わっている	47%	49%	48%	↓	70%
7-3 効率的な行政運営の推進	問8-(54)	町は効率的・効果的な行政運営を行っている	-	-	34%	-	50%
7-5 広域連携の推進	問8-(49)	小山町は周辺市町村と連携している	28%	22%	41%	↑	50%
7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄	問8-(50)	無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている	-	-	76%	-	85%
7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄	問8-(51)	小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている	-	-	55%	-	65%
	問8-(13)	必要な時に適切な医療が受けられる	45%	41%	43%	↑	-
	問8-(15)	介護が必要な状態になった場合に適切なサービスが受けられる	43%	36%	39%	↑	-

●アンケート実施期間：令和2年11月6日～令和2年11月25日 ●アンケート発送数：1,500通 ⇒ 回収数：685通 ⇒ 回収率：45.7%

(参考・・・昨年度回収票数：544通 昨年度回収率：36.3%)

●前回よりも評価が上がったもの(↑)：22件 横ばいなもの(→)：0件 下がったもの(↓)：23件 本年度からの指標により評価対象外(-)：10件

問6 「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」

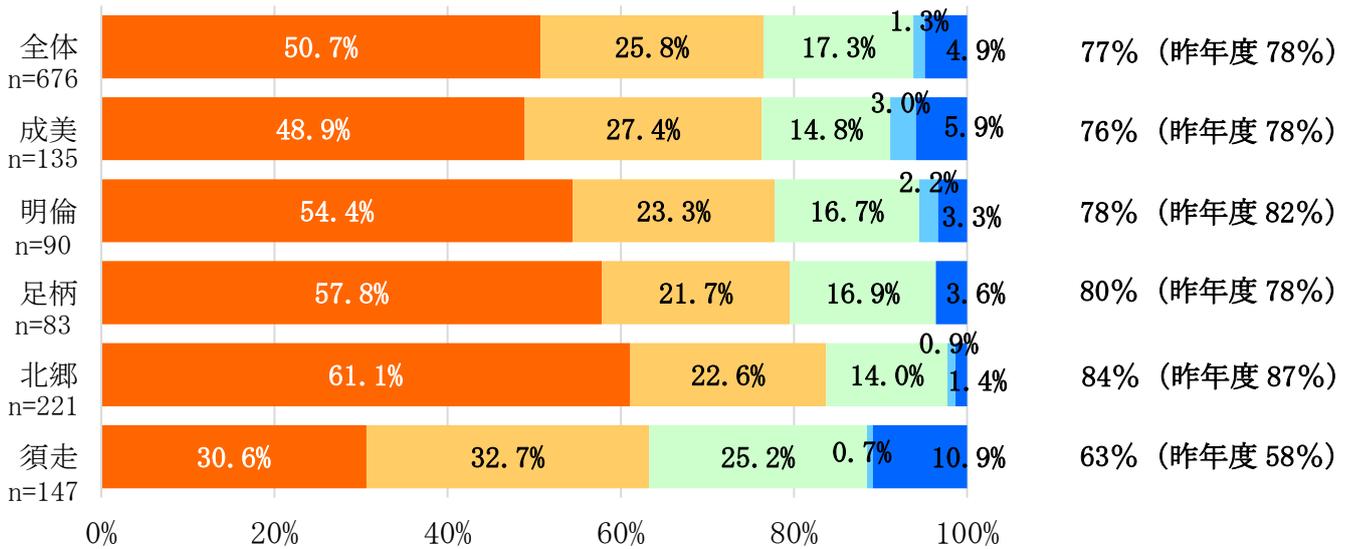
今回の調査で、「現在の場所にずっと住み続けたい」及び「当分このまま住み続けたい」と回答した町民の割合を、「今後とも小山町に住み続けたい」という「定住意向」がある人の割合とします。

定住意向がある人の割合 ⇒ 77% (昨年度 78%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

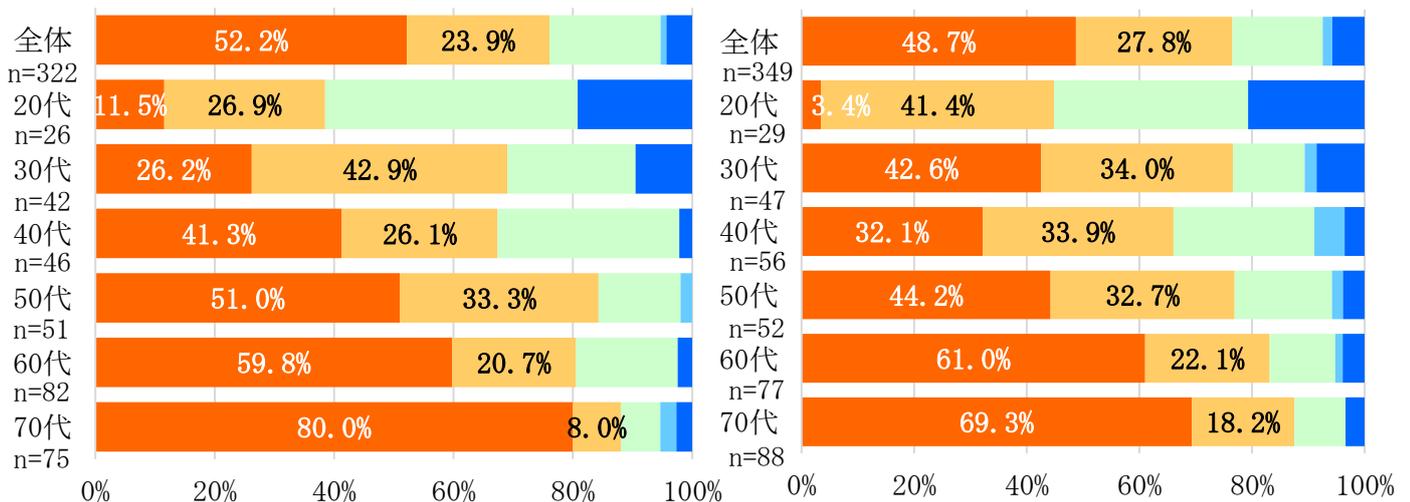
- 現在の場所にずっと住み続けたい
- 当分このまま住み続けたい
- どちらとも言えない
- 町内の他の場所に移りたい
- 町外に移りたい

【定住意向】



【男性】

【女性】



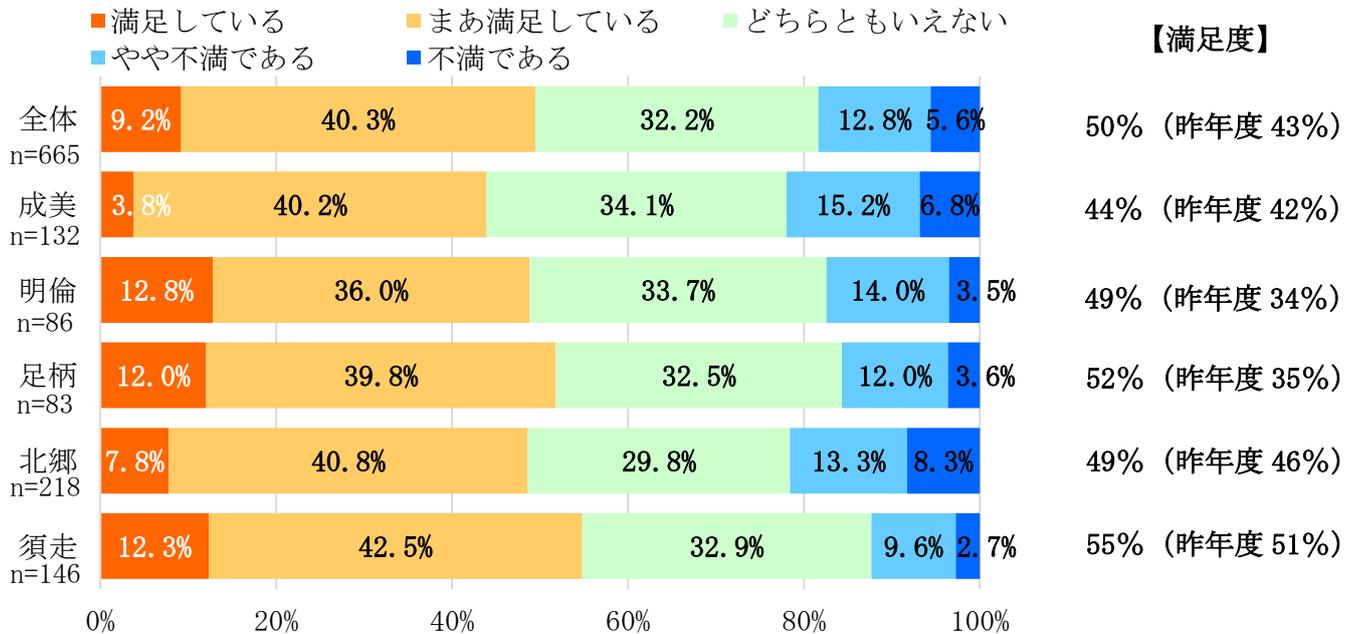
地区別の比較においては、須走を除く4地区で昨年度に比べて若干下がっており、須走のみ5ポイント上昇しています。須走を除く4地区については、70%後半～80%前半となっており、特に北郷地区が高いと言えます。男女別の比較では、男性・女性とも20歳代の定住意向が非常に低く、年齢を重ねるごとに定住意向が高まる傾向にあります。

問7 「あなたは、町の施策全体について、どの程度満足していますか。」

今回の調査で、「満足している」及び「まあ満足している」と回答した町民の割合を、町の施策全体に満足している人の割合とします。

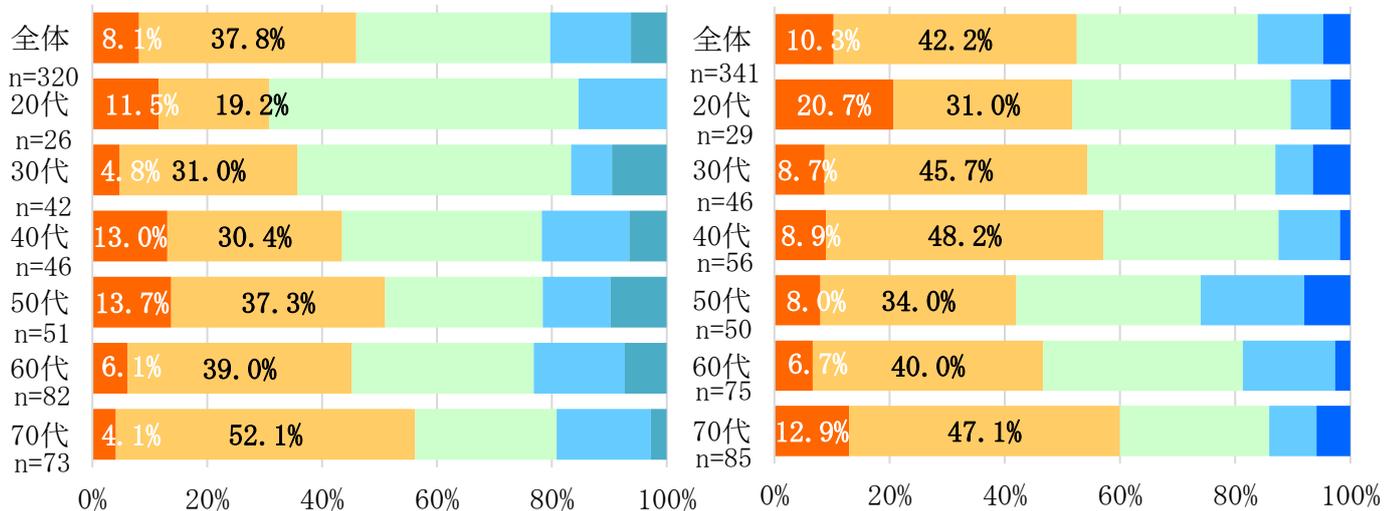
町の施策全体に満足している人の割合 ⇒ 50% (昨年度 43%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】



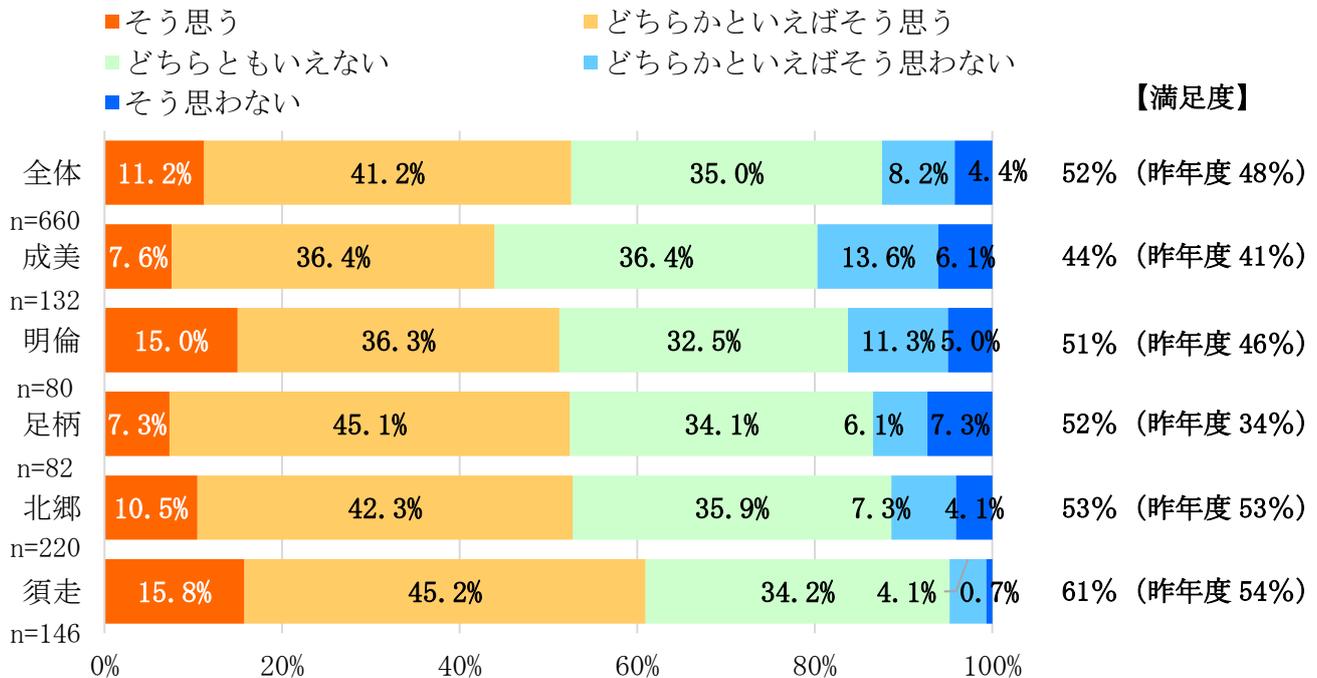
地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、成美地区が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、50歳代、70歳代の満足度が高く、20歳代、30歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では30歳代、40歳代、70歳代の満足度が高く、50歳代、60歳代の満足度が低いという結果となっています。

【※問 8 の全ての質問において、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合を、『町民の満足度』としています。

問 8 - (1) 「地域に安心できる防災の仕組みがある」

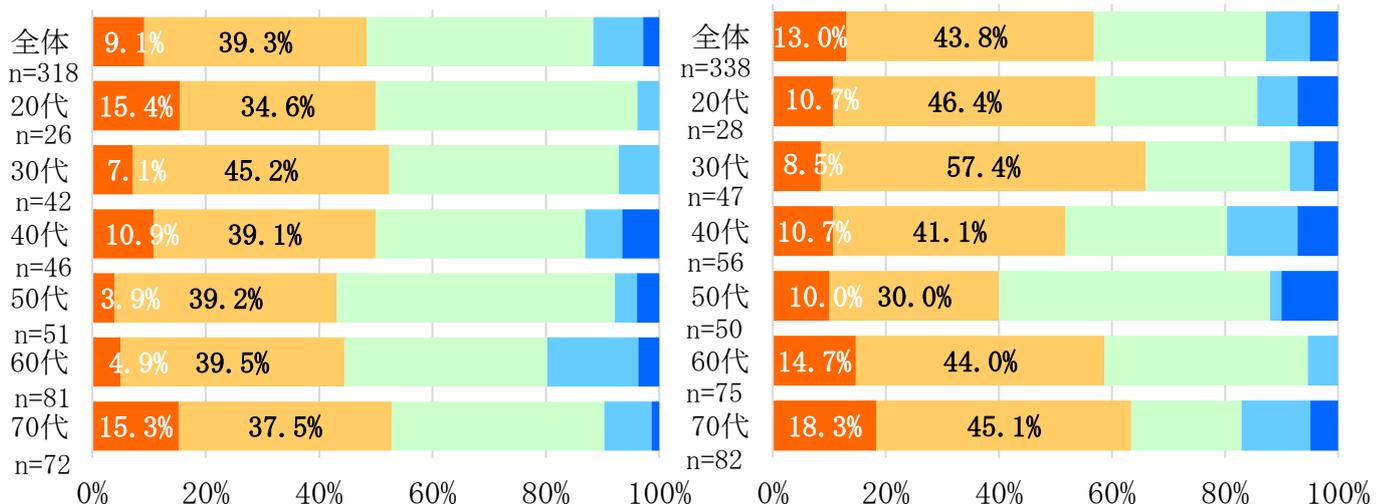
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **52% (昨年度 48%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

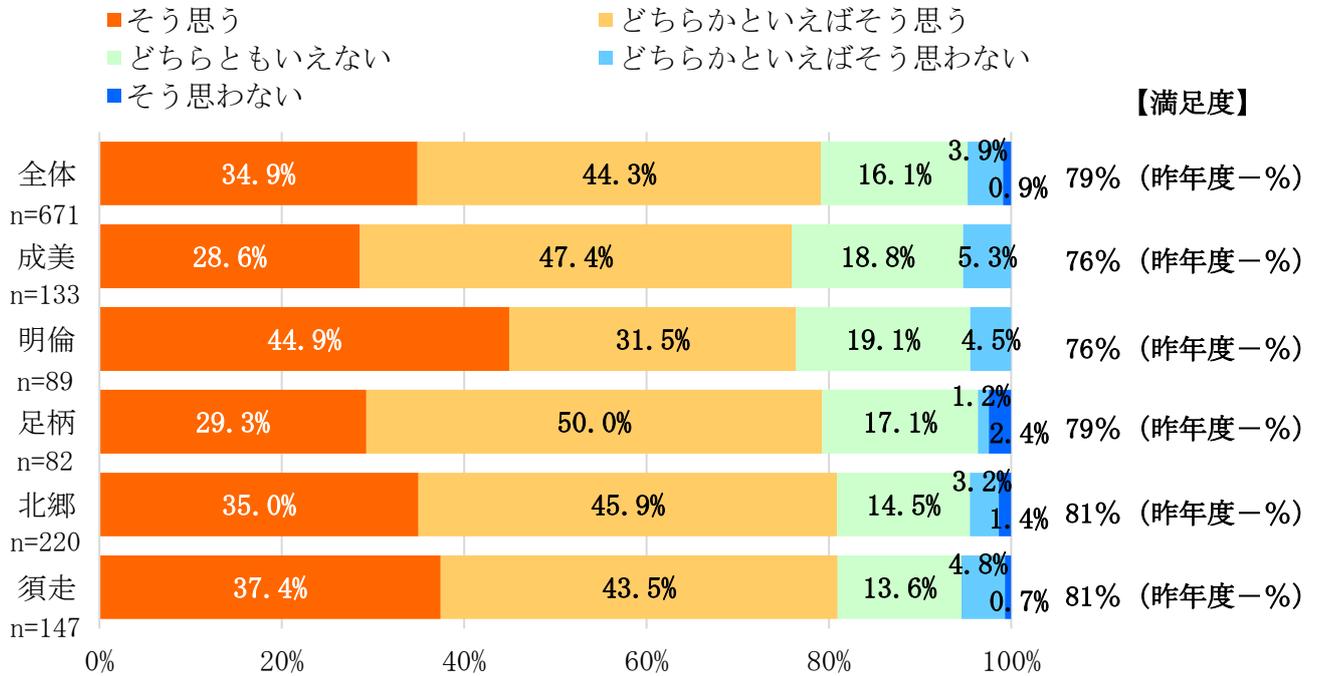


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、成美地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、全体的に女性の満足度が高くなっており、特に女性の30歳代が高くなっています。

問 8 - (2) 「町民が手洗いや咳エチケット（マスクの着用等）などの感染予防に自主的に取り組んでいる」

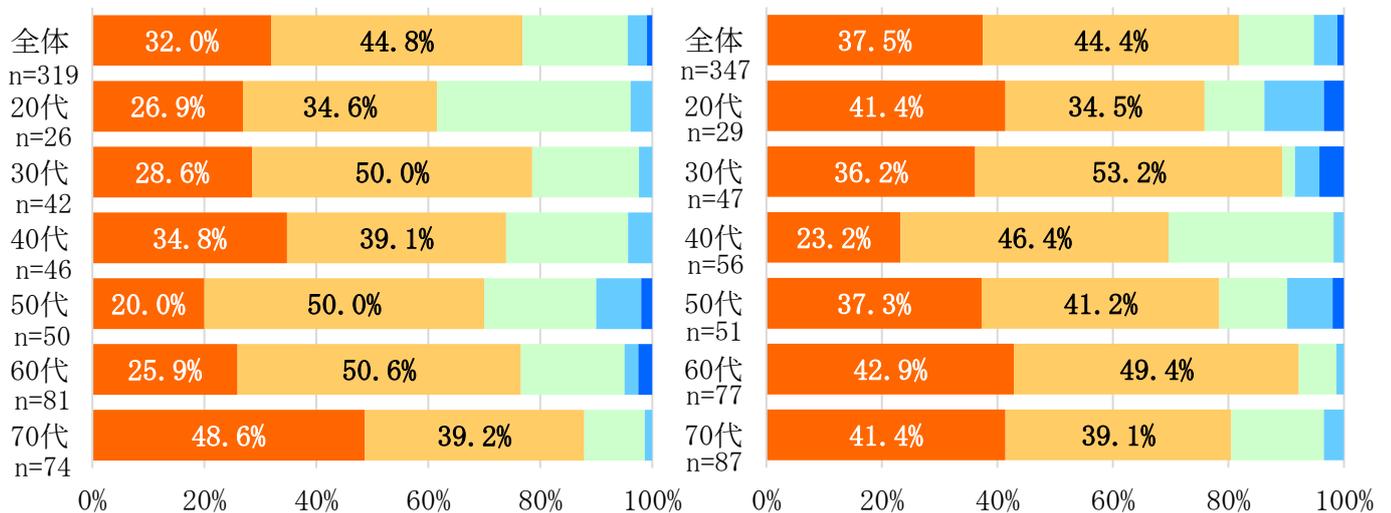
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **79% (昨年度-%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

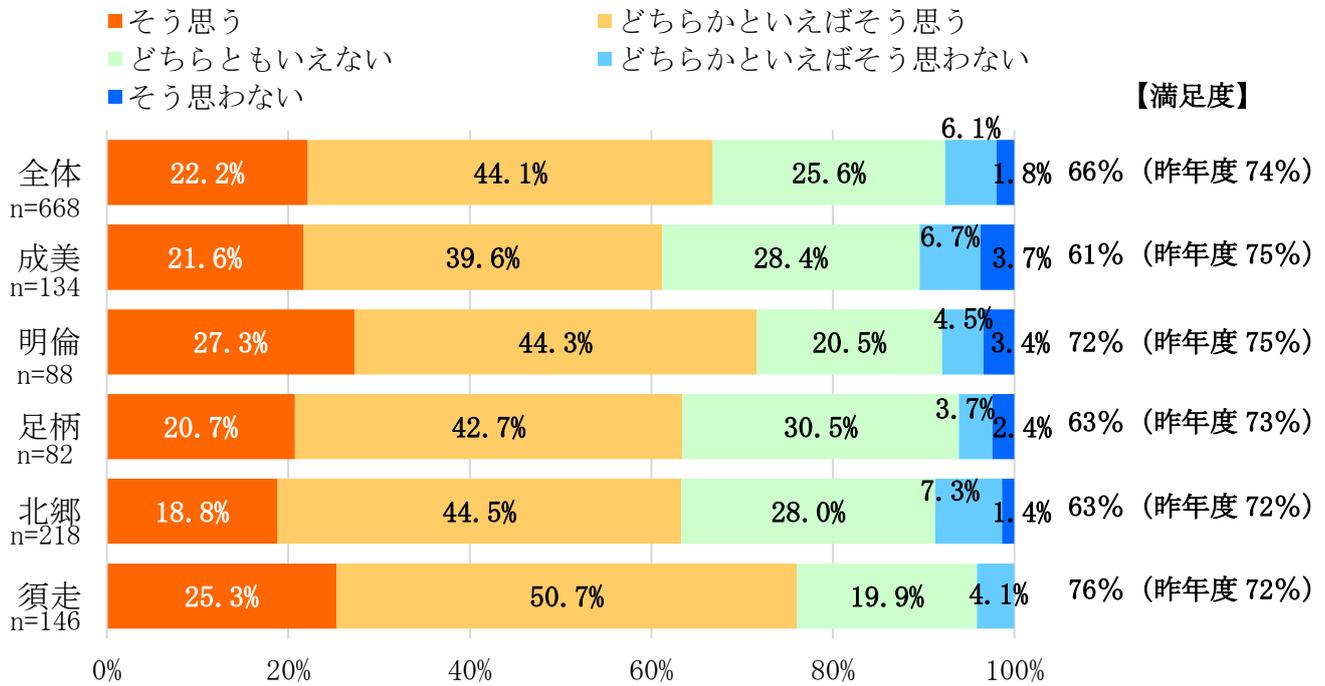


地区別の比較では、どの地区も高めで、北郷地区・須走地区が最も高くなっています。男女（年齢）別の比較では、全体的に女性の満足度が高くなっており、特に女性の30歳代・60歳代が高くなっています。

問8－(3) 「消防・救護体制が整っている」

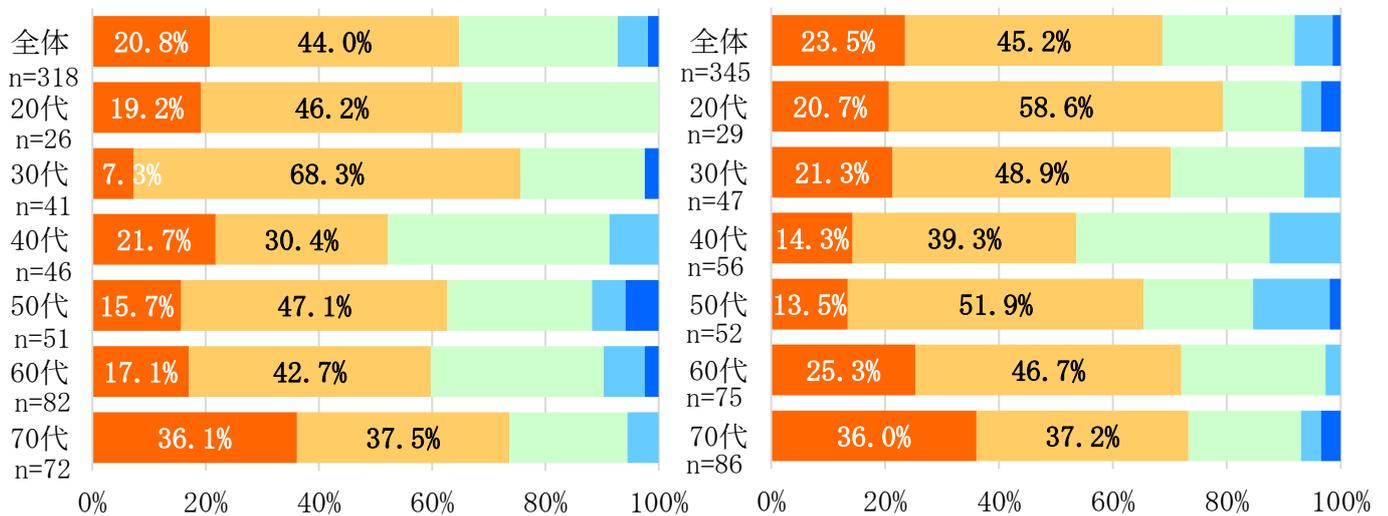
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **66% (昨年度 74%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

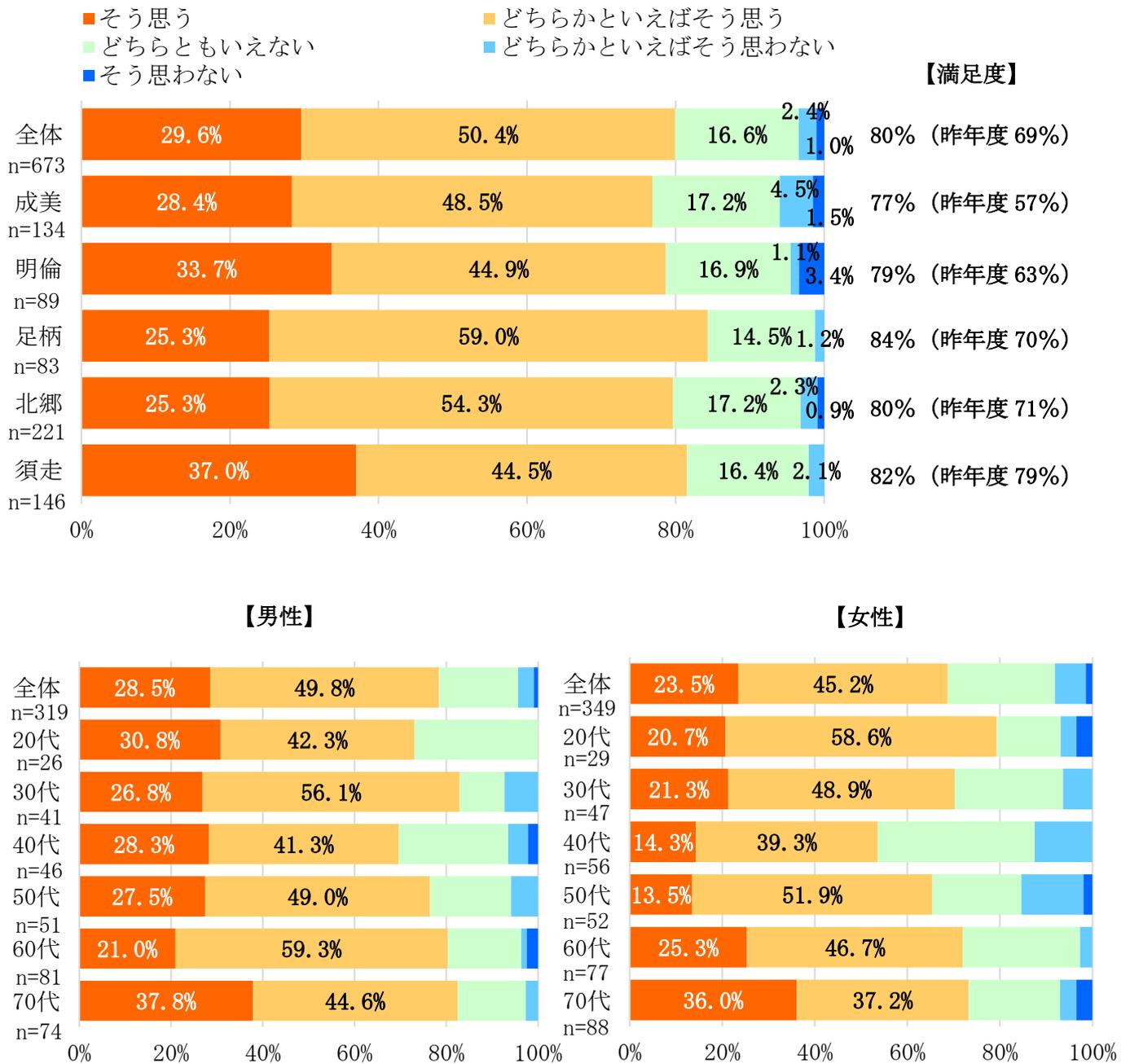


昨年度と比較して、全体的に下がっています。地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに40歳代が低くなっています。

問 8 - (4) 「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 80% (昨年度 69%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

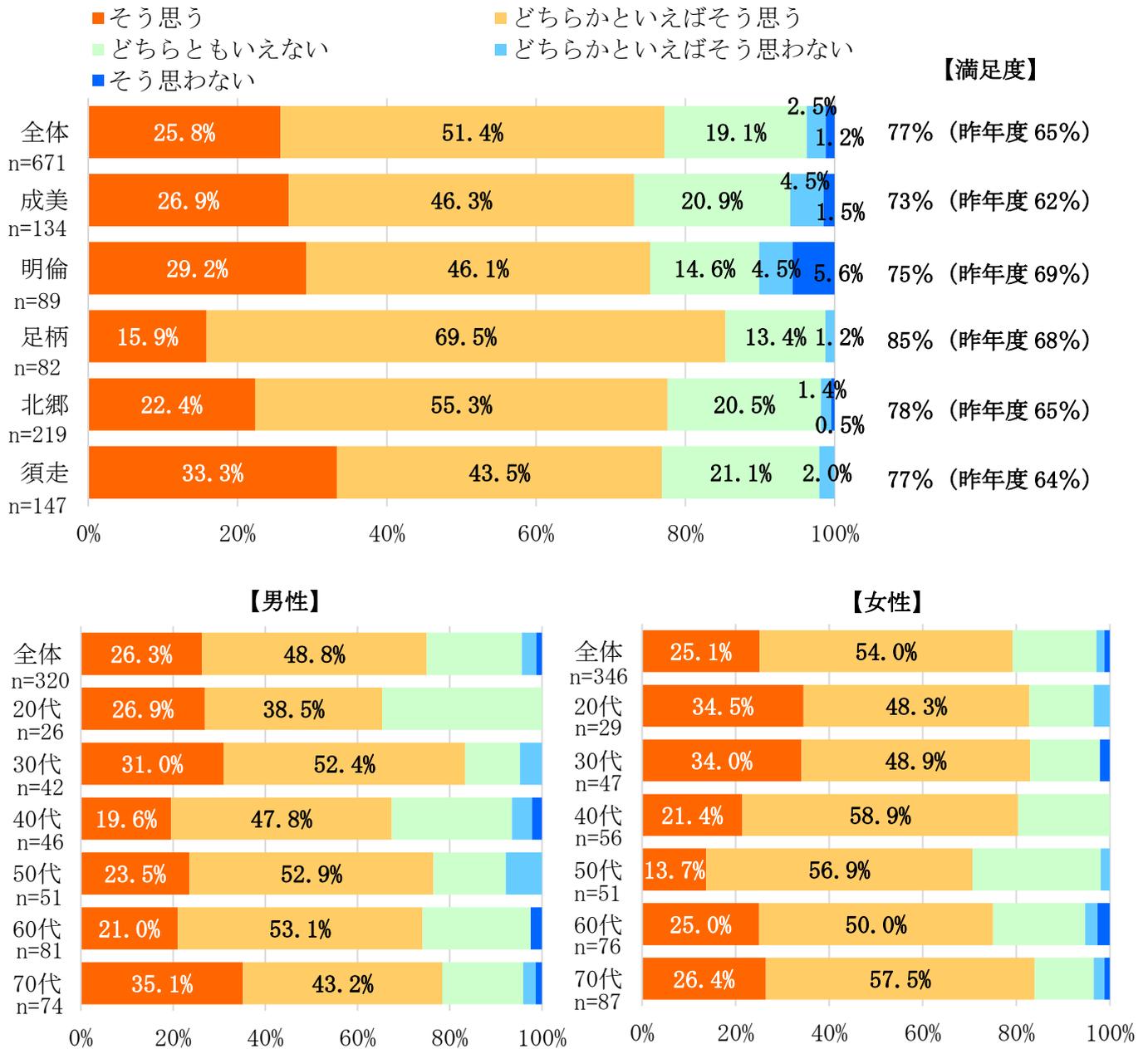


昨年度と比較して、全体的に上がっています。地区別の比較では、足柄地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では 30 歳代、70 歳代が、女性では 20 歳代、60 歳代・70 歳代が高くなっています。

問8－(5) 「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **77% (昨年度 65%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

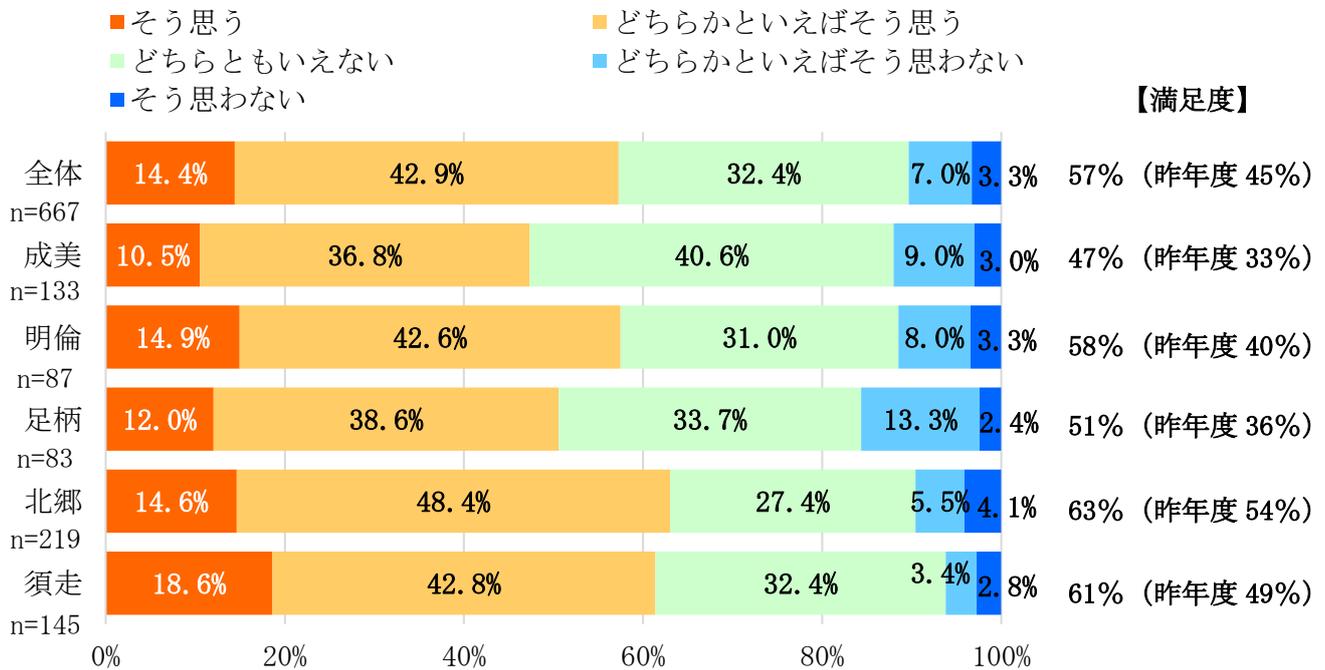


昨年度と比較して、全体的に上がっています。地区別の比較では、足柄地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では30歳代が、女性では70歳代が高くなっています。

問8－(6) 「安心して子どもを産み育てる環境が整っている」

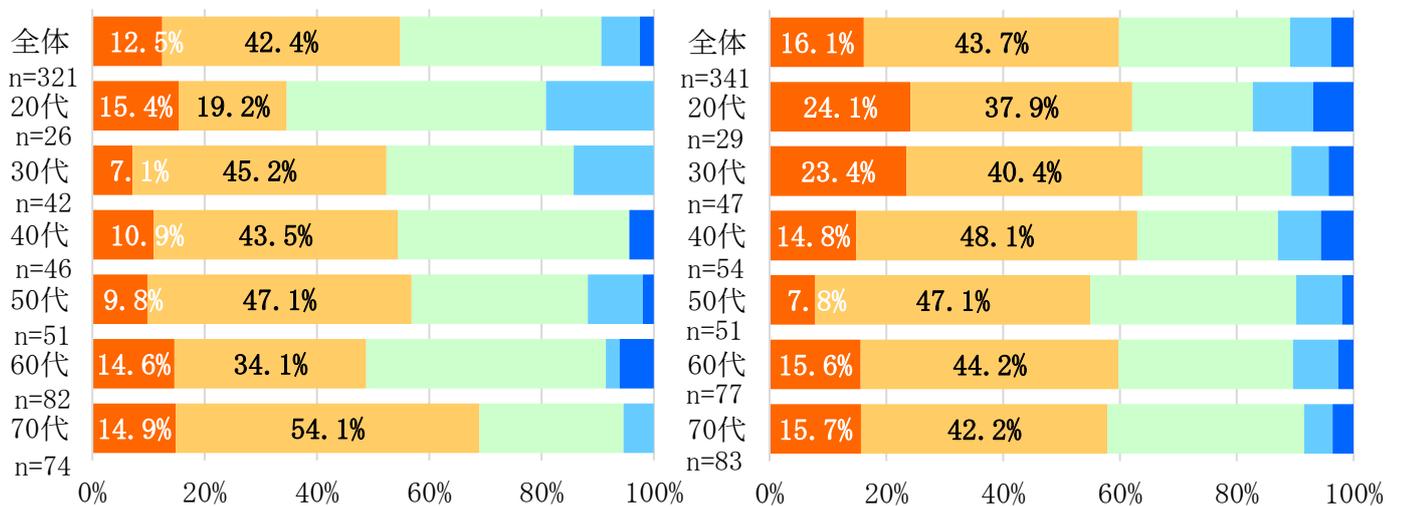
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 57% (昨年度 45%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

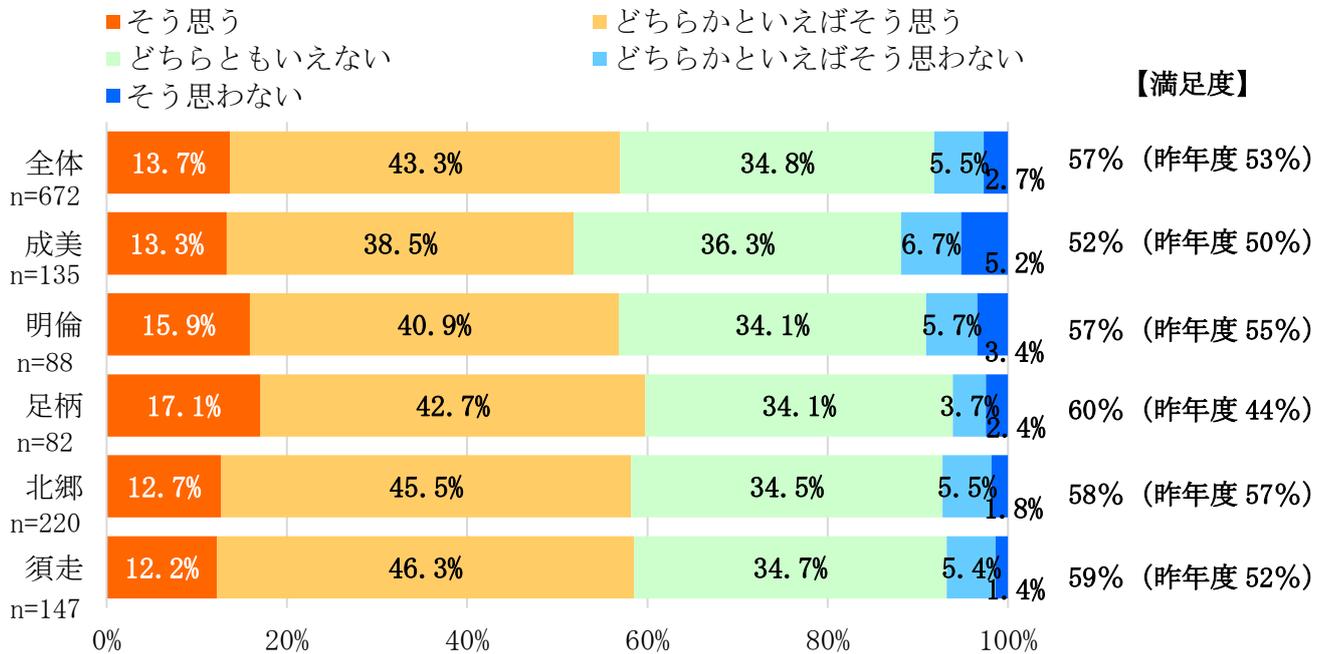


昨年度と比較して、全体的に上がっています。地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では70歳代が高く、20代が低い。女性では年代による際は少ないが、50歳代がやや低くなっています。

問8－(7) 「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」

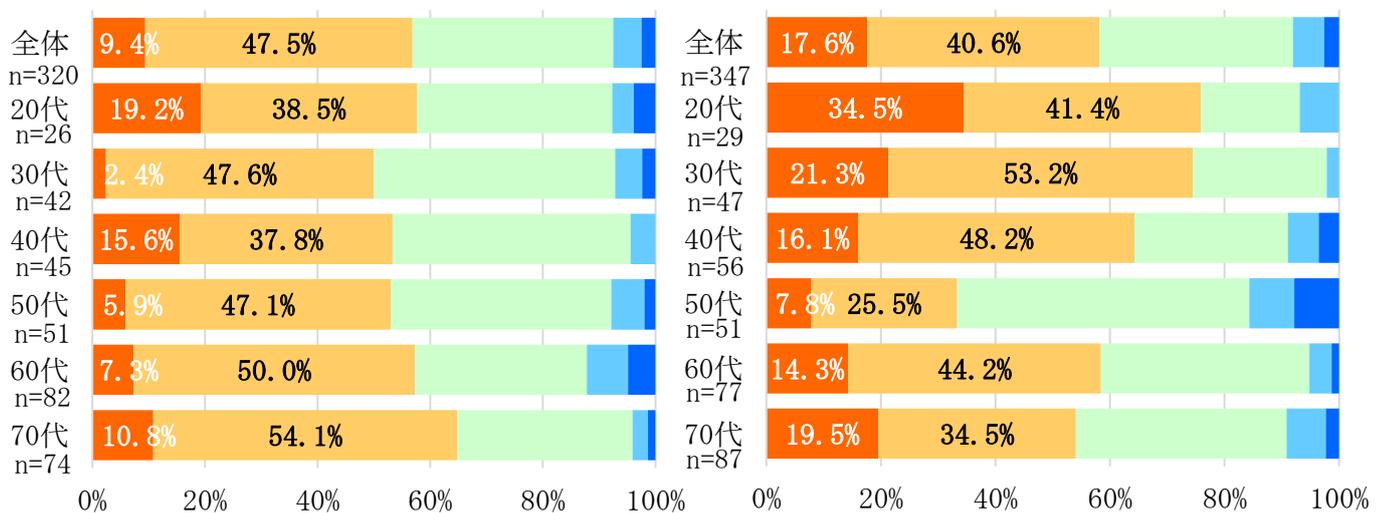
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 57% (昨年度 53%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

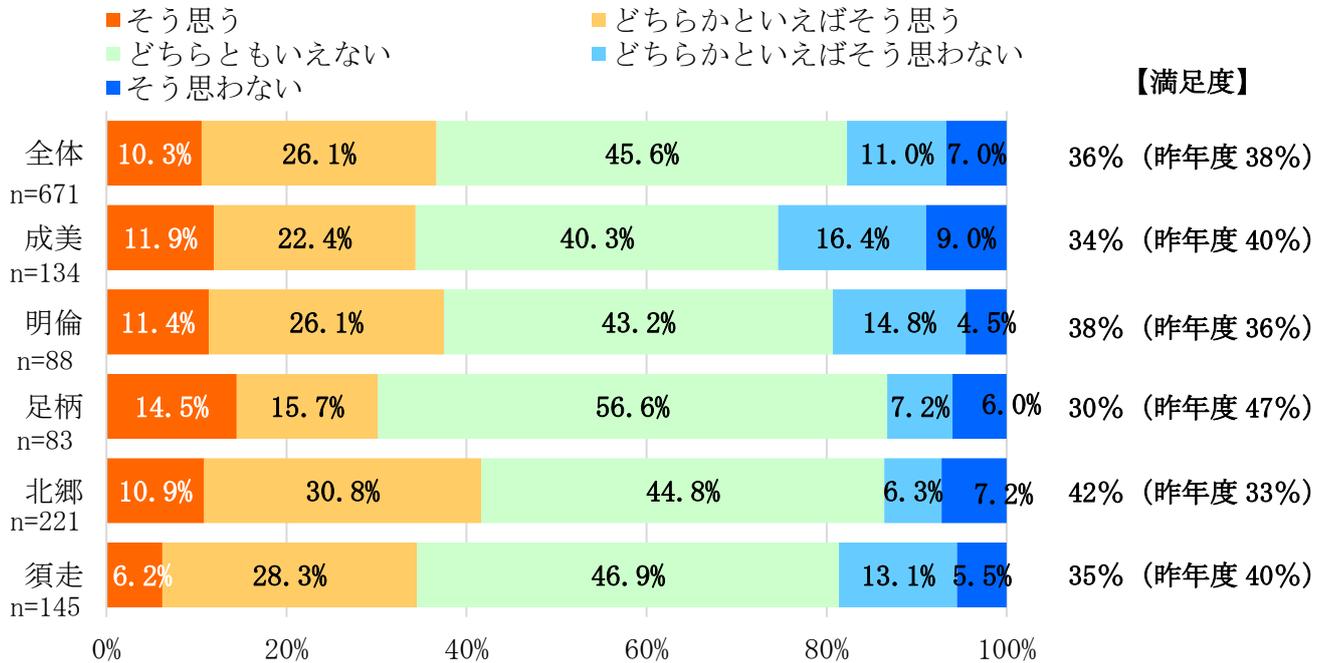


昨年度と比較して、全体的に上がっています。地区別の比較では、足柄地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では70歳代が高く、30代が低い。女性では20歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問8－(8) 「地域福祉のためのボランティア活動等に、進んで参加したい」

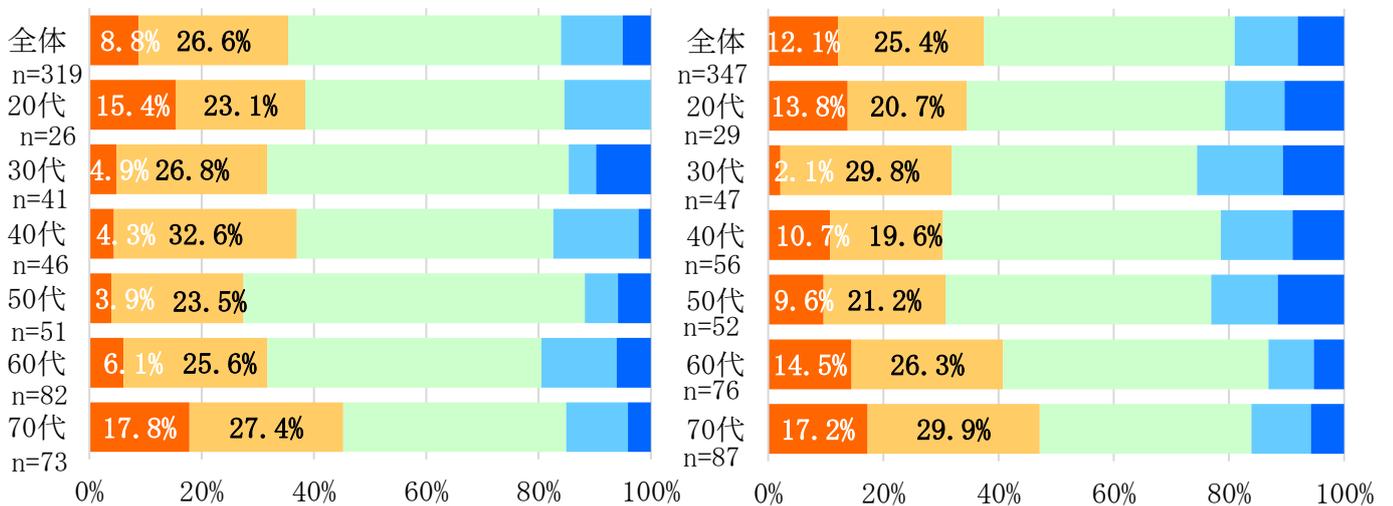
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **36% (昨年度 38%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

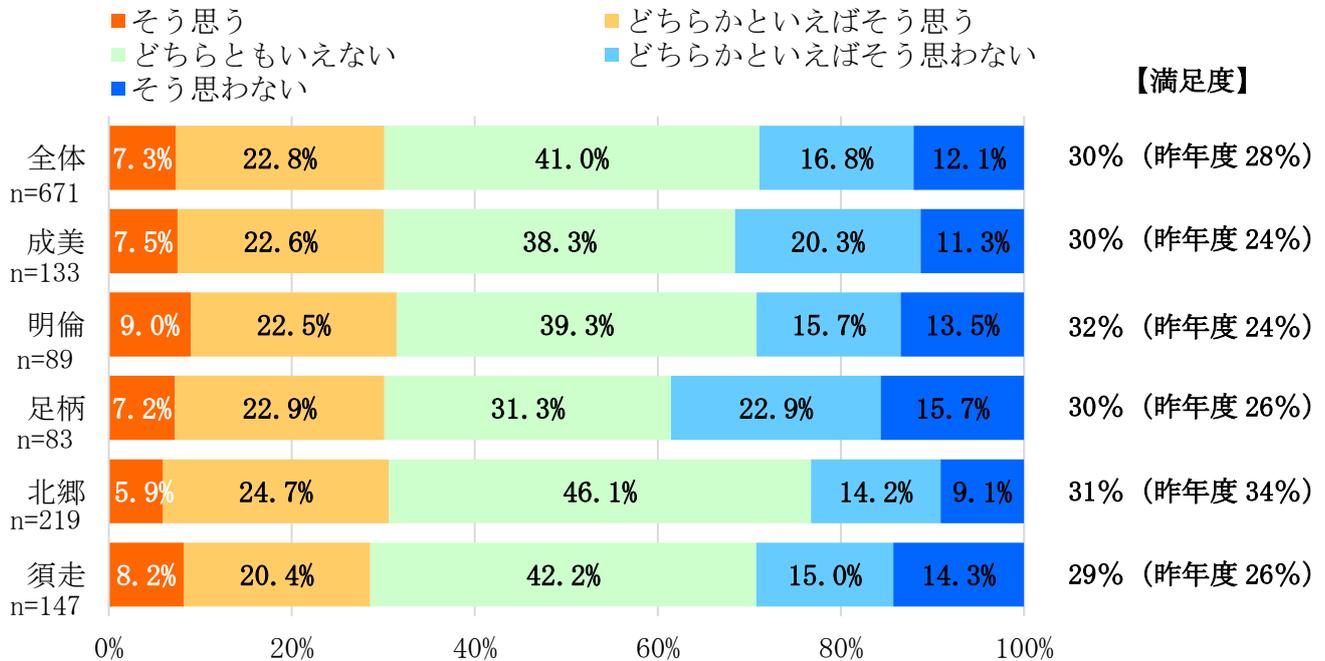


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では30歳代、50歳代が低く、女性では40歳代、50歳代が低くなっています。

問8－(9) 「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを  
真剣に相談できる人間関係が構築されている」

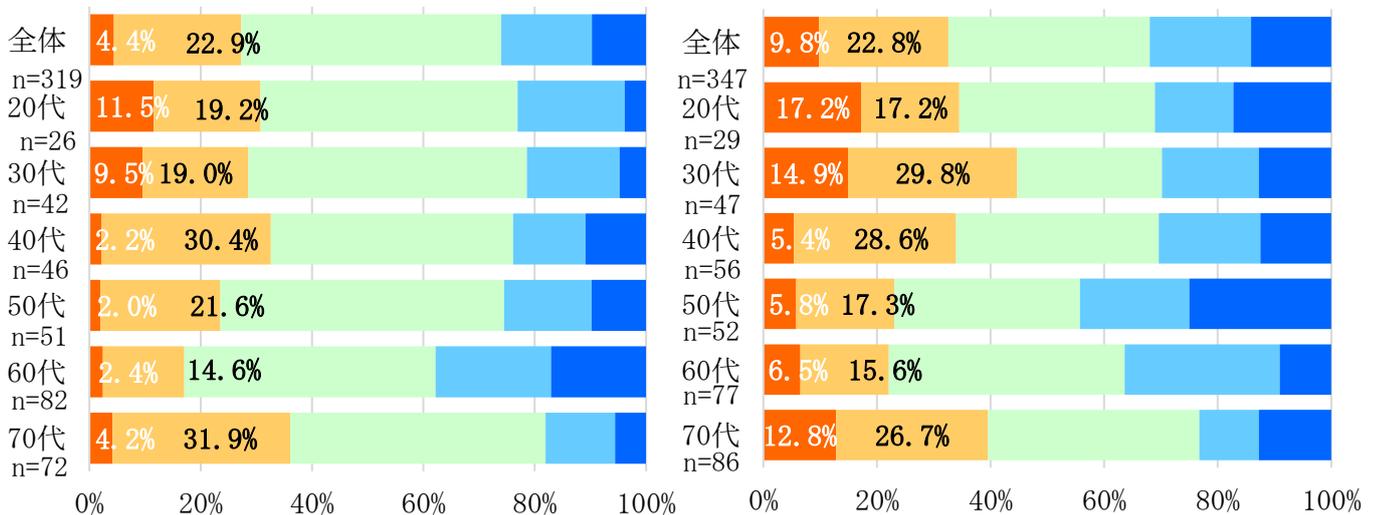
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **30% (昨年度 28%)**

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

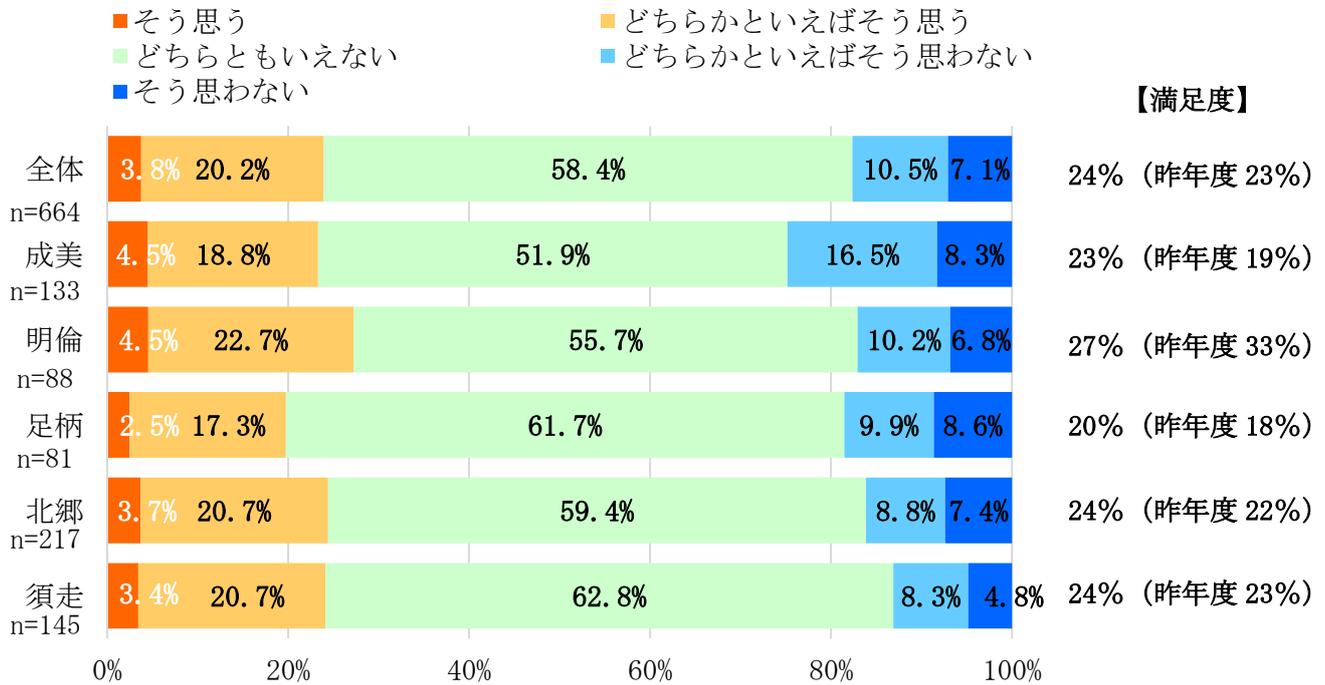


地区別の比較では、明倫地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男女ともに50歳代、60歳代が低くなっています。

問8－(10) 「障がいのある人が社会参加し、自立している」

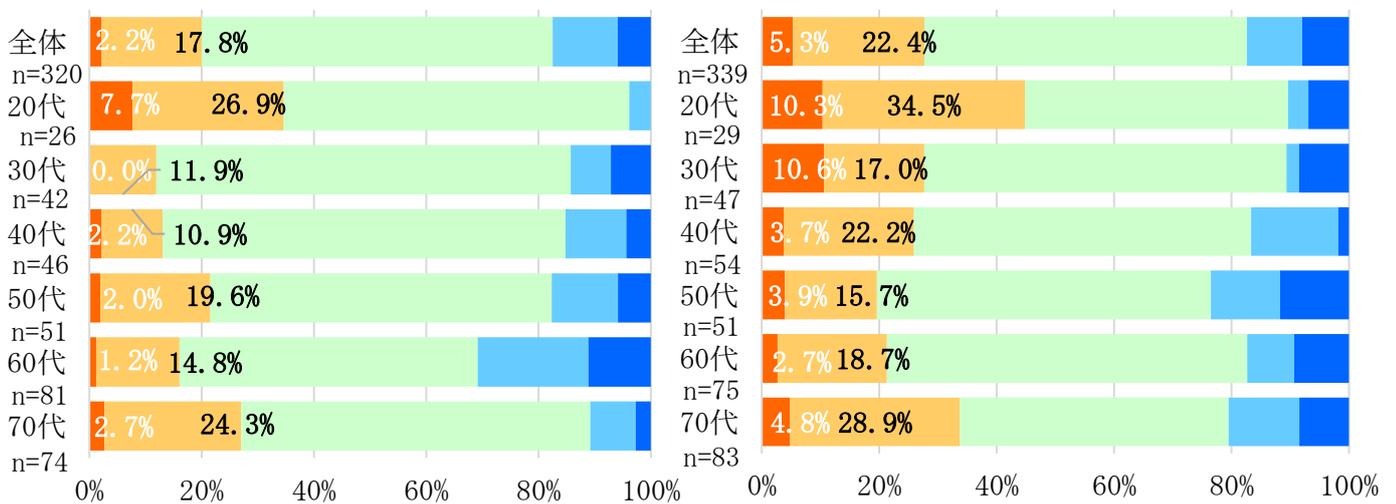
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **24% (昨年度 23%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

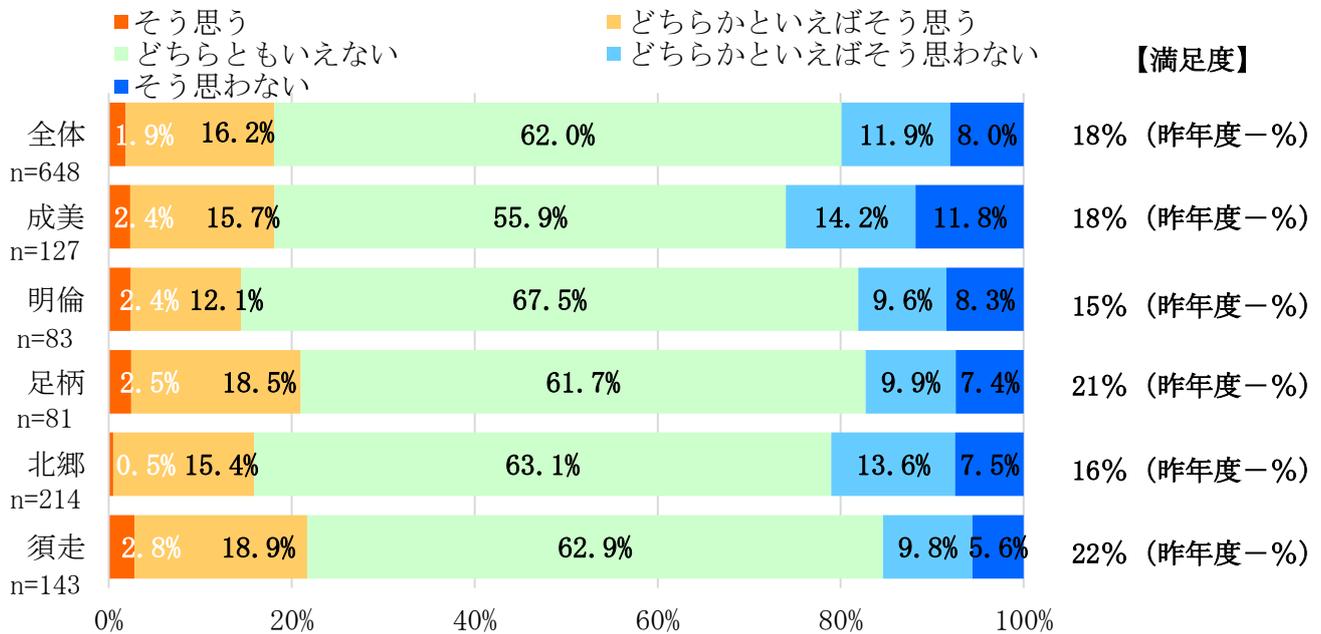


地区別の比較では、明倫地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では30歳代、40歳代が低く、女性では50歳代、60歳代が低くなっています。

問 8 - ( 1 1 ) 「町内でユニバーサルデザインの取組が推進されている」

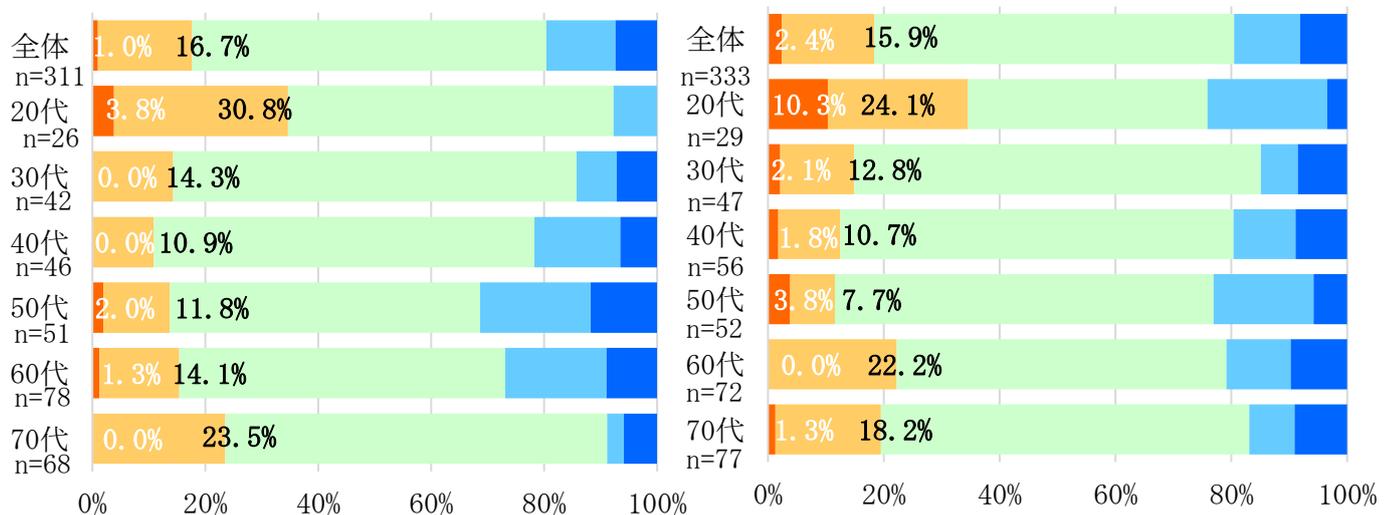
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 18% (昨年度-%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

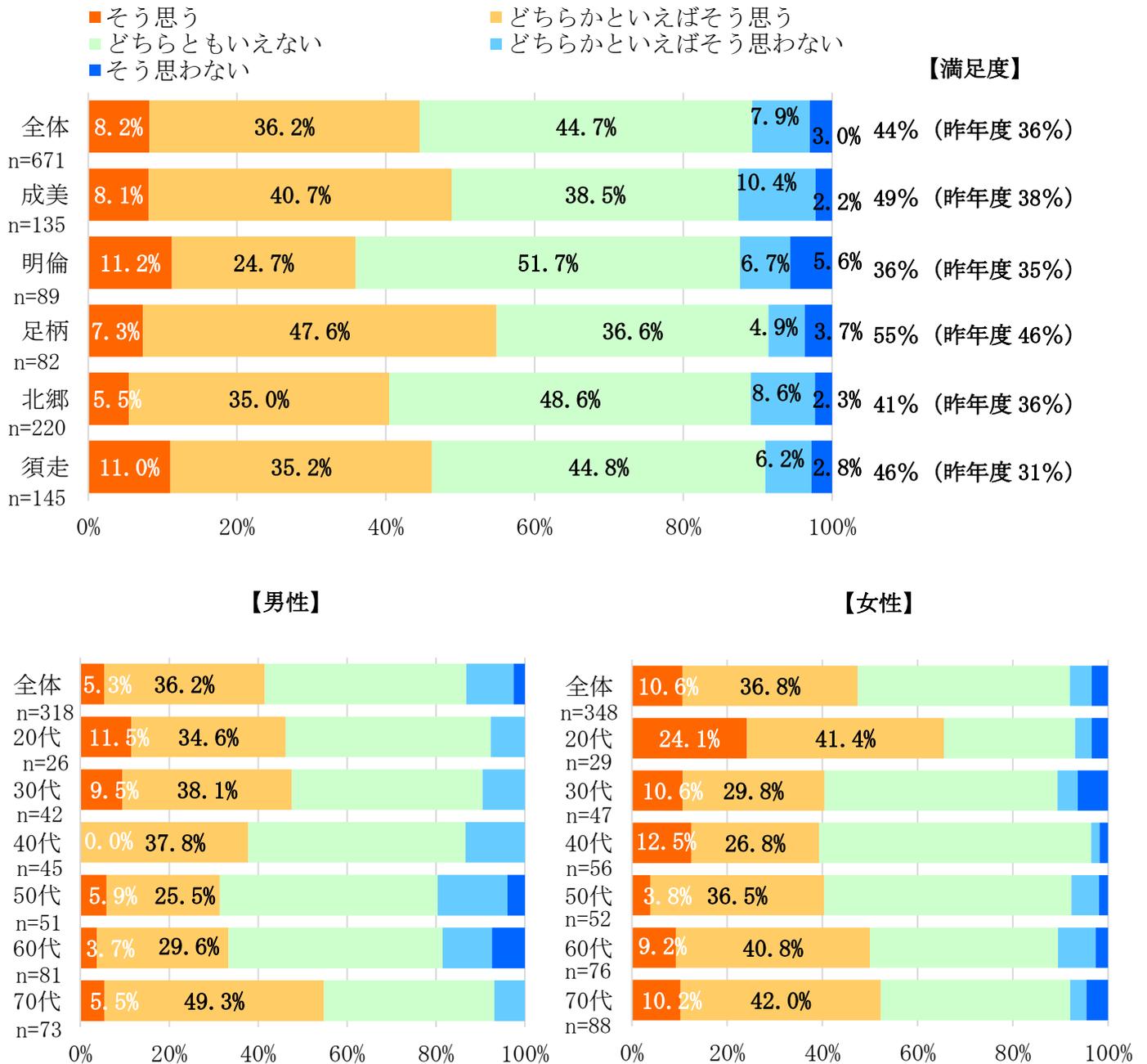


地区別の比較では、須走地区が最も高く、明倫地区が最も低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では 40 歳代が低く、女性では 50 歳代が低くなっています。

問 8 - ( 1 2) 「町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 44% (昨年度 36%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

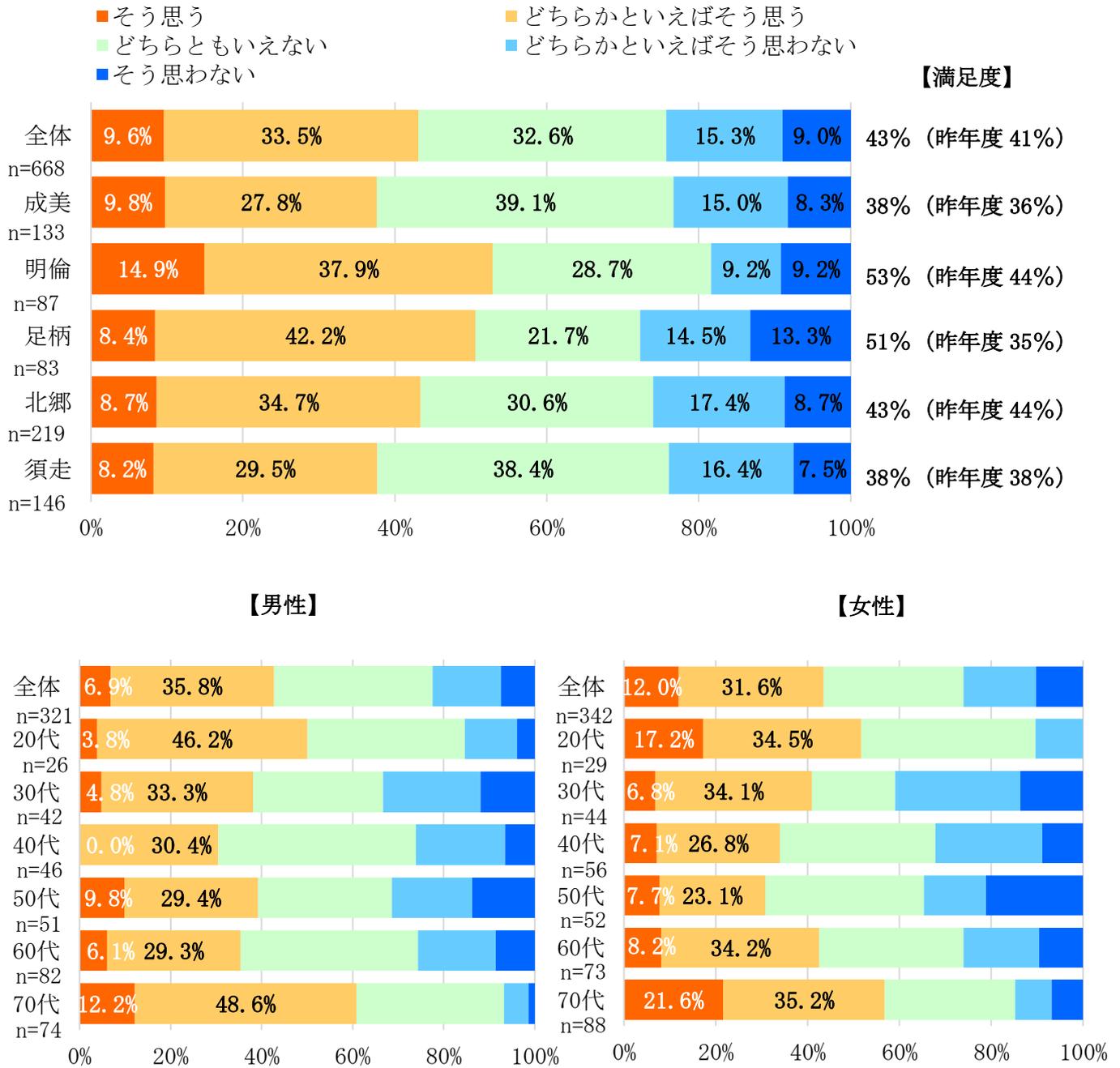


昨年度と比較して、全体的に上がっています。地区別の比較では、足柄地区が最も高く、明倫地区が最も低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では 50 歳代が低く、女性では 40 歳代が低くなっています。

問8- (13) 「必要な時に適切な医療が受けられる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 43% (昨年度 41%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

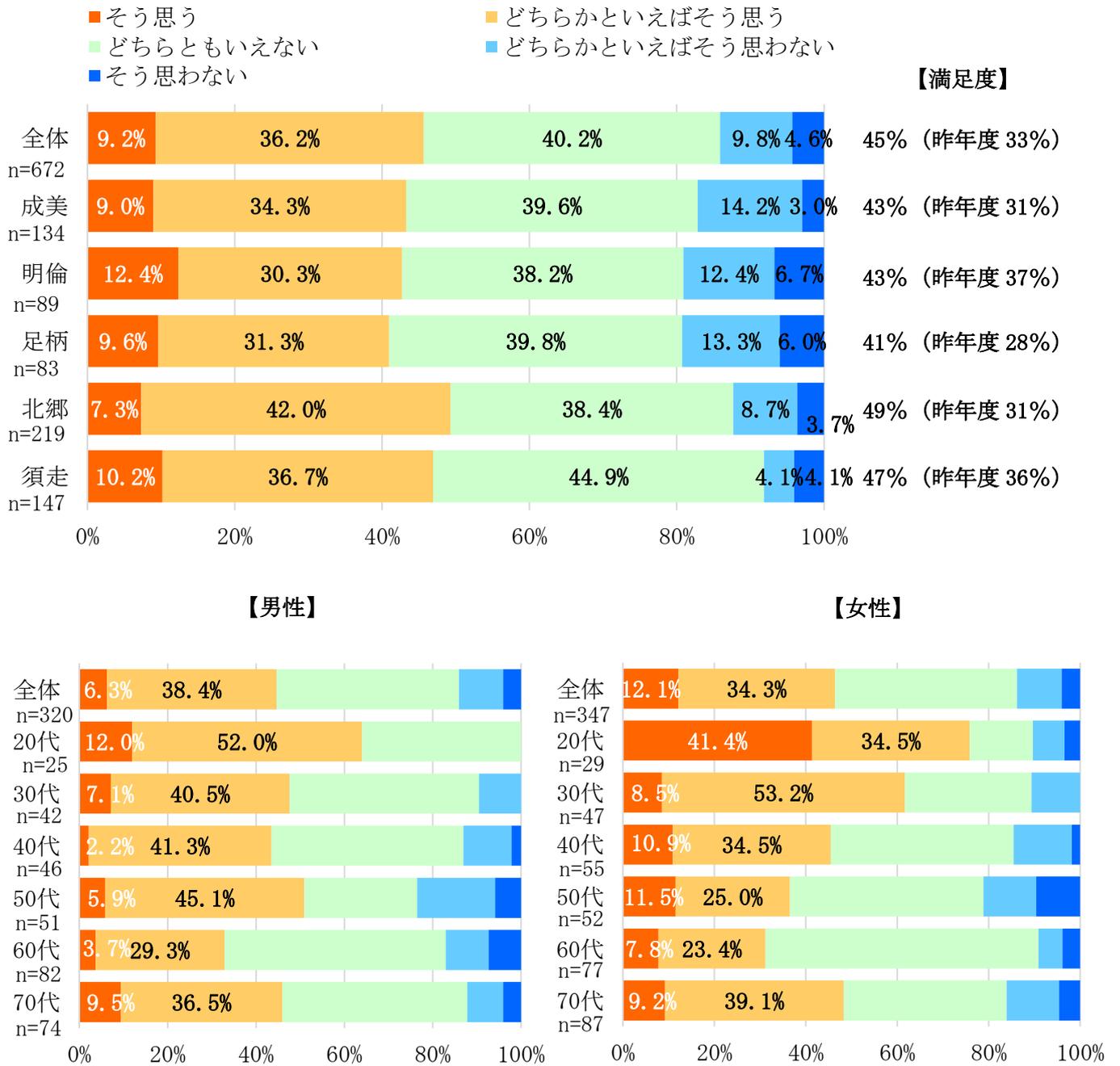


地区別の比較では、明倫地区が最も高く、成美地区、須走地区が最も低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男女とも 20 歳代、70 歳代が高く、男性は 40 歳代が、女性 50 歳代が低くなっています。

問8- (14) 「高齢者が自立していきいきと暮らしている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 45% (昨年度 33%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



昨年度と比較して、全体的に上がっています。地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男女とも 20 歳代が高く、60 歳代が低くなっています。

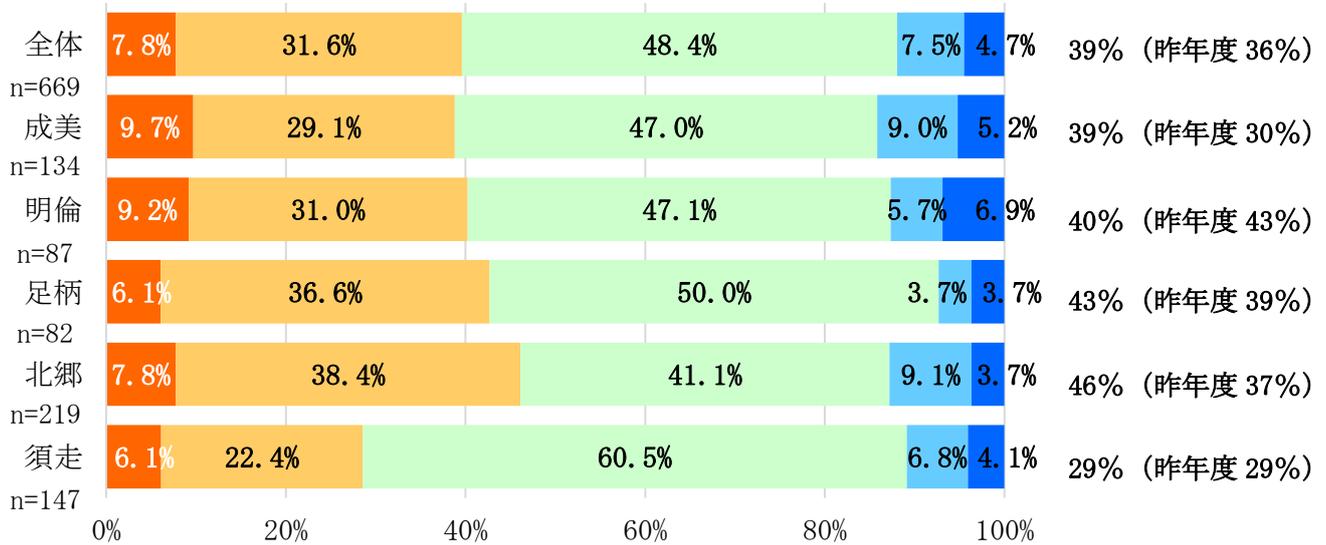
問8－(15) 「介護が必要な状態になった場合に適切なサービスが受けられる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 39% (昨年度 36%)

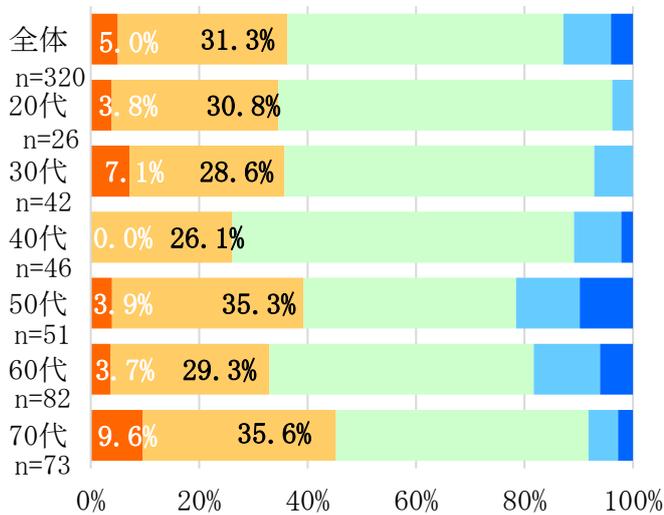
全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

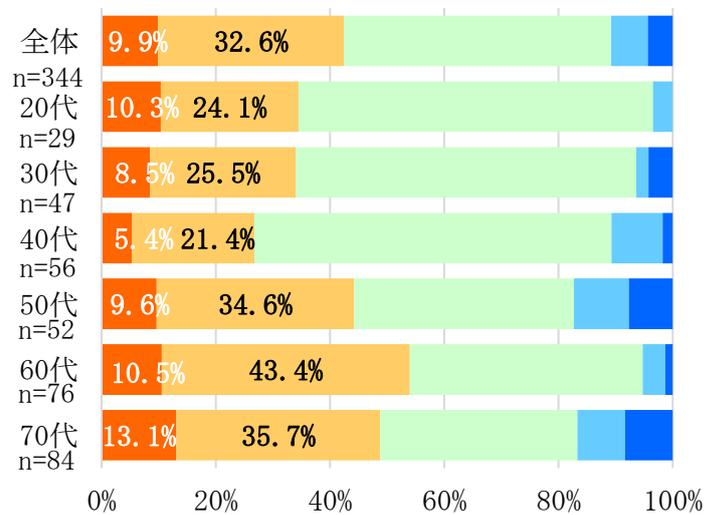
【満足度】



【男性】



【女性】

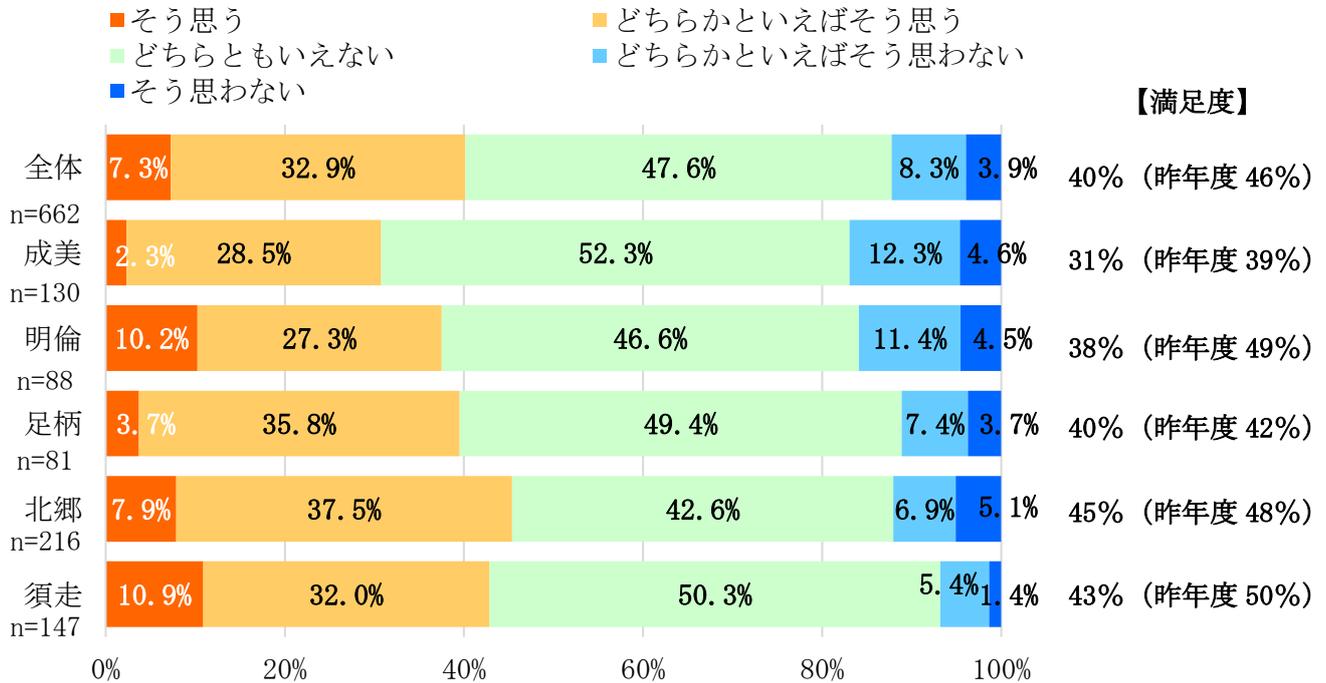


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では70歳代が高く、40歳代が低くなっています。女性では、60歳代が高く、40歳代が低くなっています。

問8- (16) 「生きる力を育む学校教育が行われている」

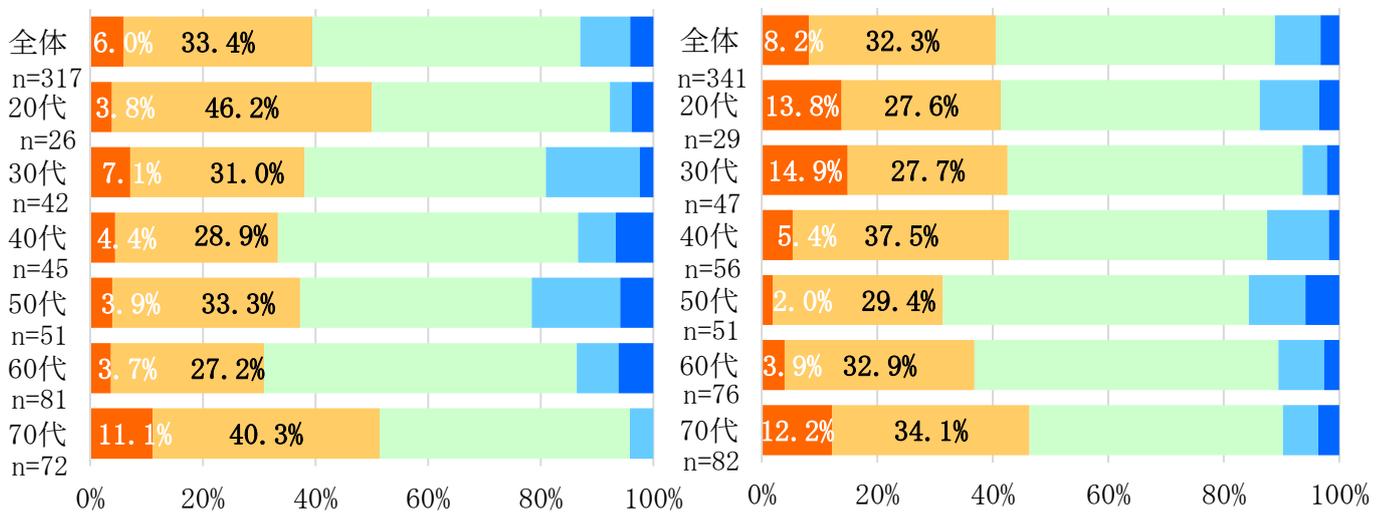
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 40% (昨年度 46%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

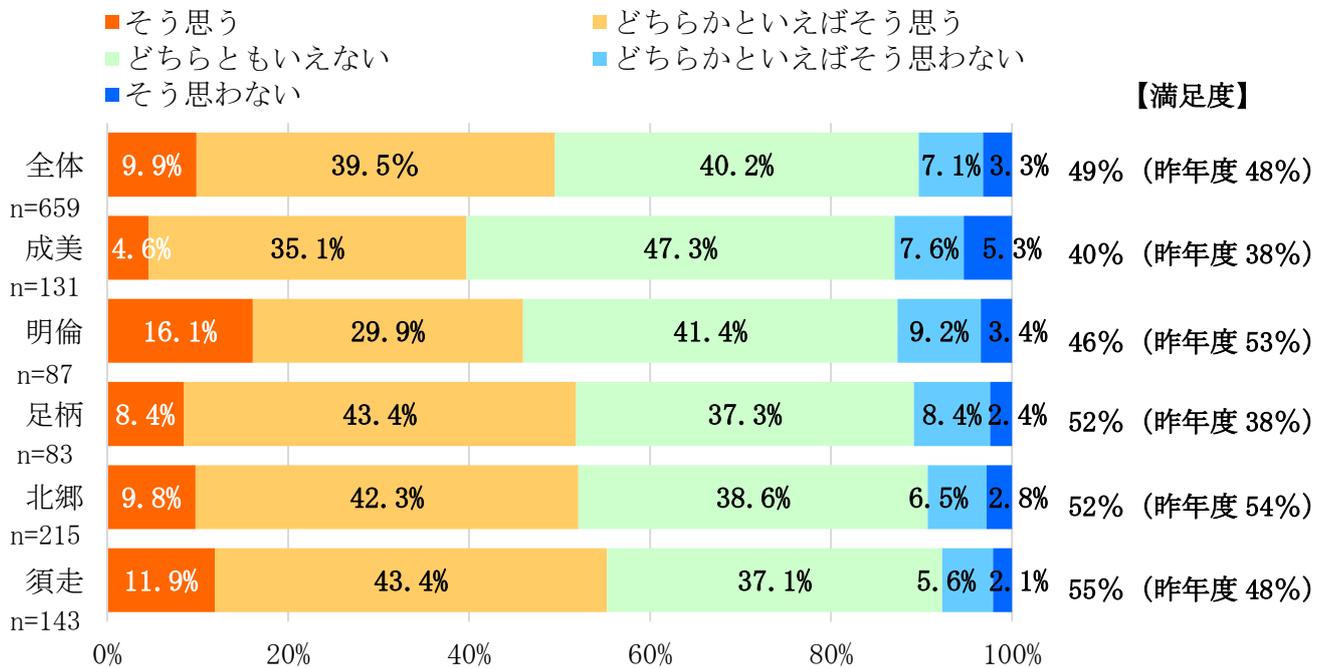


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では20歳代と70歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、70歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問8－(17) 「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」

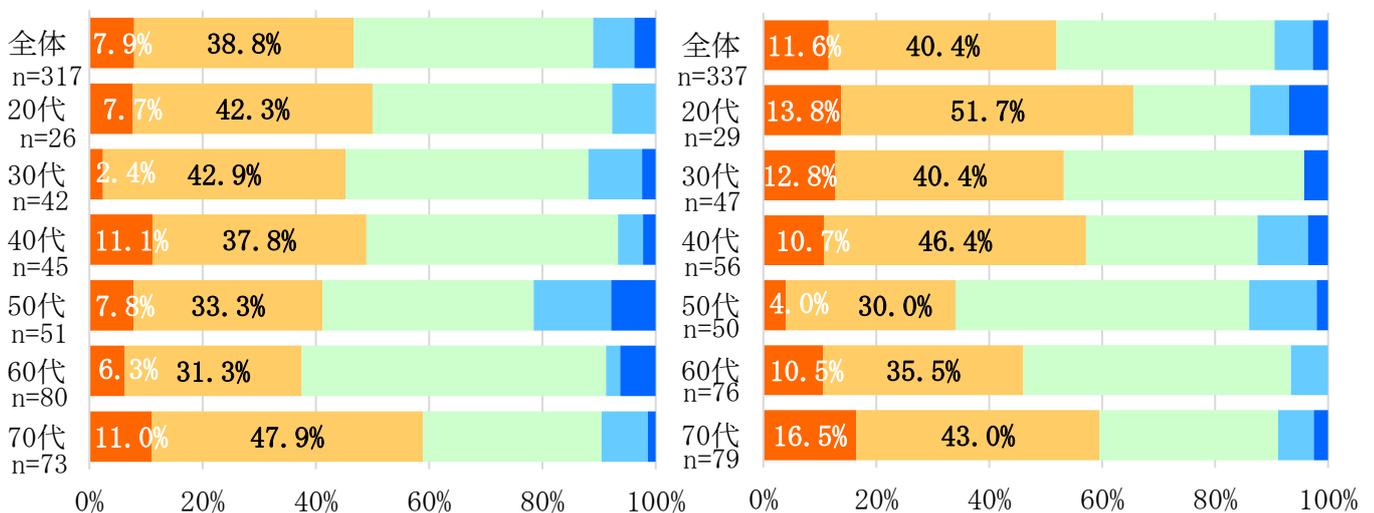
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 49% (昨年度 48%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

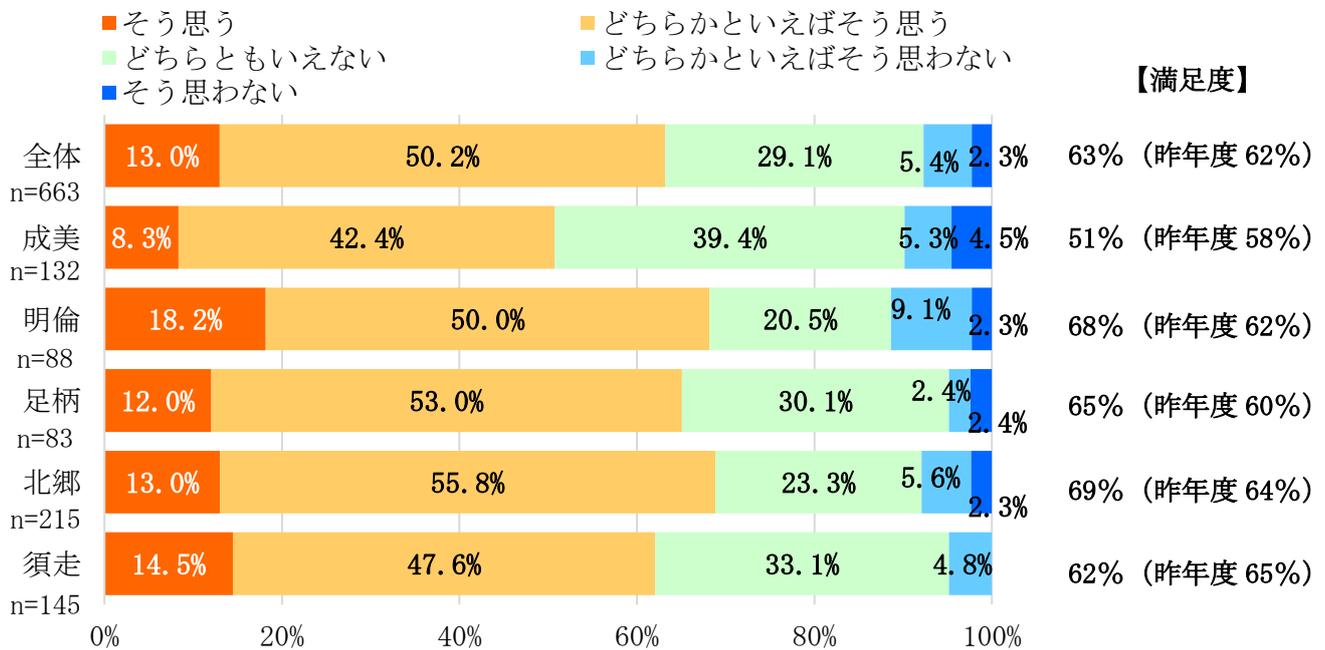


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では70歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問8- (18) 「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」

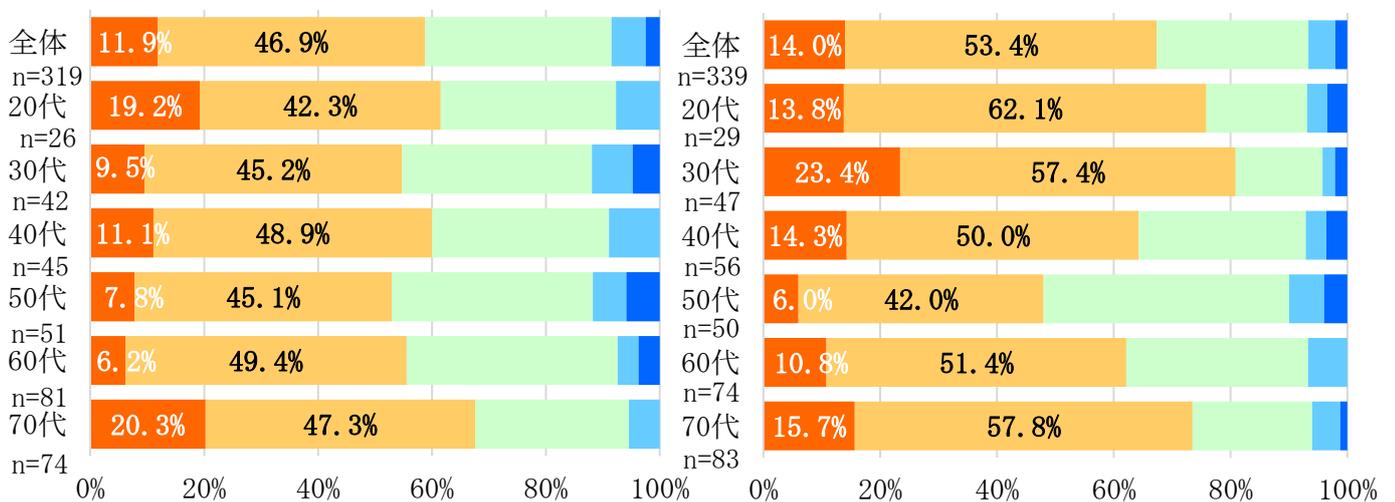
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **63% (昨年度 62%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

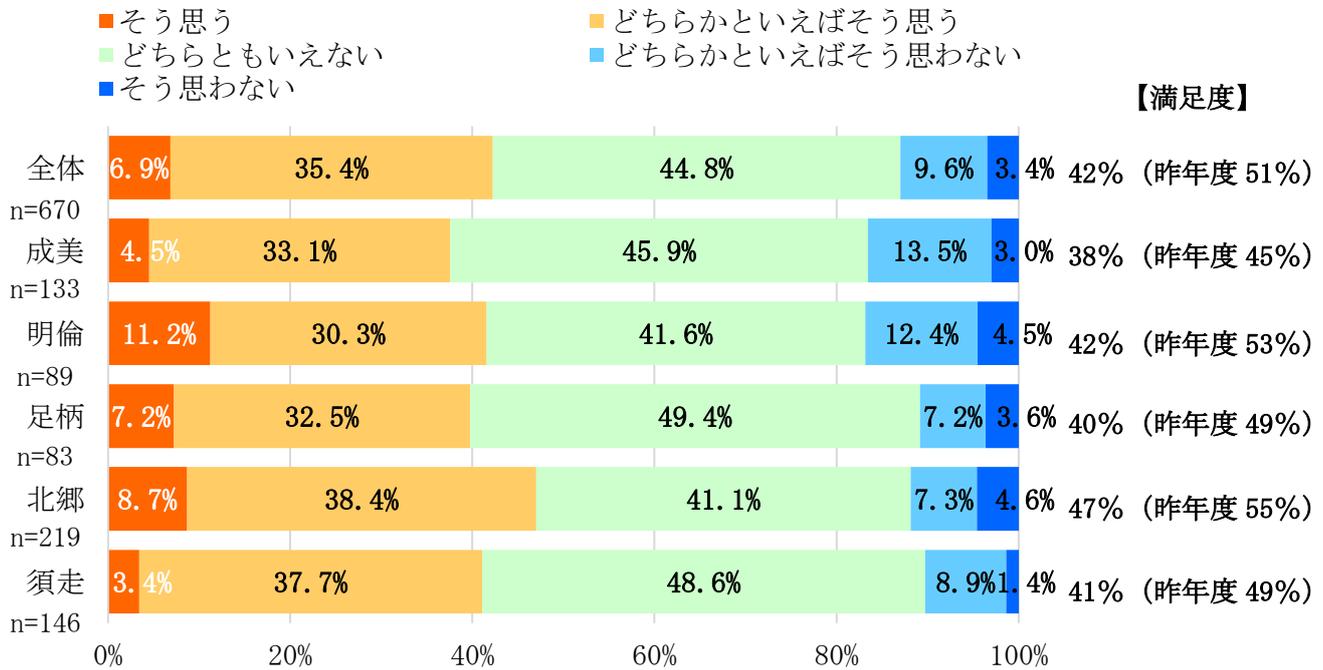


地区別の比較では、明倫地区と北郷地区が高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では70歳代が高く、50歳代が低くなっています。女性では、30歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問 8 - ( 1 9 ) 「生涯学習活動の機会や場が充実している」

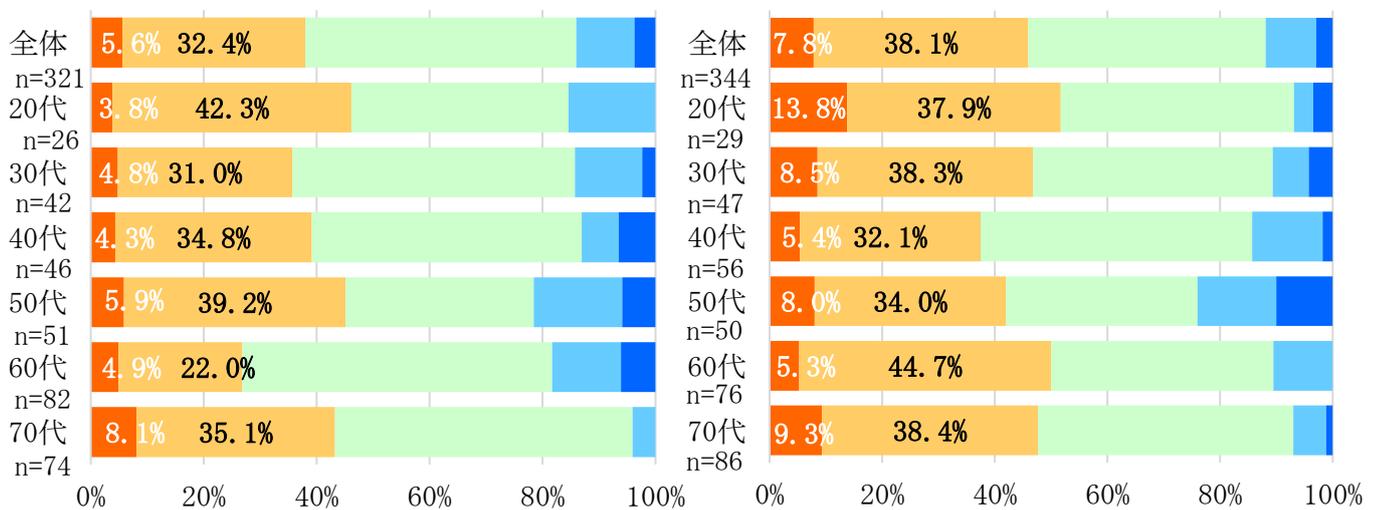
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 42% (昨年度 51%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】



地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では 20 歳代が高く、60 歳代が低くなっています。女性では、20 歳代が高く、40 歳代が低くなっています。

問8－(20) 「図書館が便利で使いやすい」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 37% (昨年度 43%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

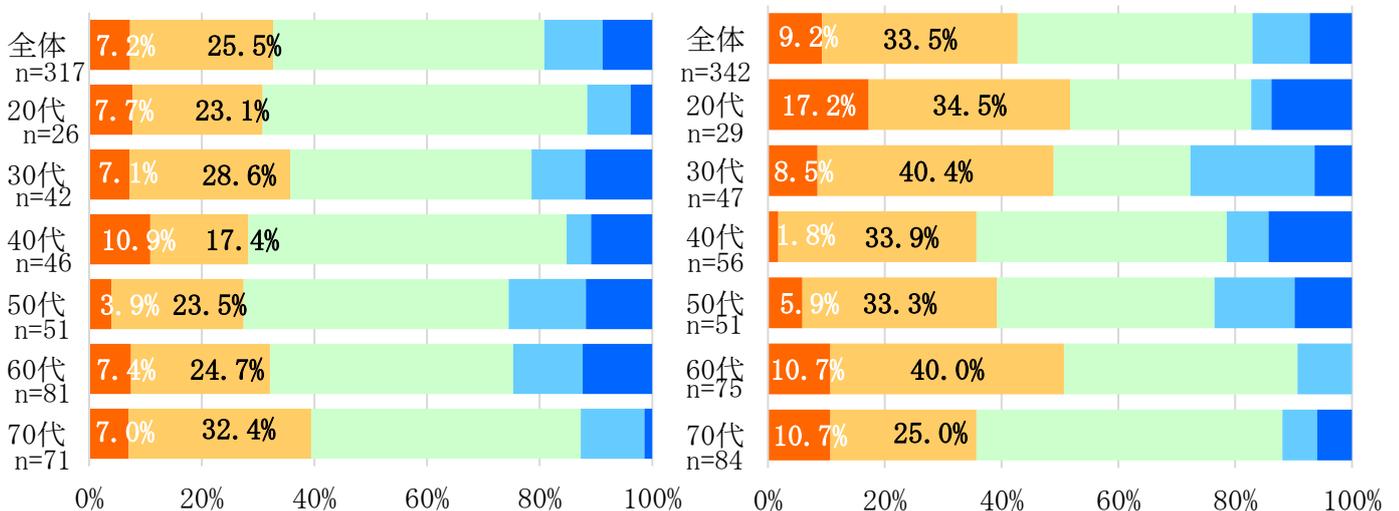
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

【満足度】



【男性】

【女性】



地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では70歳代が高く、50歳代が低くなっています。女性では、20歳代・30歳代・60歳代が高く、40歳代と70歳代が低くなっています。

問8- (21) 「町民が伝統文化や郷土を大切にしている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48% (昨年度 54%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

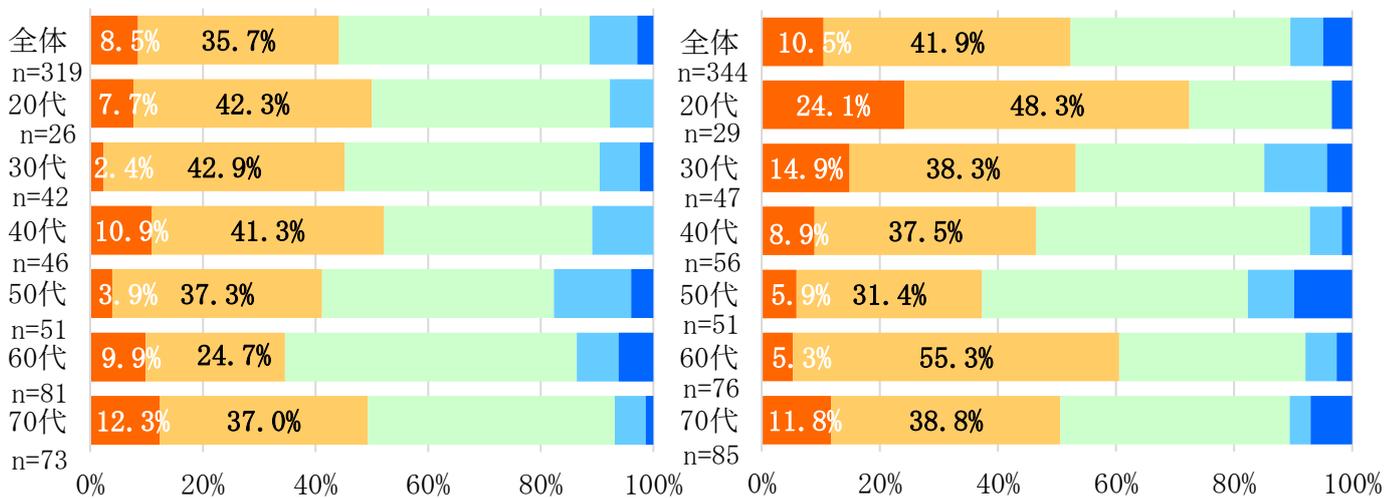
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

【満足度】



【男性】

【女性】



昨年度と比較して、全体的に下がっています。地区別の比較では、北郷地区が最も高く、明倫地区が最も低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では 40 歳代が高く、60 歳代が低くなっています。女性では、20 歳代が高く、50 歳代が低くなっています。

問8－(22) 「文化芸術に触れる機会が充実している」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27% (昨年度－%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

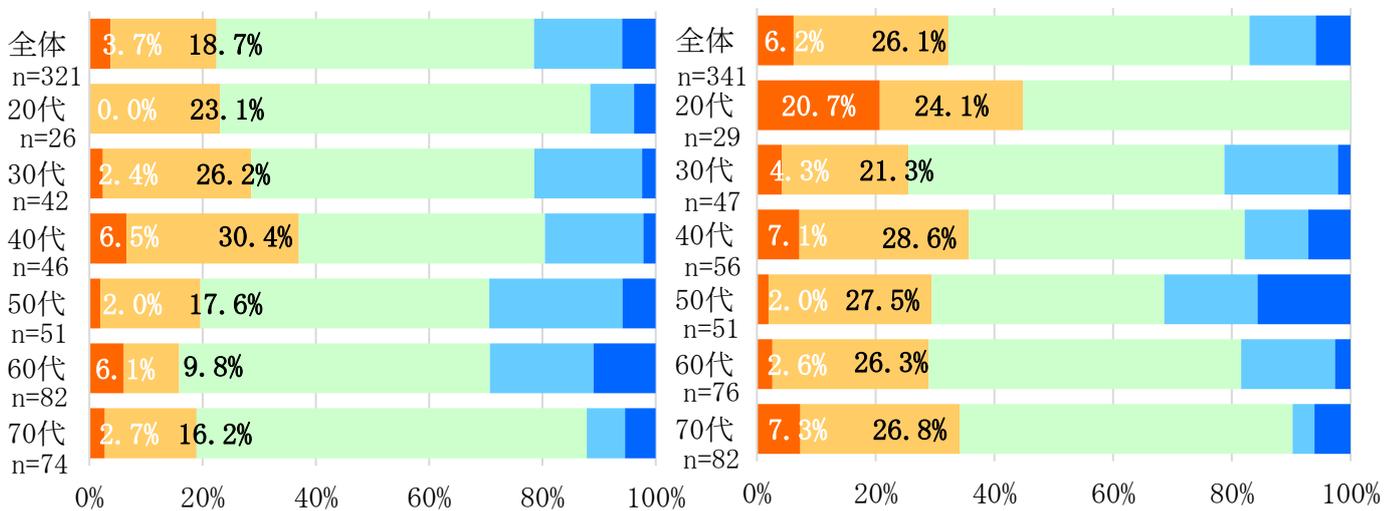
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

【満足度】



【男性】

【女性】



地区別の比較では、足柄地区が最も高く、明倫地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では40歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、30歳代が低くなっています。

問8－(23) 「町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 36% (昨年度 41%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

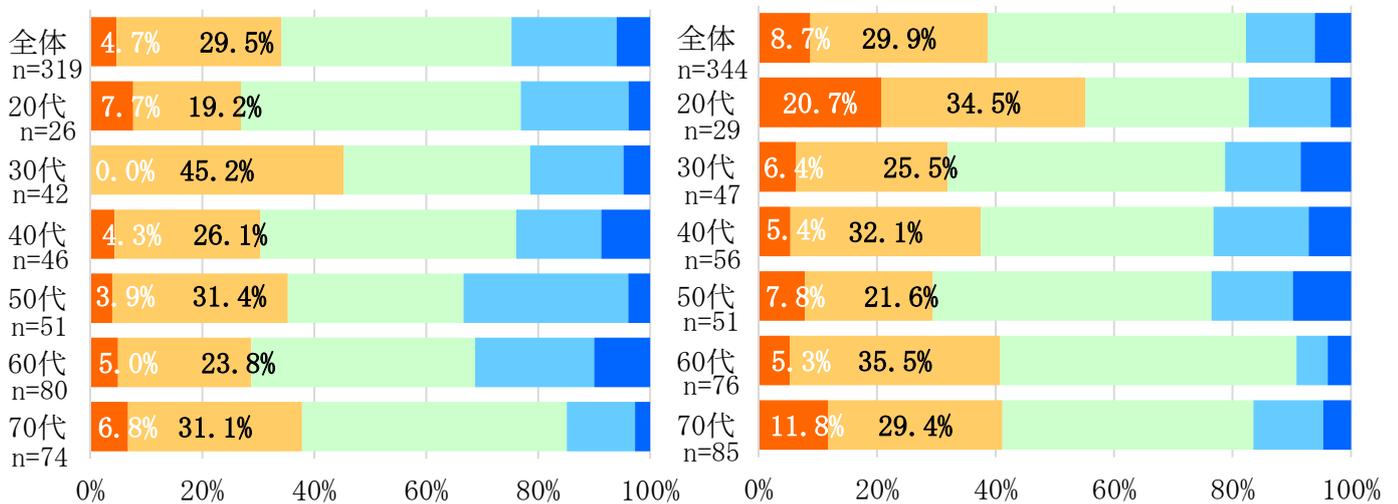
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

【満足度】



【男性】

【女性】



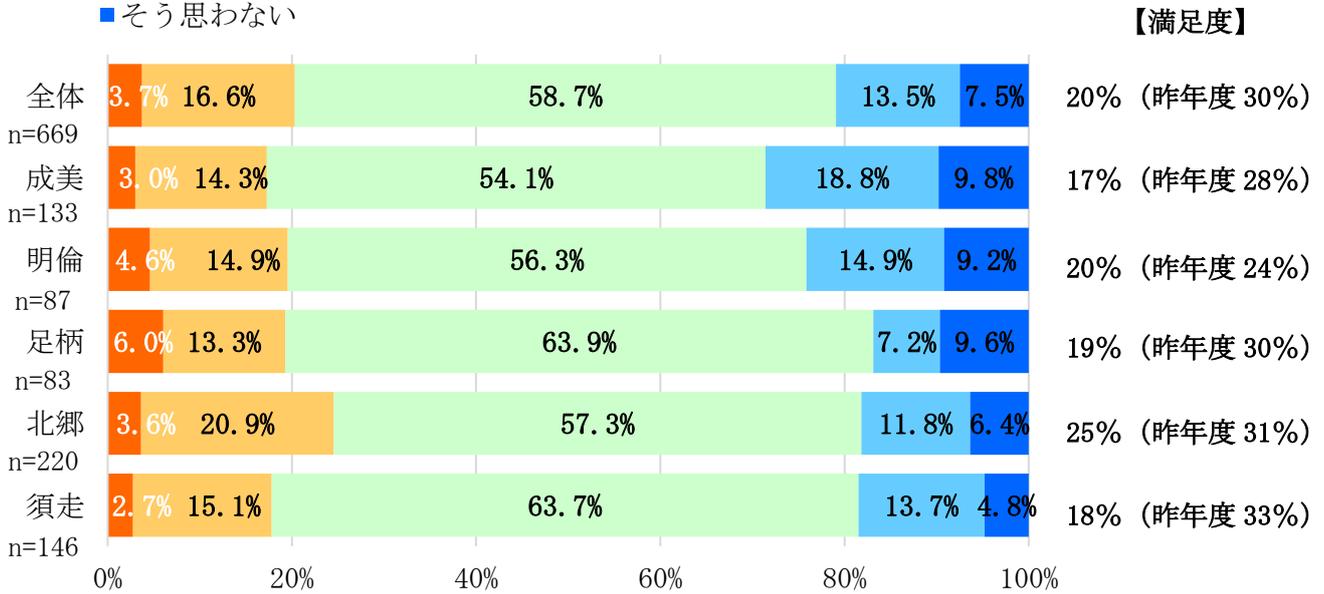
地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では30歳代が高く、20歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問 8 - ( 2 4 ) 「地域間交流や国際交流が活発に行われている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 20% (昨年度 30%)

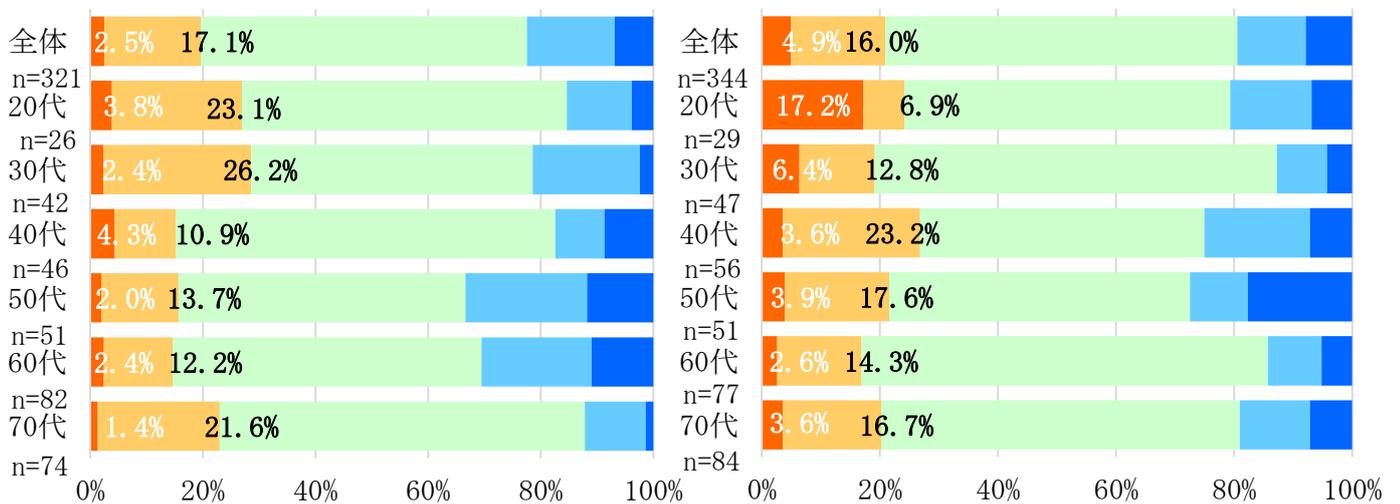
全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない



**【男性】**

**【女性】**



地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では 30 歳代が高く、60 歳代が低くなっています。女性では、40 歳代が高く、60 歳代が低くなっています。

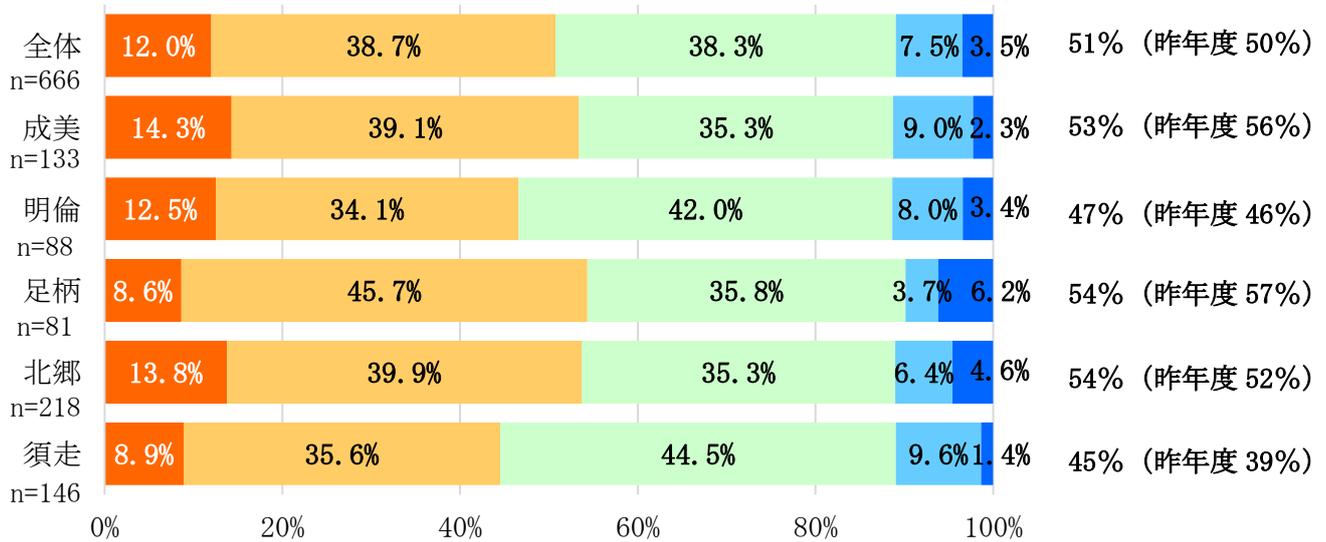
問8- (25) 「小山町は企業誘致を活発に進めている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **51% (昨年度 50%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

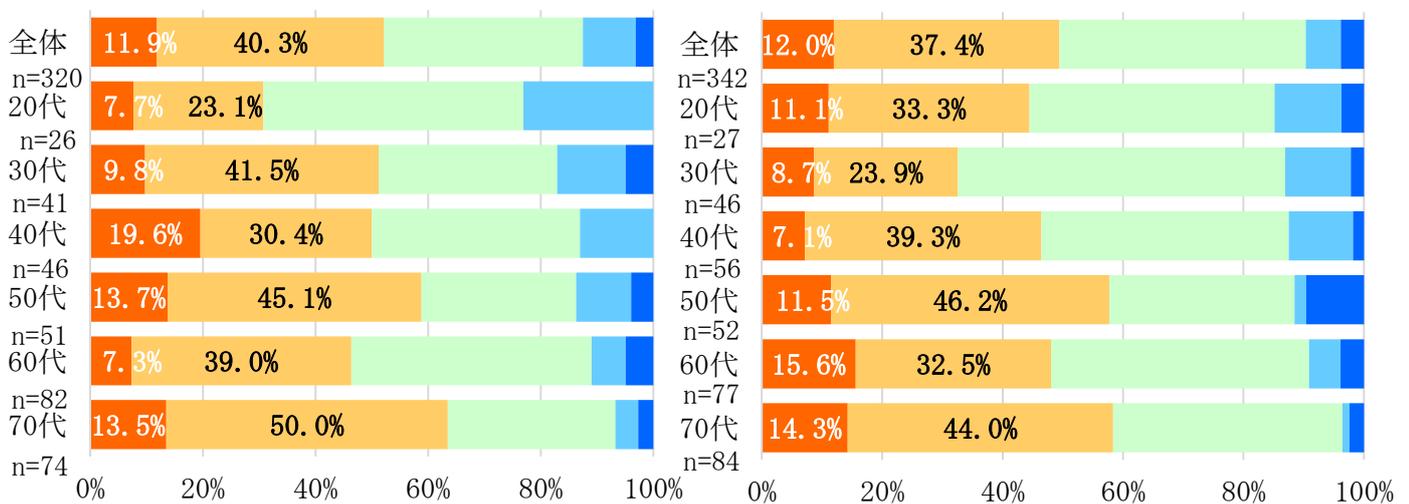
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

**【満足度】**



**【男性】**

**【女性】**

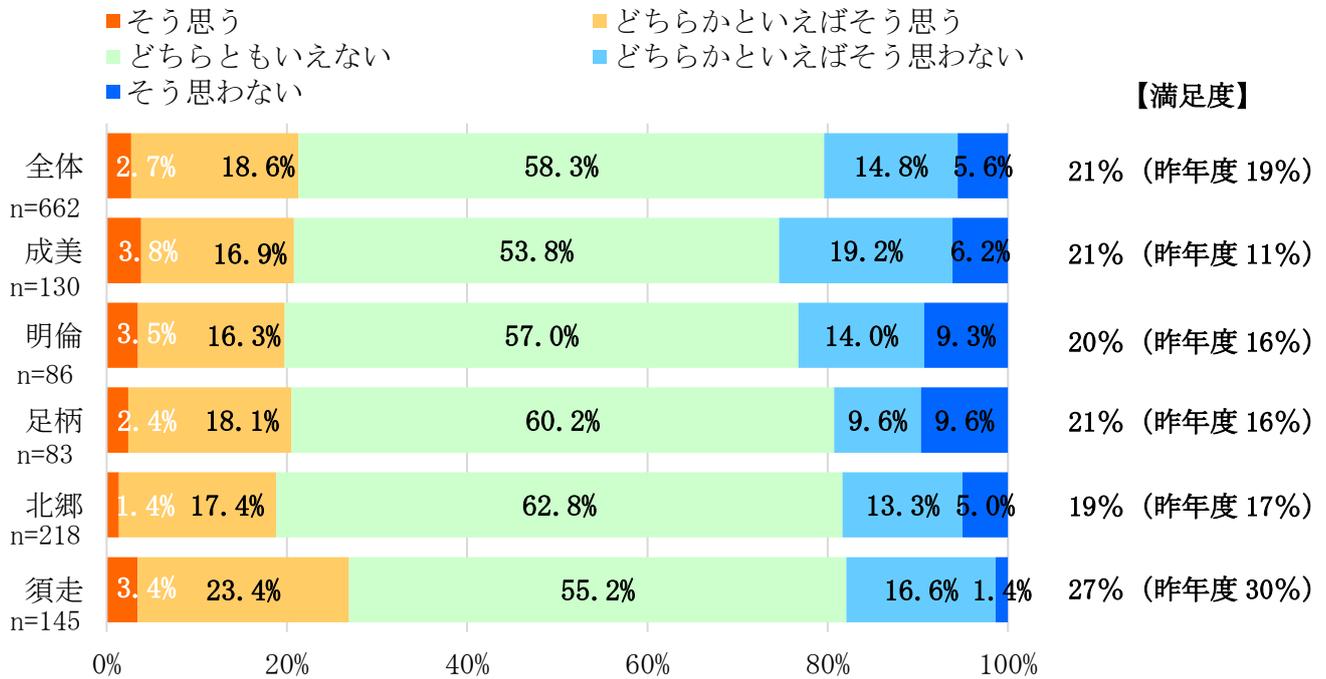


地区別の比較では、足柄地区、北郷地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では70歳代が高く、20歳代が低くなっています。女性では、50歳代が高く、30歳代が低くなっています。

問 8 - ( 2 6 ) 「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」

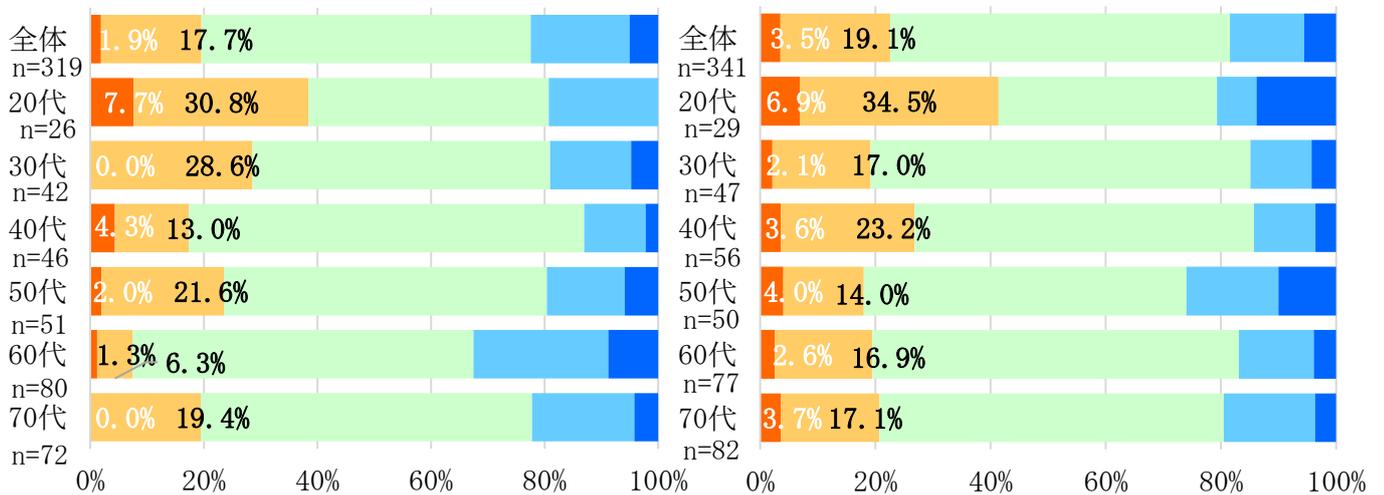
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **21% (昨年度 19%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】



地区別の比較では、須走地区が最も高く、北郷地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男女とも 20 歳代が高くなっています。また、男性は 60 歳代が、女性は 50 歳代が低くなっています。

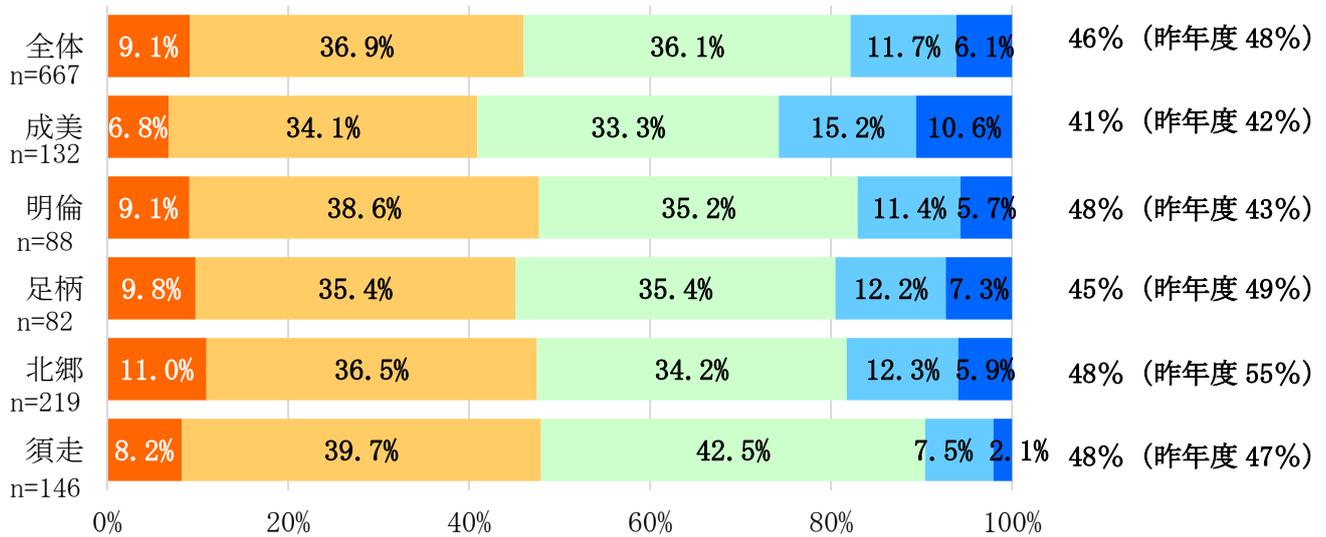
問8－(27) 「金太郎生誕の地おやま」のPRが行われている

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 46% (昨年度 48%)

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

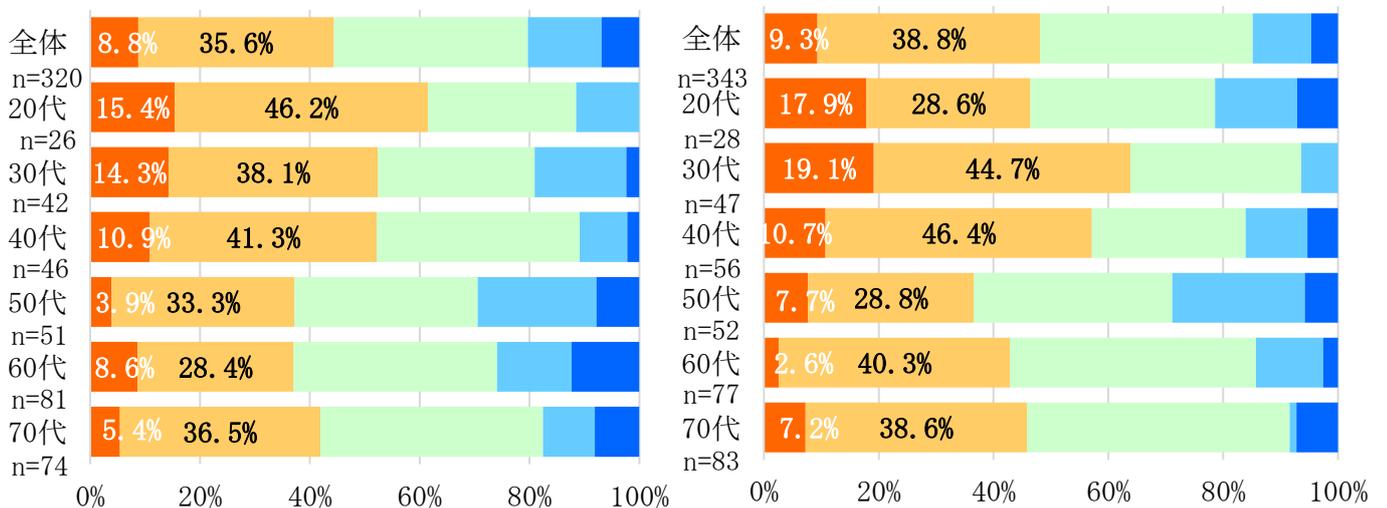
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

【満足度】



【男性】

【女性】

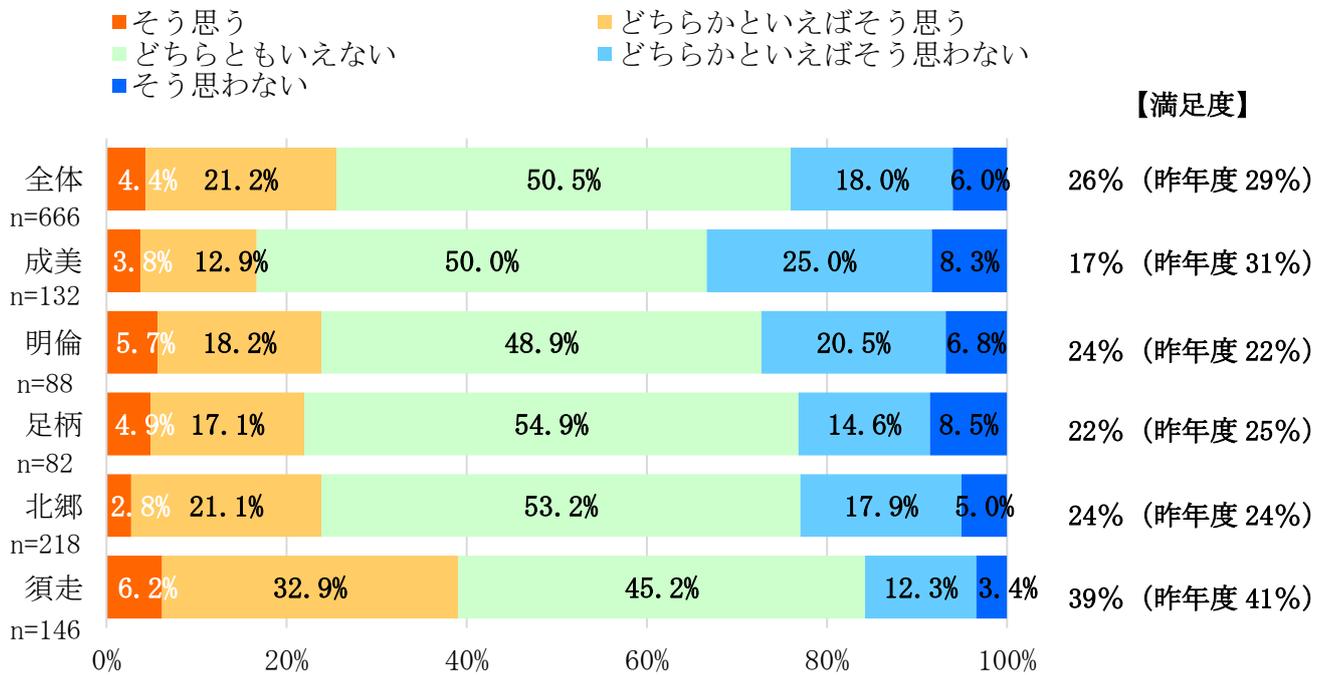


地区別の比較では、明倫地区、北郷地区、須走地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は20歳代が高く、50歳代、60歳代が低くなっています。女性は30歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問 8 - ( 2 8 ) 「富士山須走口についての情報発信が行われている」

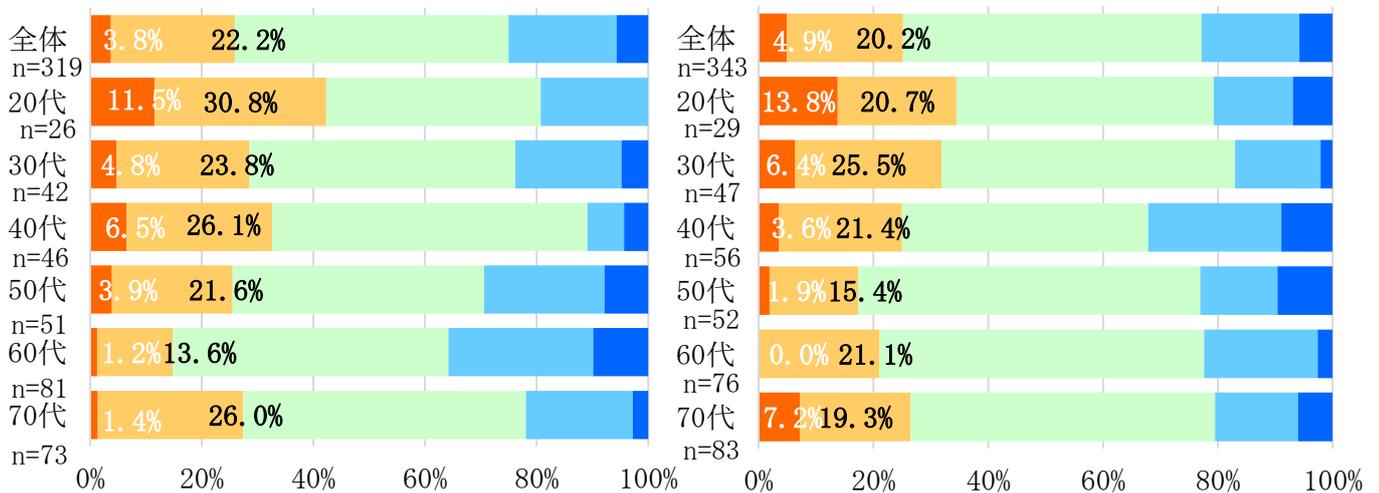
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **26% (昨年度 29%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

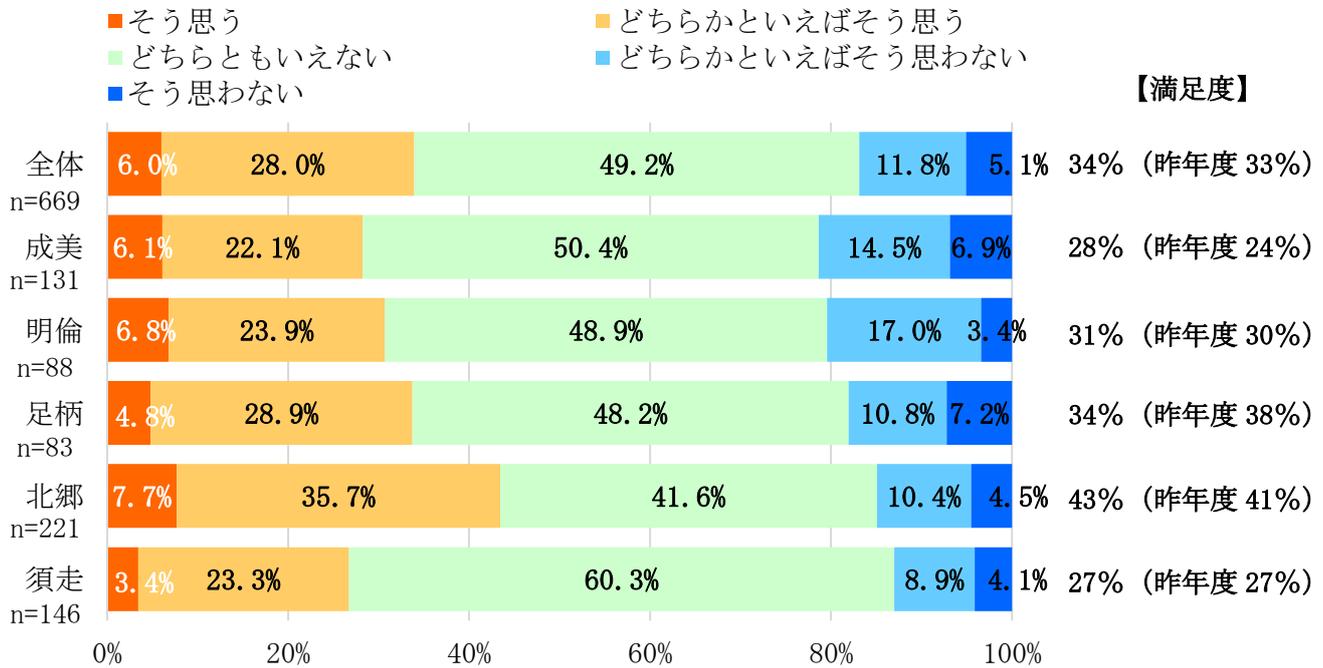


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性は20歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性は20歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問8－(29) 「小山町は“農業”の活性化に取り組んでいる」

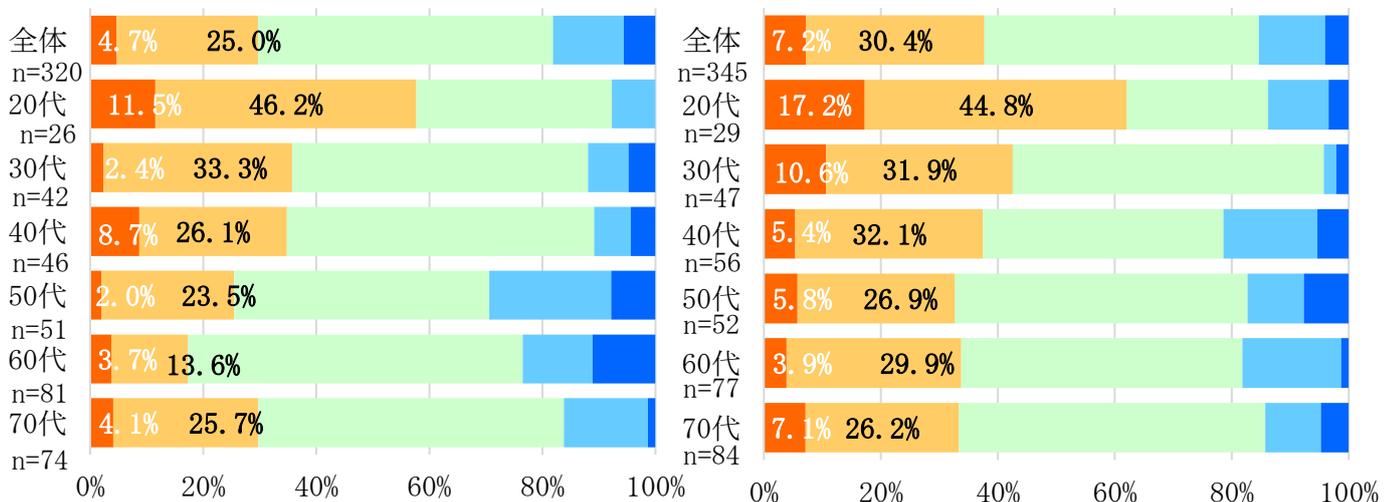
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **34% (昨年度 33%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

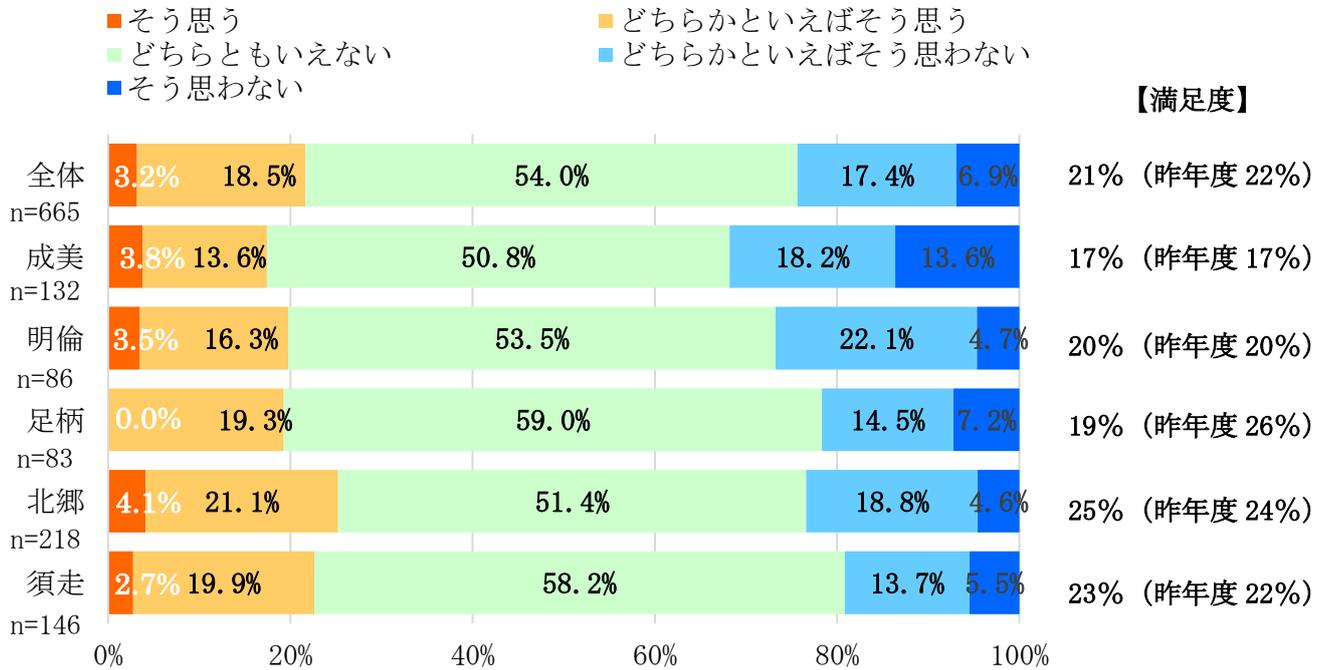


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性は20歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性は20歳代が高く、50歳代、60歳代、70歳代が低くなっています。

問8－(30) 「小山町は“林業”の活性化に取り組んでいる」

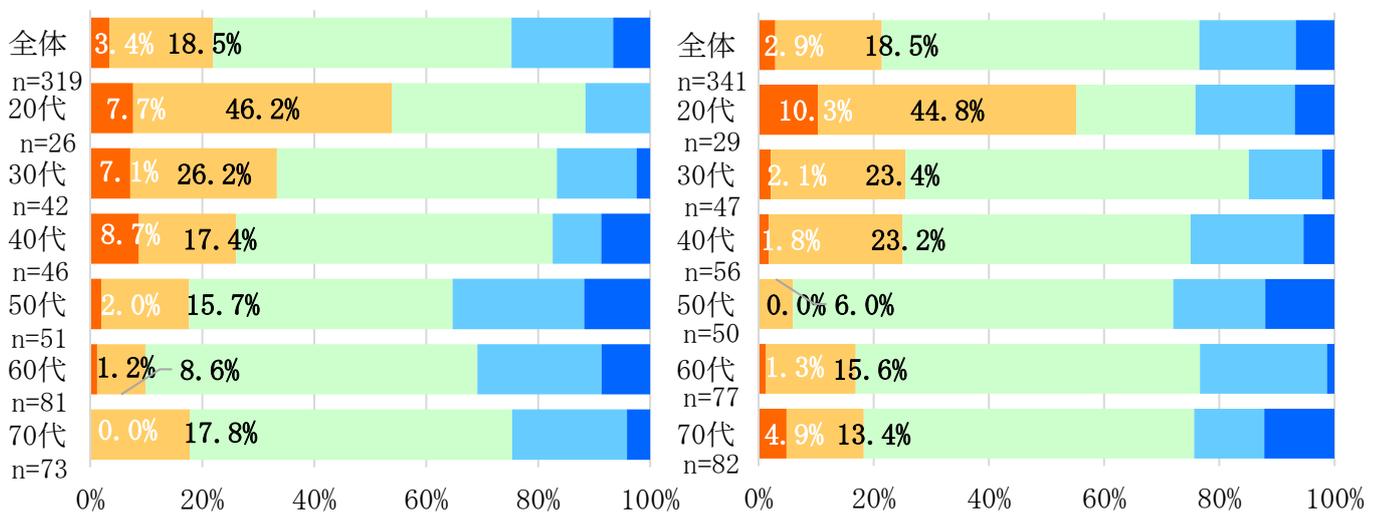
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 21% (昨年度 22%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

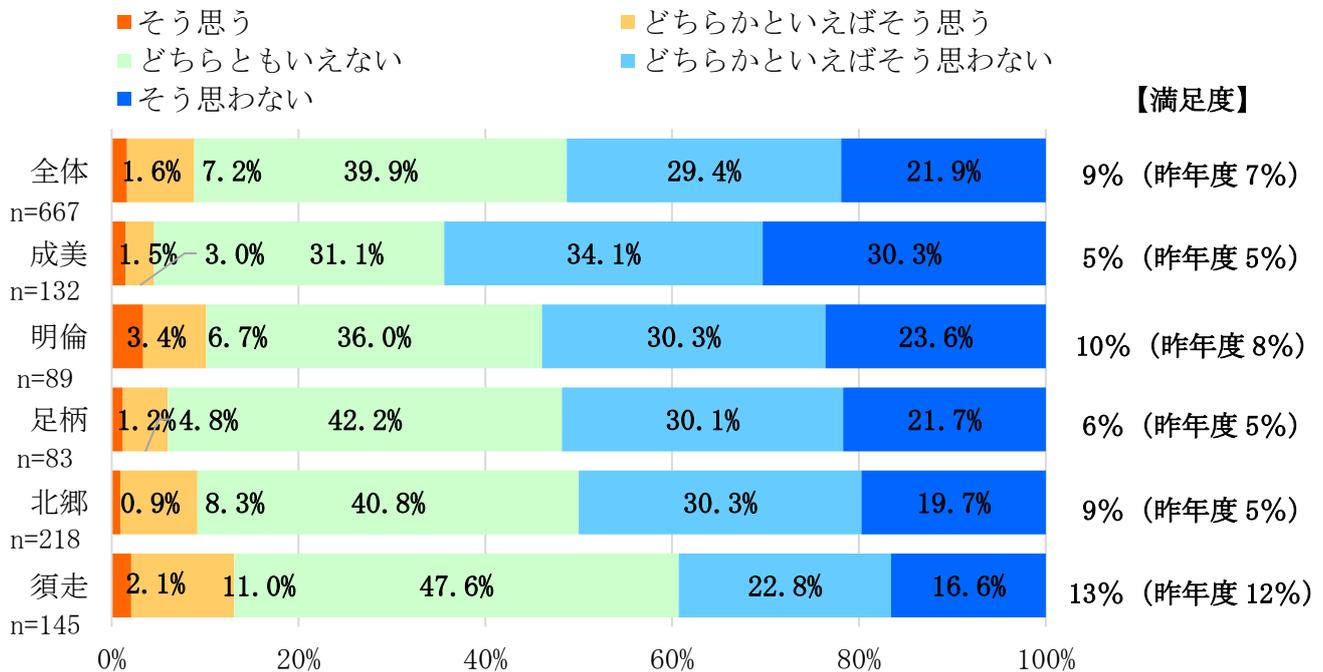


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに20歳代が高く、男性では60歳代、女性では50歳代が低い傾向にあります。

問8－(31) 「賑わいのある商業地づくりを行っている」

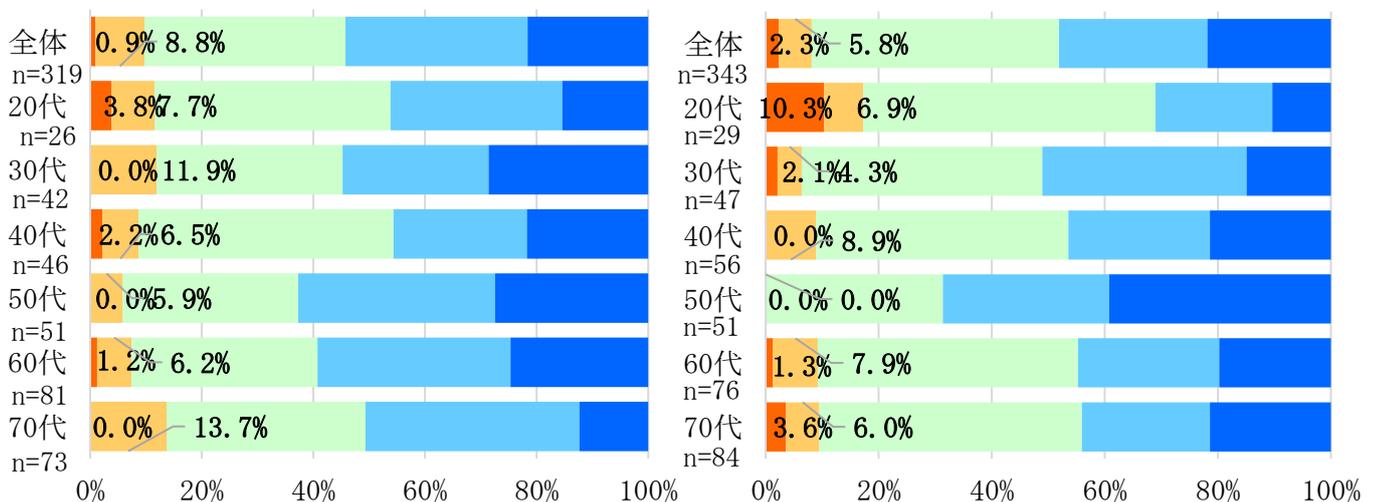
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 9% (昨年度 7%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

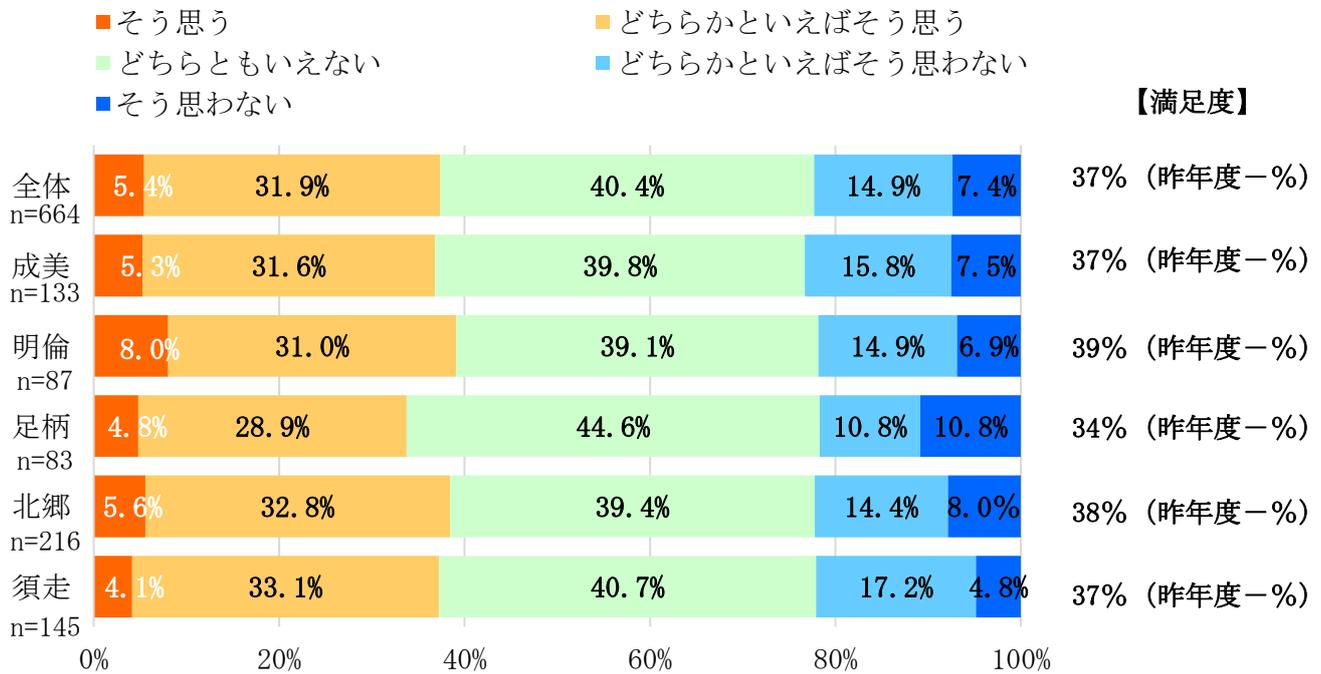


地区別の比較では、他の地区に比べ須走地区の満足度がやや高いものの、全体的に満足度は低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較でも、年代・性別に寄らず全体的に満足度は低い傾向にあります。

問 8 - ( 3 2 ) 「町は移住・定住施策に積極的に取り組んでいる」

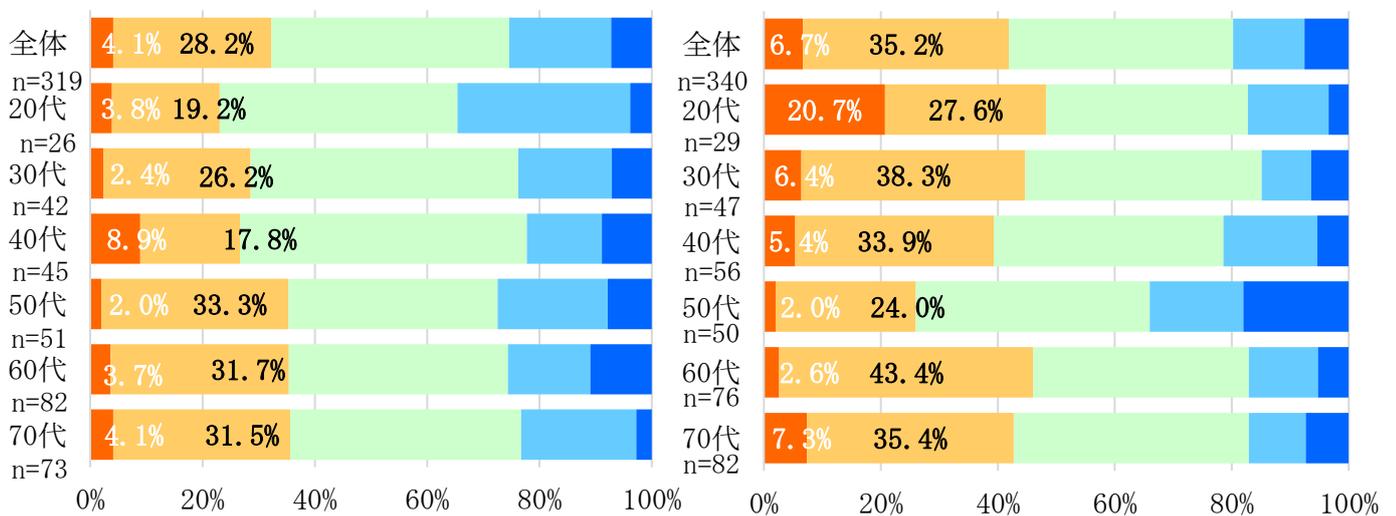
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 37% (昨年度-%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

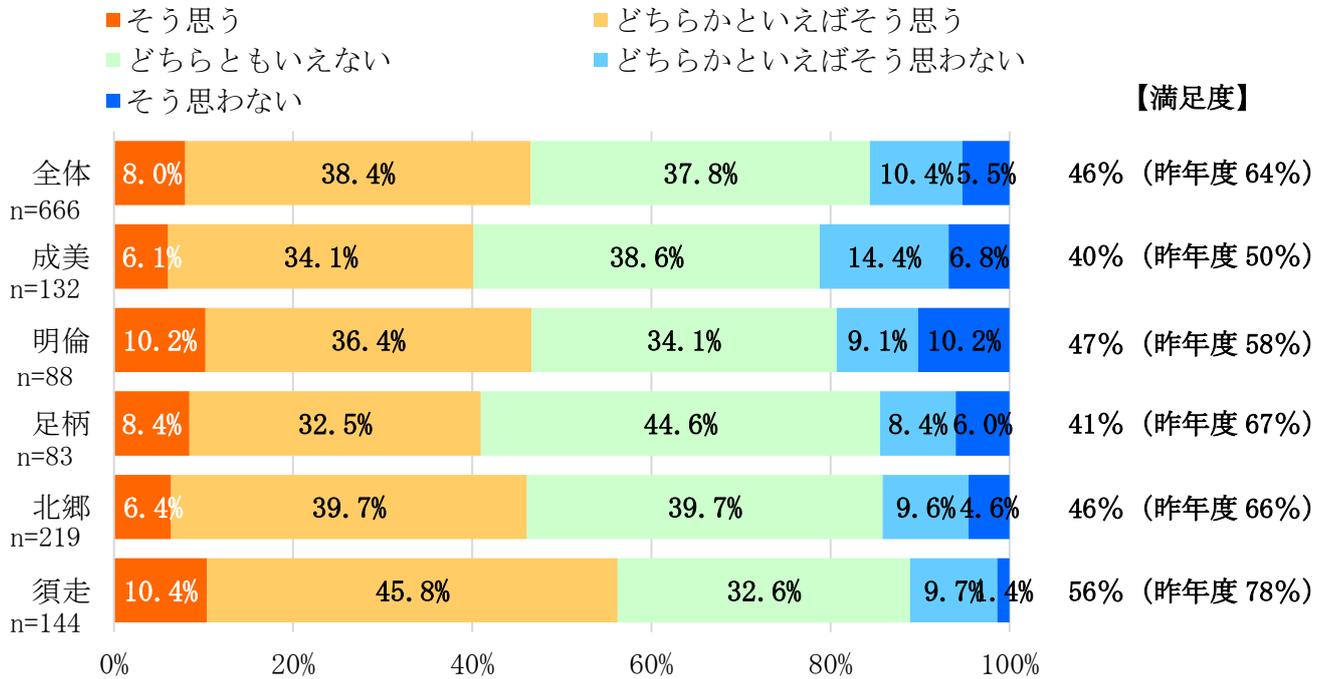


地区別の比較では、明倫地区と北郷地区が高く、足柄地区が最も低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性は 50 歳代・60 歳代・70 歳代が高く、20 歳代が低くなっています。女性は 20 歳代・60 歳代が高く、50 歳代が低くなっています。

問8- (33) 「町内の自然環境が適切に保全されている」

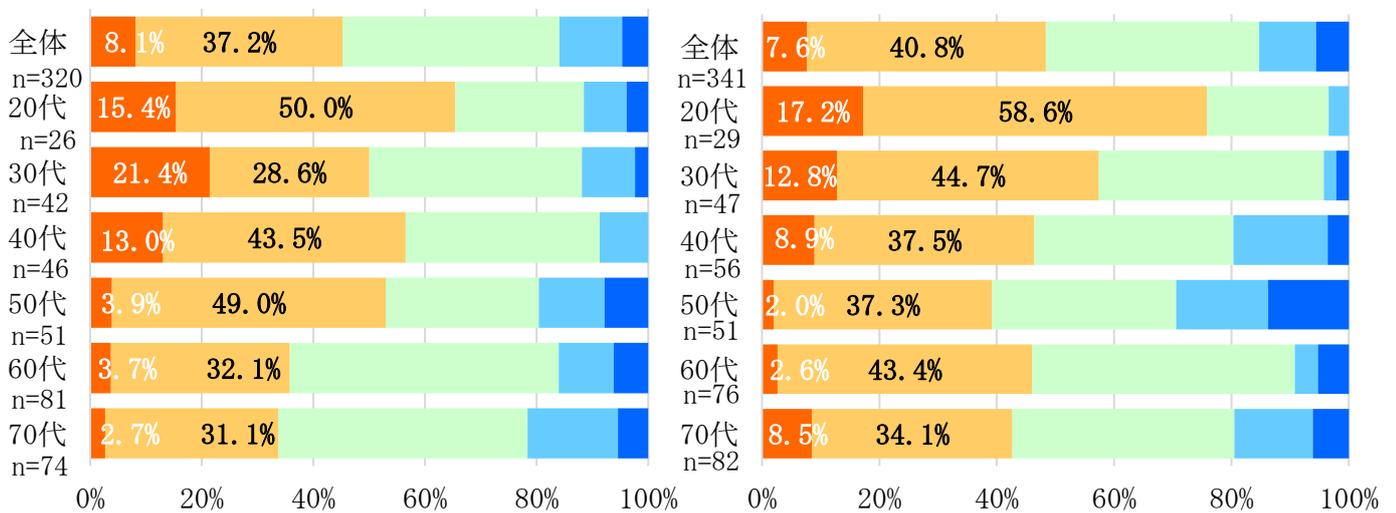
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 46% (昨年度 64%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

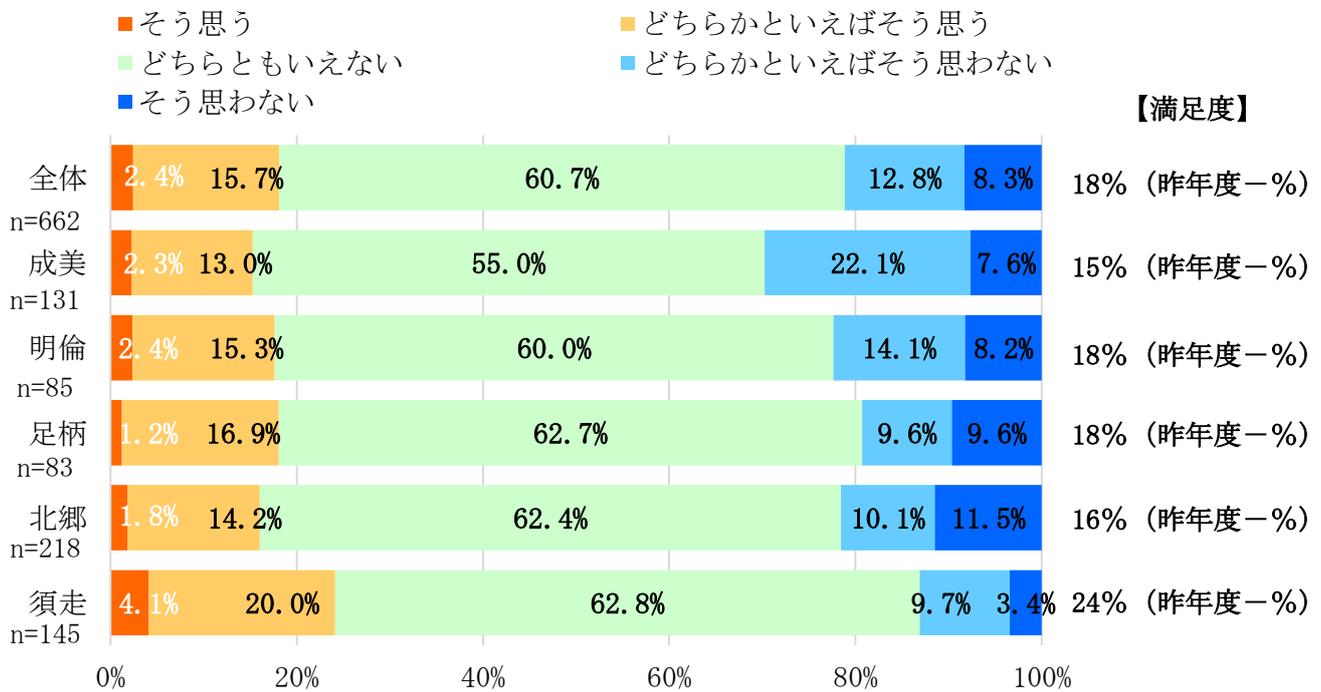


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美・足柄地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに20歳代が高くなっています。男性では、50歳代・60歳代が低く、女性では、50歳代・70歳代が低くなっています。

問 8 - ( 3 4 ) 「小山町は地球温暖化対策が進んでいる」

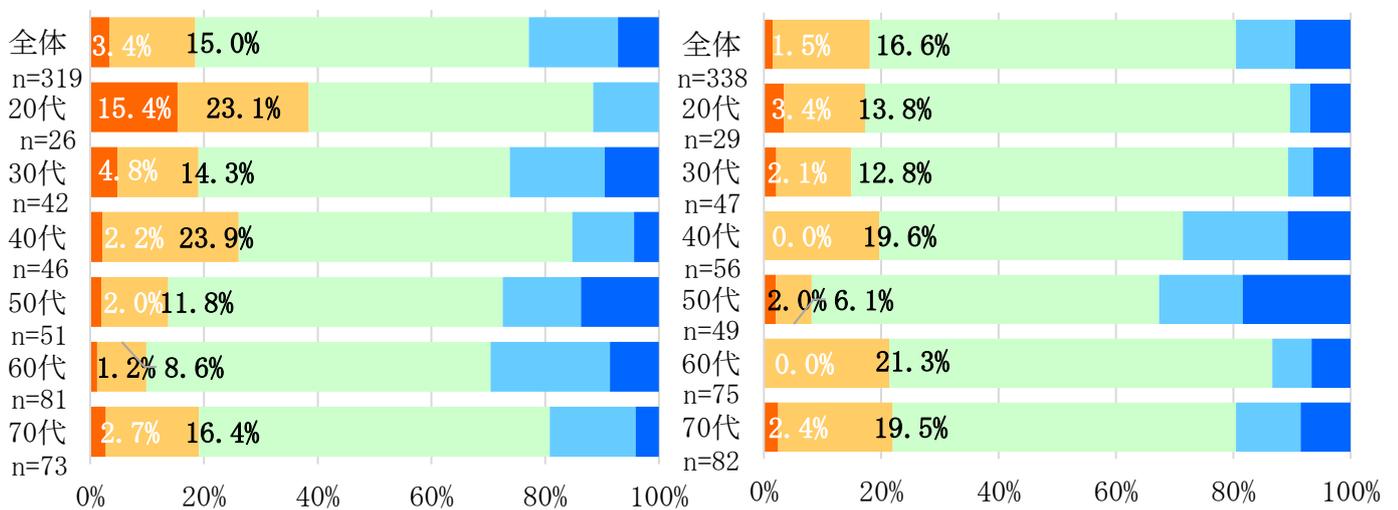
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 18% (昨年度-%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

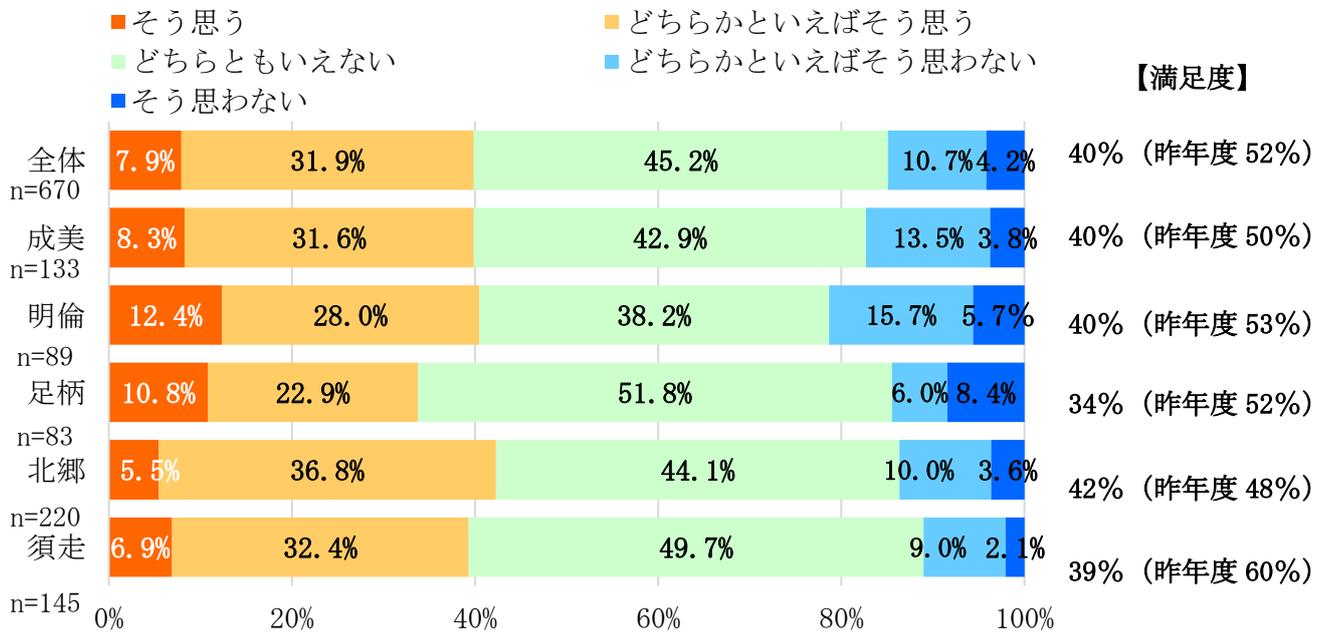


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区が低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では、20歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、50歳代が低くなっています。

問 8 - ( 3 5 ) 「小山市はごみの減量化や資源化が進んでいる」

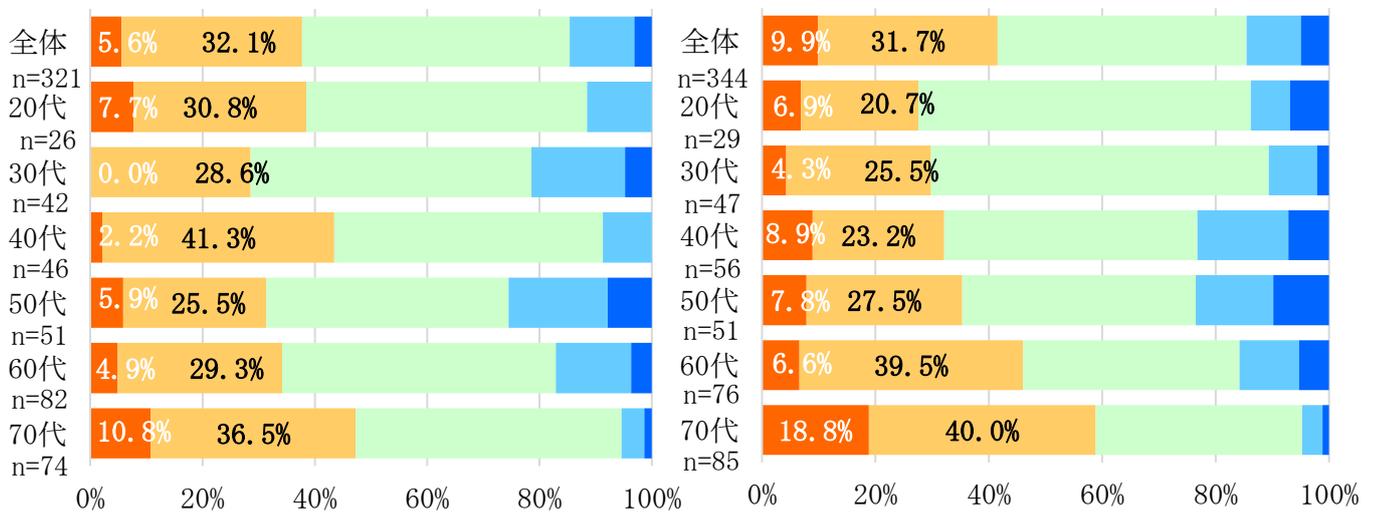
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 40% (昨年度 52%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

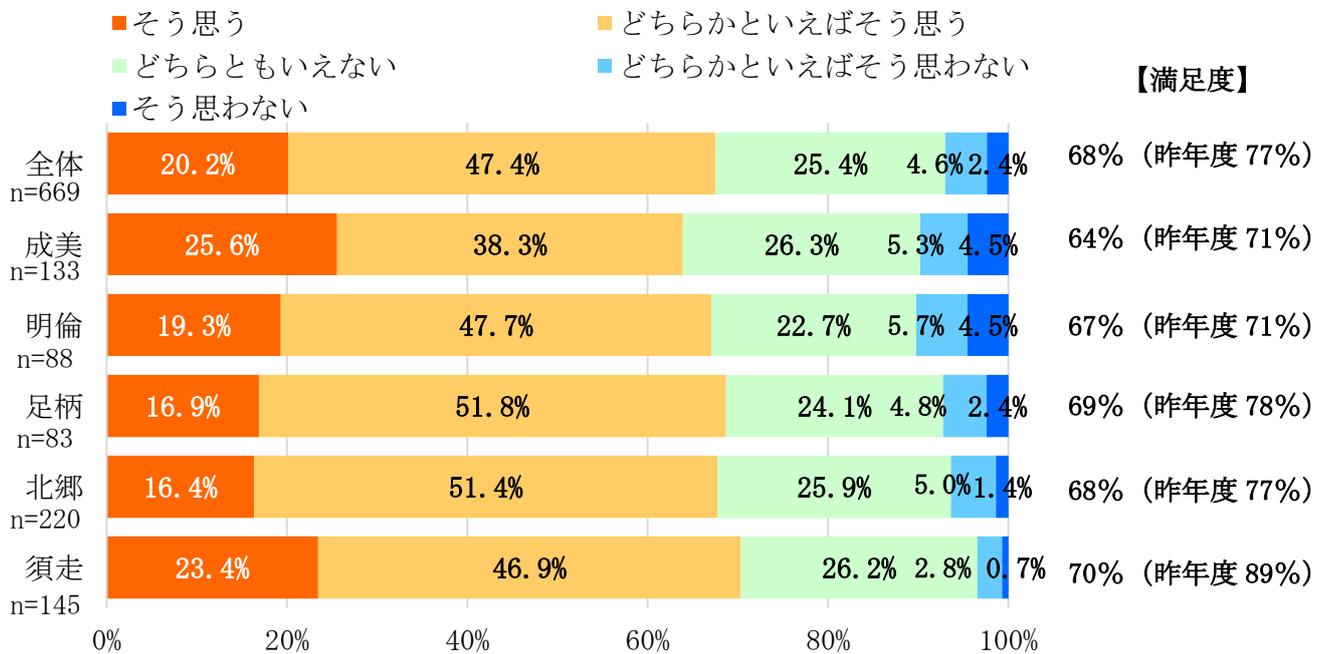


昨年と比較して、全体的に下がっています。地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では、40歳代と70歳代が高く、30歳代・50歳代が低くなっています。女性では、70歳代が高く、20歳代と30歳代が低くなっています。

問8－(36) 「清らかで豊かな水資源が守られている」

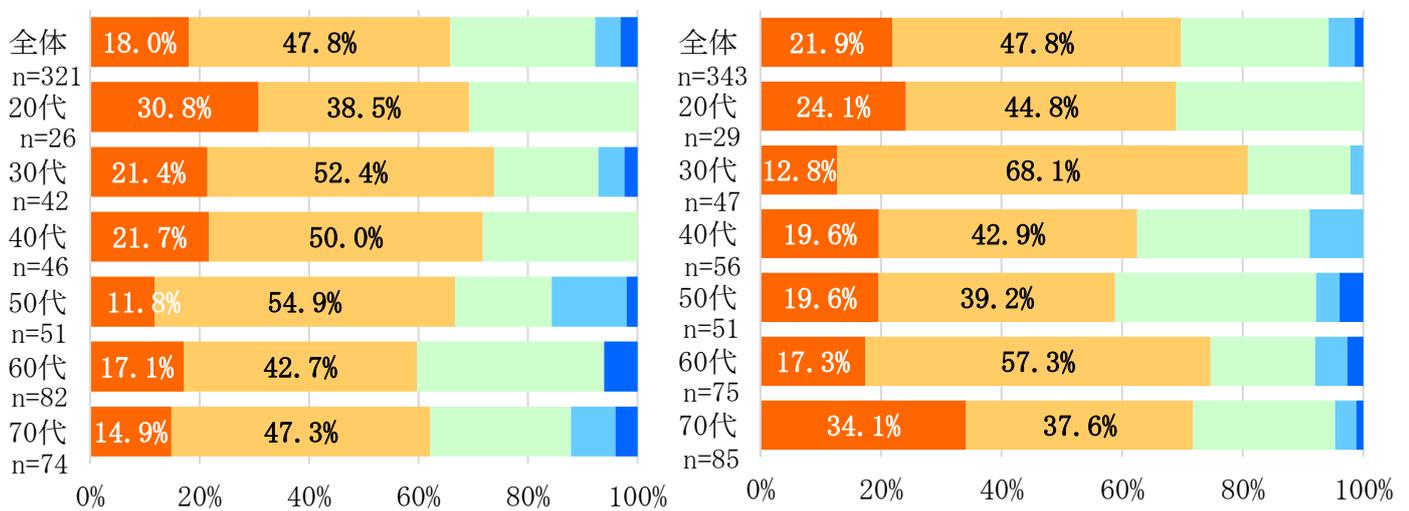
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **68% (昨年度 77%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

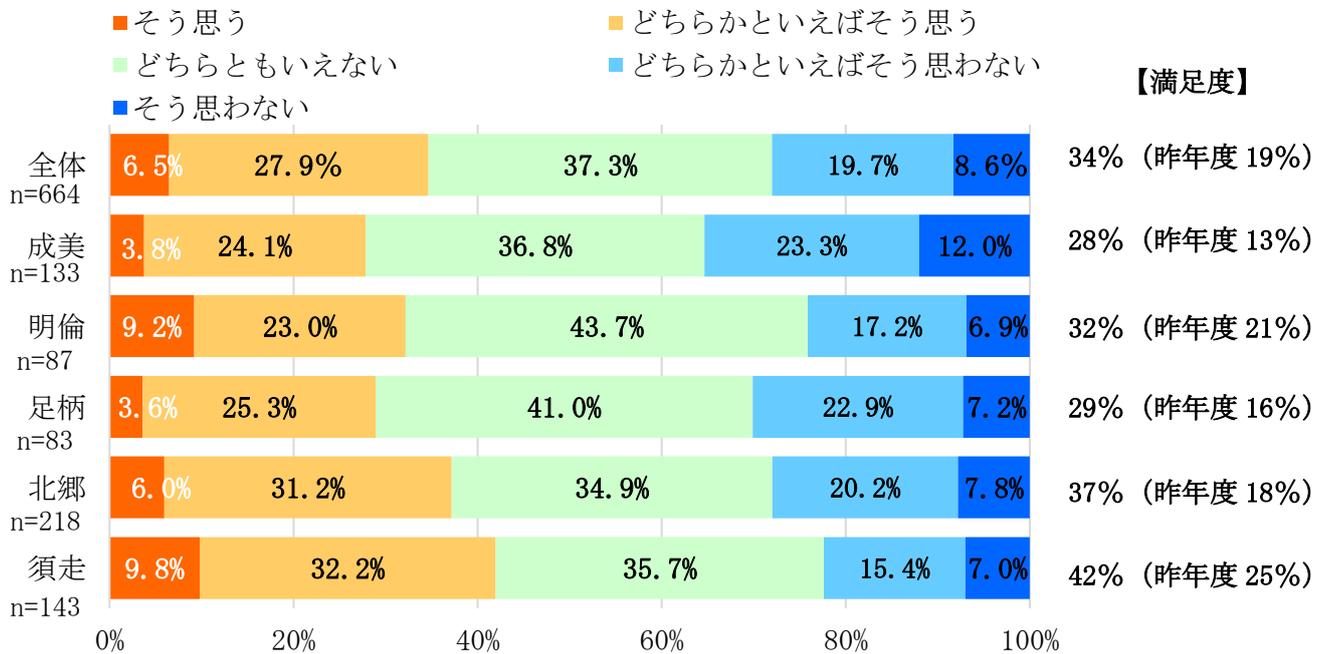


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、30歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、30歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問 8 - ( 3 7 ) 「町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる」

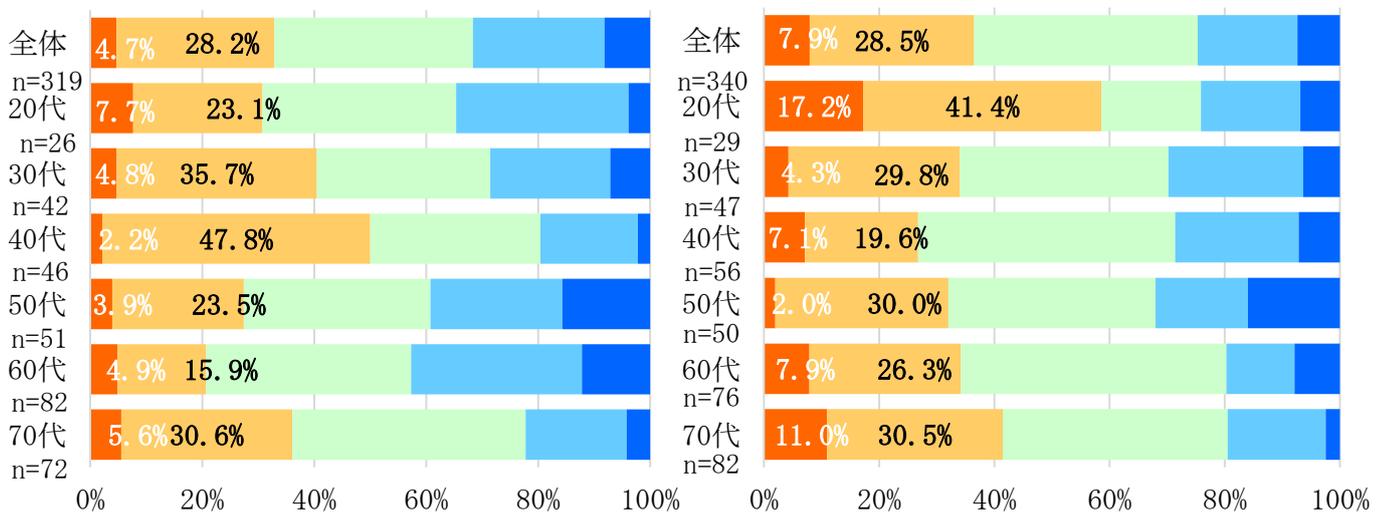
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **34% (昨年度 19%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

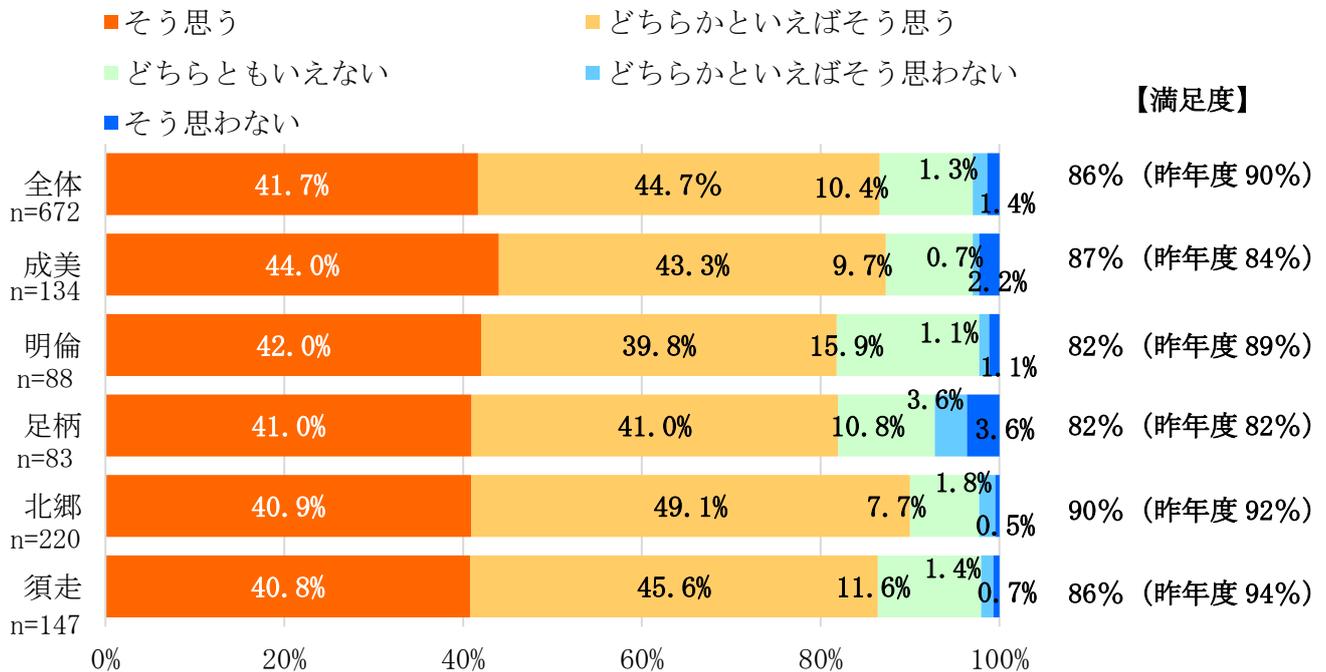


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区・足柄地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、40歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、40歳代が低くなっています。

問 8 - ( 3 8 ) 「安全な水道水が安定供給されている」

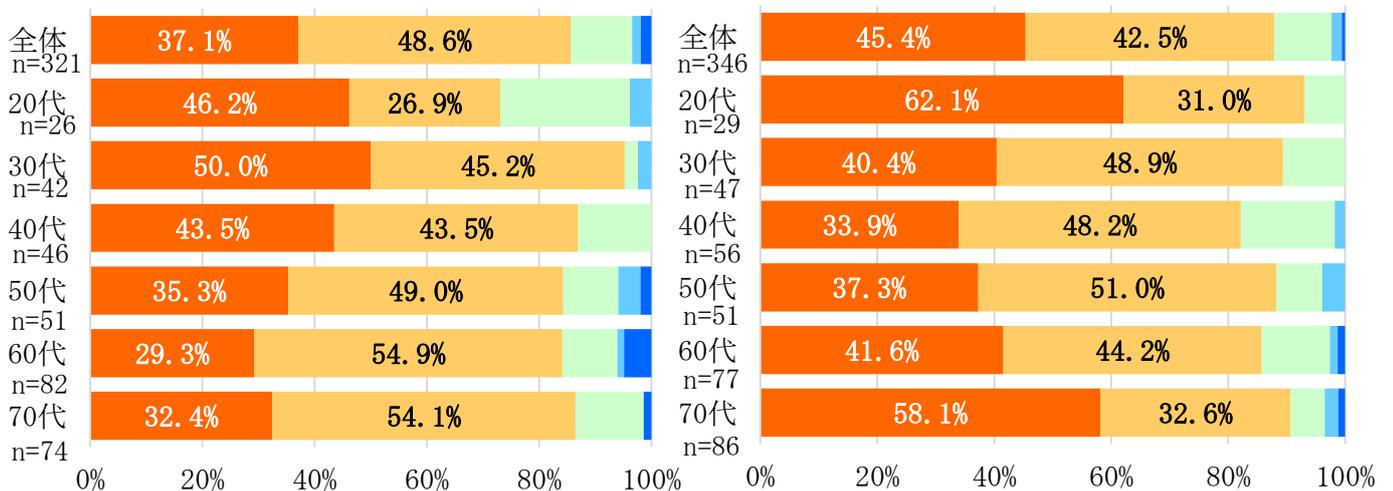
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 86% (昨年度 90%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

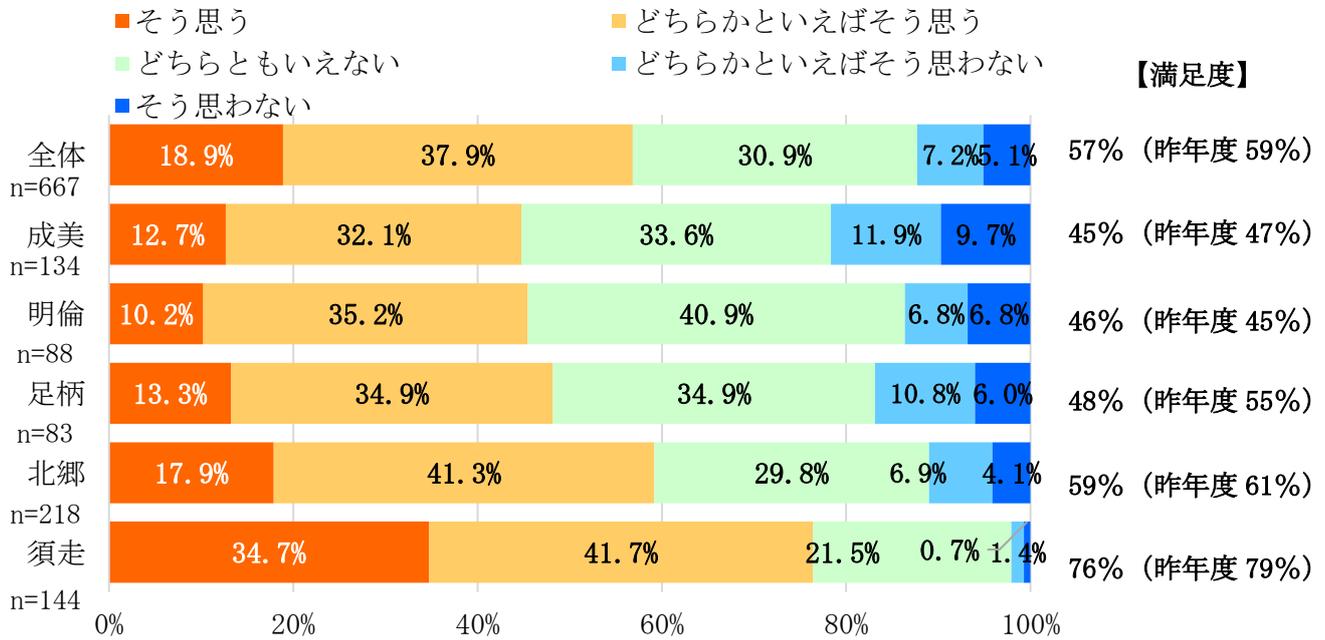


地区別の比較では、全体的に高く、中でも北郷地区が最も高くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では、30 歳代が高く、20 歳代が低くなっています。女性では、20 歳代が高く、40 歳代が低くなっています。

問8－(39) 「汚水(下水)が適切に処理されている」

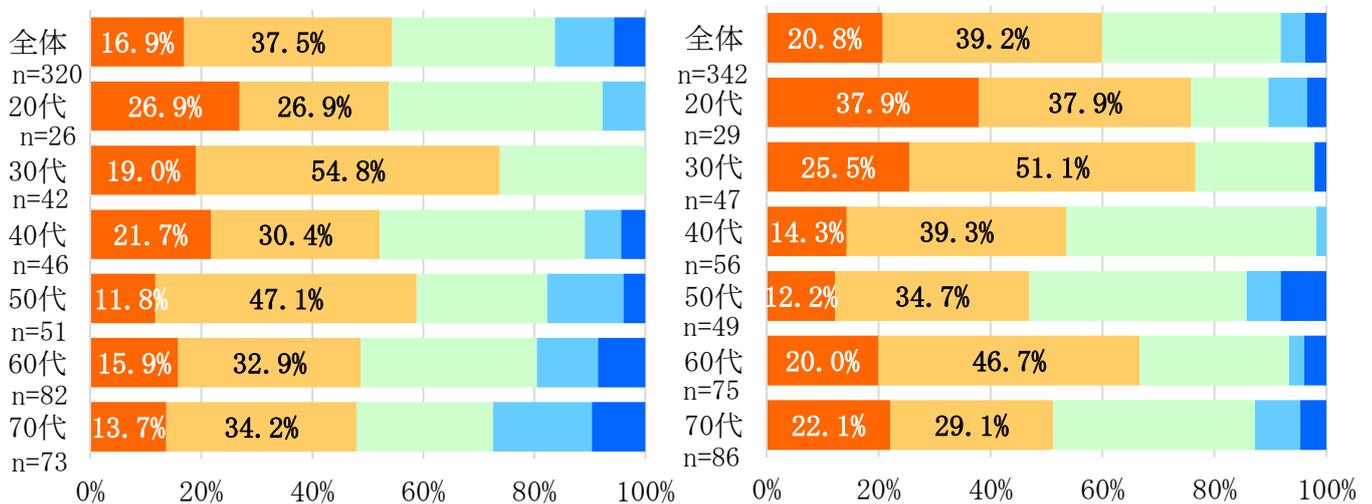
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 57% (昨年度 59%)

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

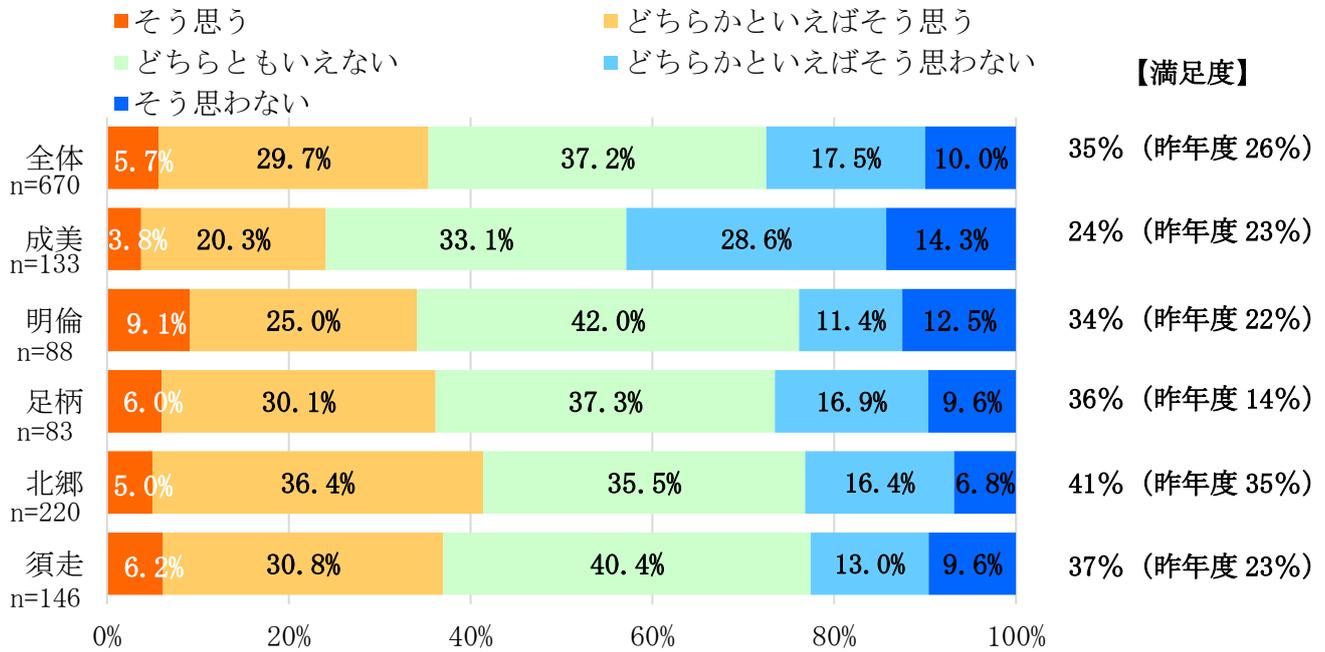


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美・明倫地区が低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性では、30歳代が高く、60・70歳代が低くなっています。女性では、20・30歳代が高く、50・70歳代が低くなっています。

問8- (40) 「道路網が便利で快適である」

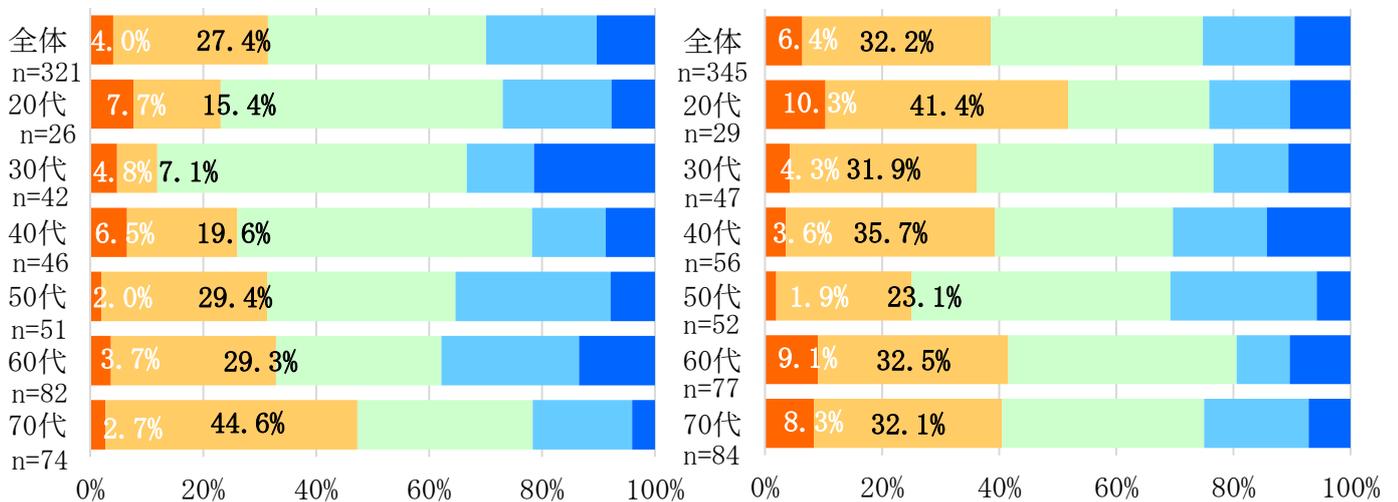
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **35% (昨年度 26%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

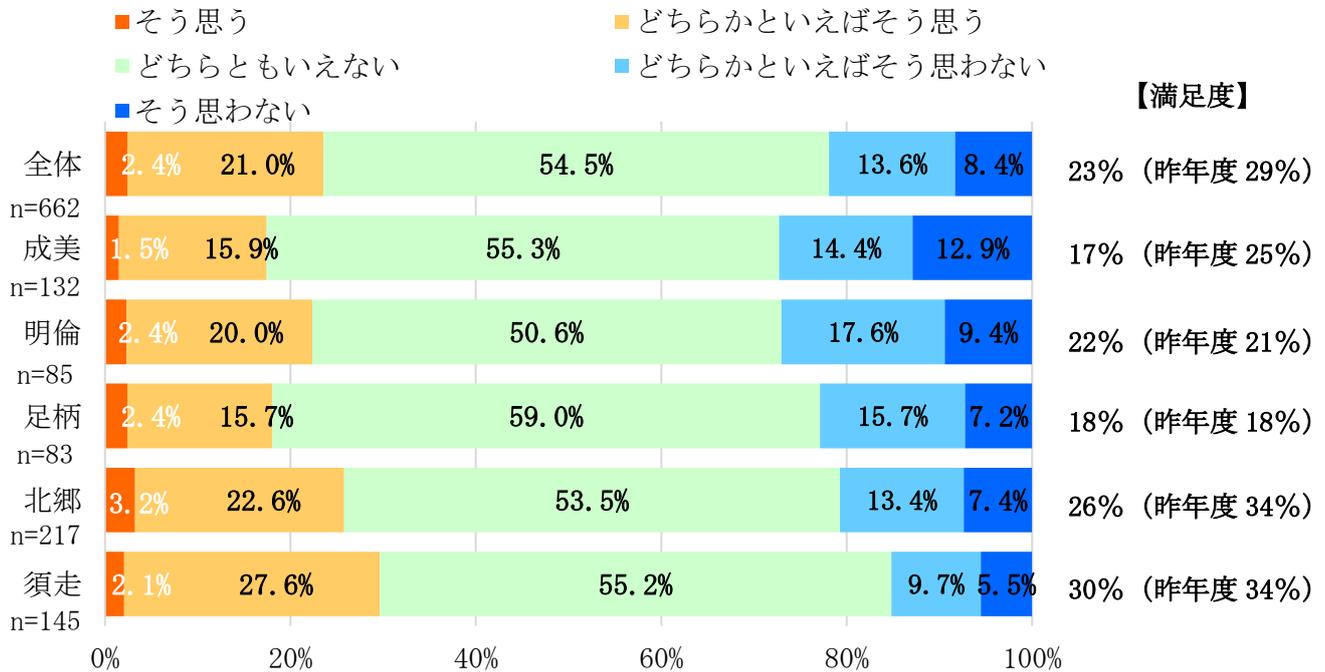


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、70歳代が高く、30歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問8- (41) 「計画的な土地利用が行われている」

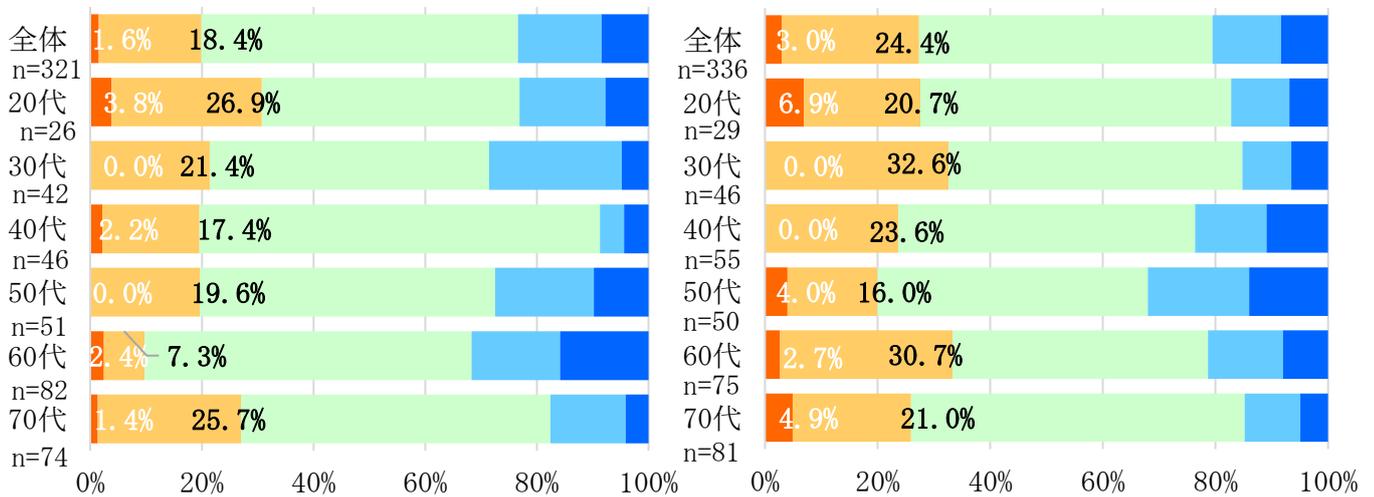
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **23% (昨年度 29%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

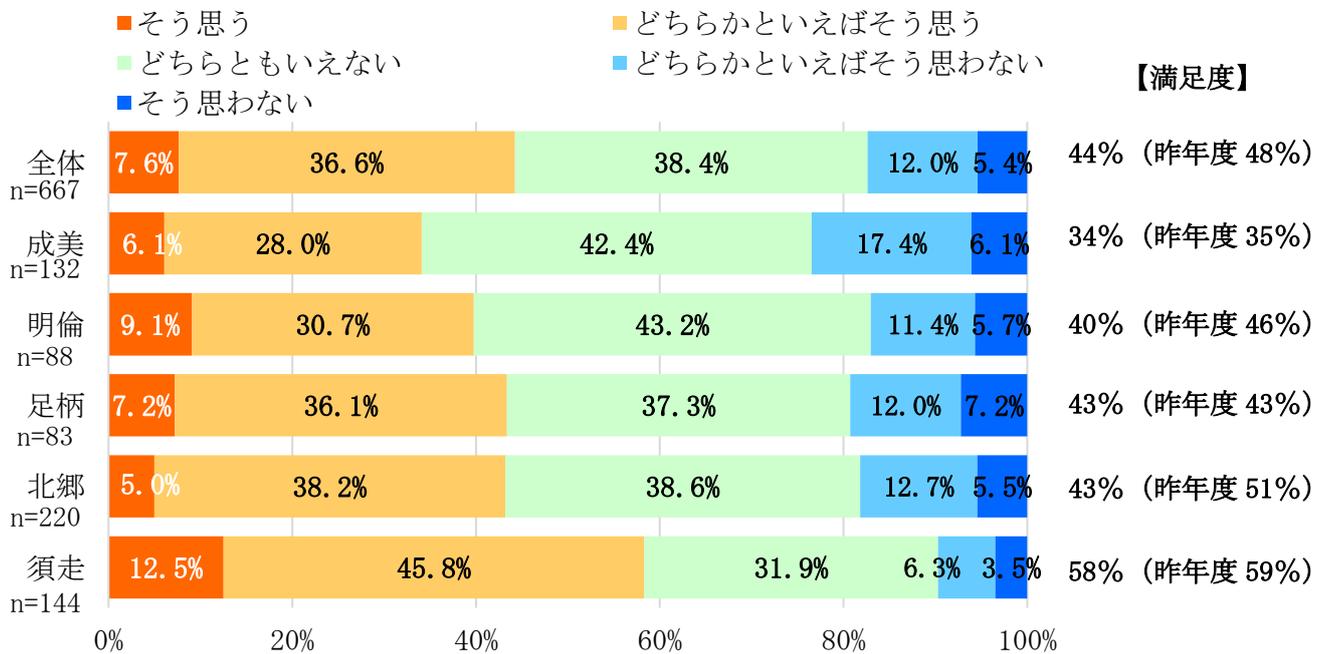


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美・足柄地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20・70歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、30・60歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問 8 - ( 4 2) 「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができています」

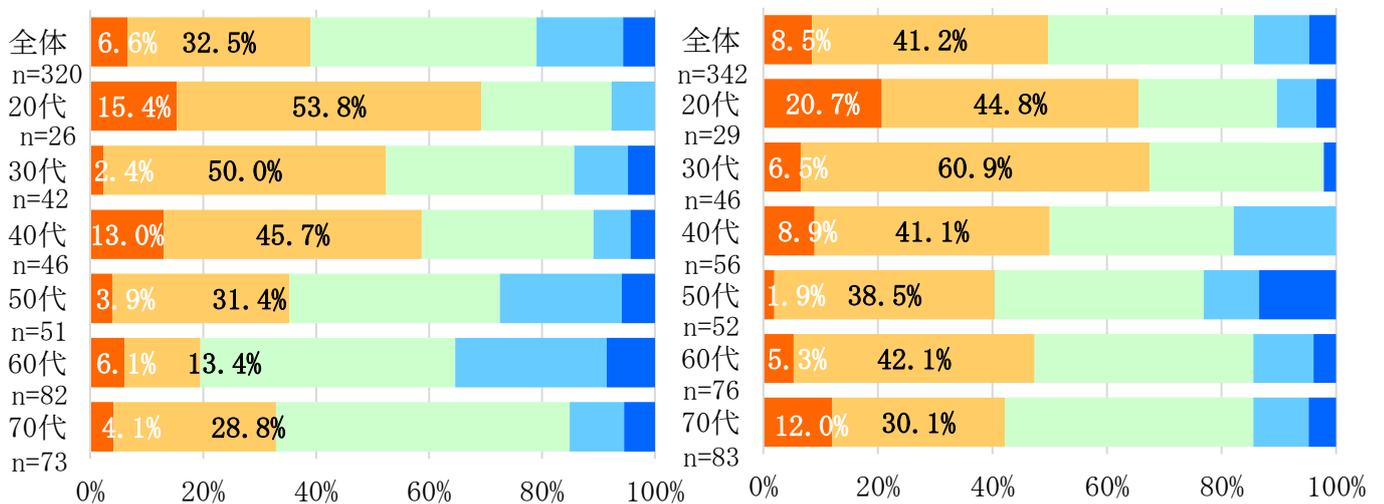
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 44% (昨年度 48%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

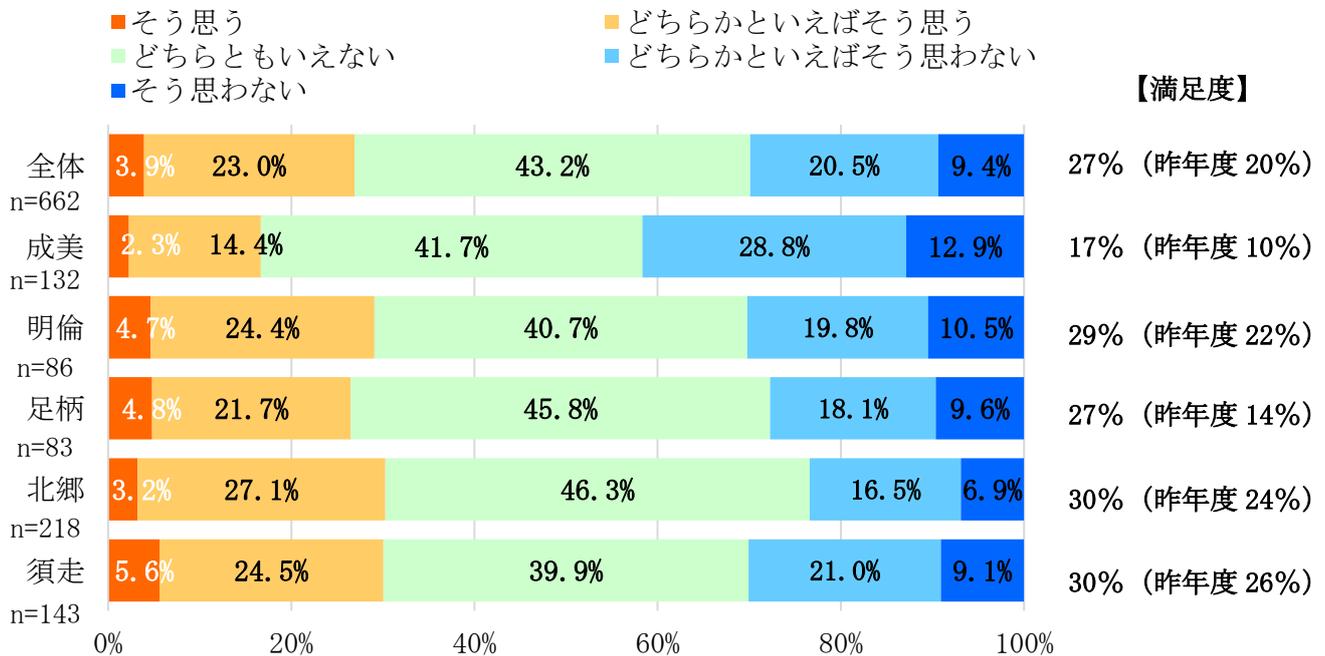


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区が低くなっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性では、20 歳代が高く、60 歳代が低くなっています。女性では、20・30 歳代が高く、50・70 歳代が低くなっています。

問8- (43) 「誰もが住みやすい住環境が整っている」

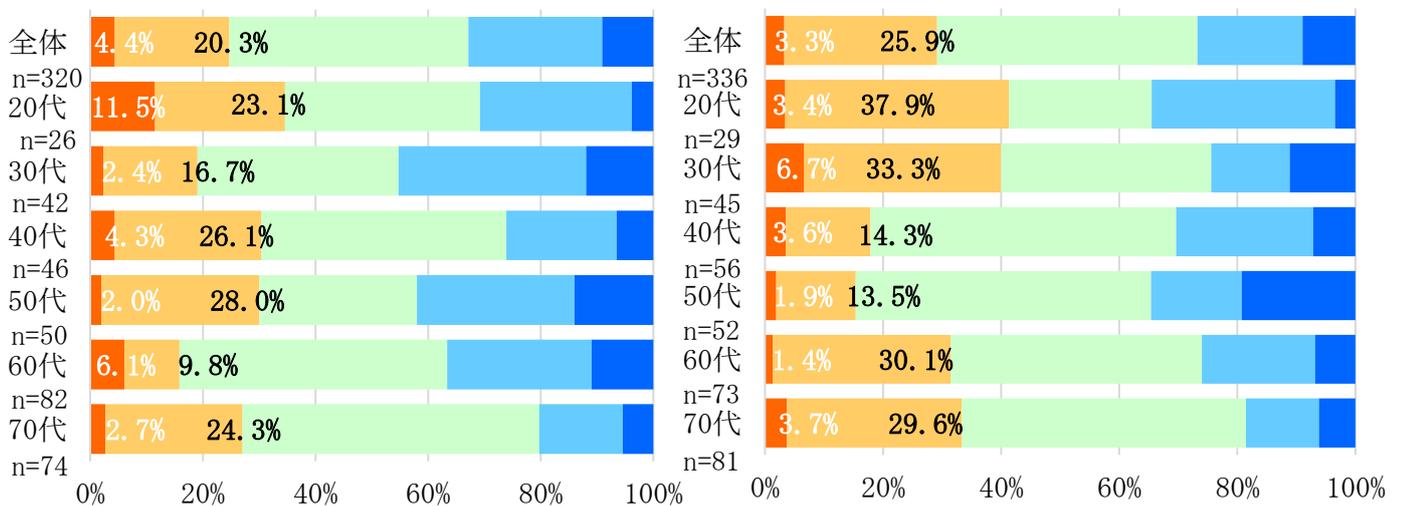
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27% (昨年度 20%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

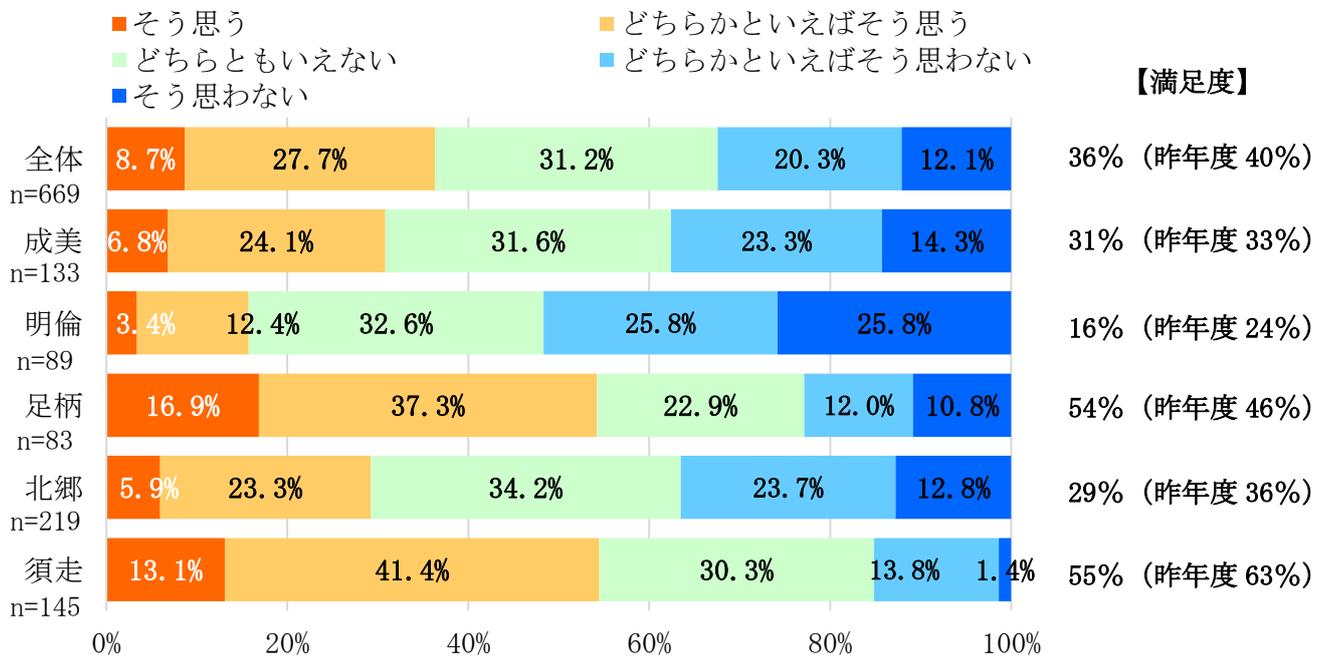


地区別の比較では、各地区概ね横ばいですが、成美地区が低い傾向にあります。男女 (年齢) 別の比較では、男性では、20歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、20・30歳代が高く、40・50歳代が低くなっています。

問8- (44) 「自身が暮らす地域に満足できる公園・緑地が確保されている」

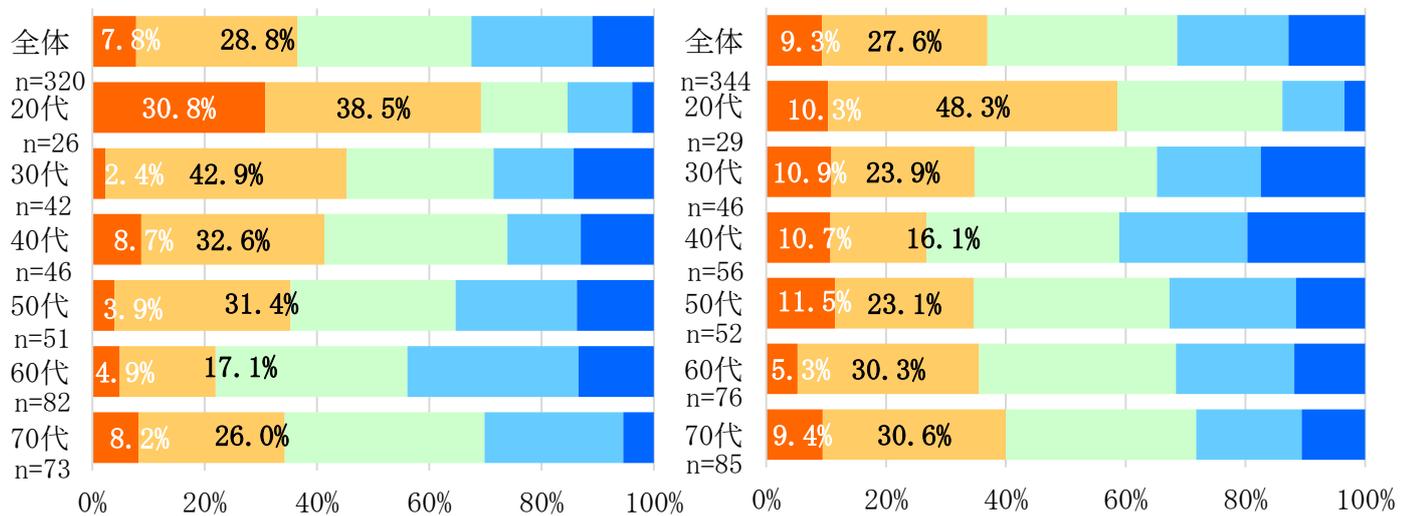
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 36% (昨年度 40%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

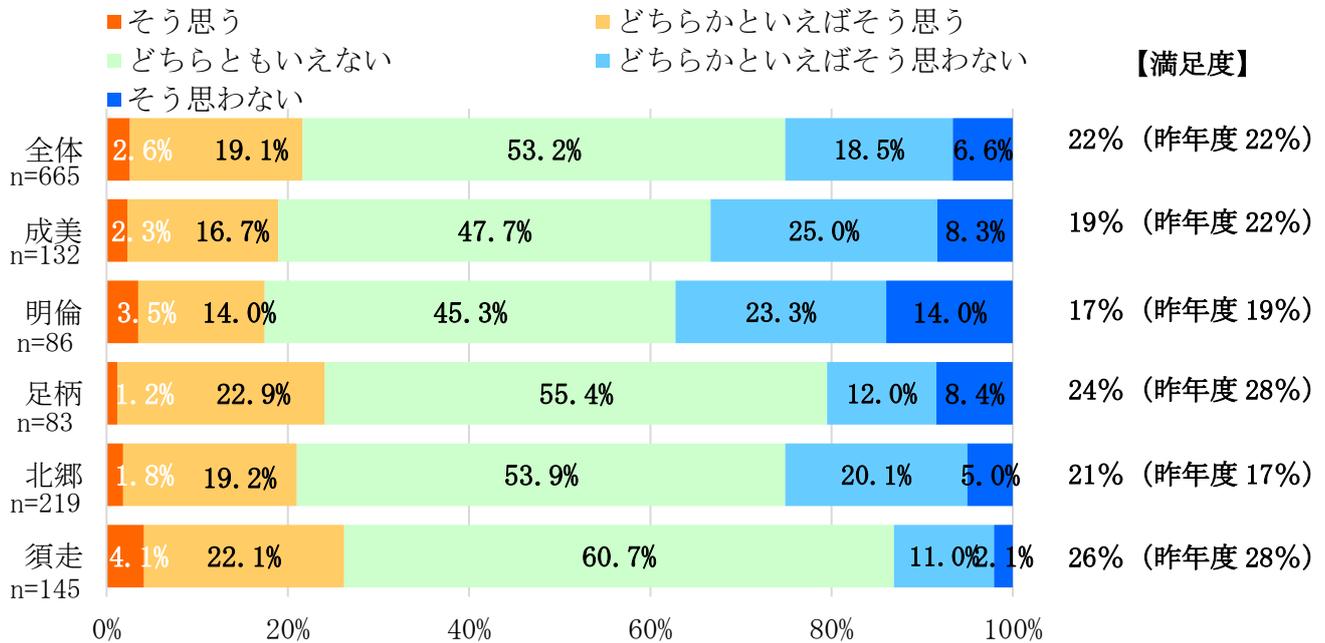


地区別の比較では、足柄・須走地区が最も高く、明倫地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、40歳代が低くなっています。

問8- (45) 「町民が自主的に参加してまちづくりを進めている」

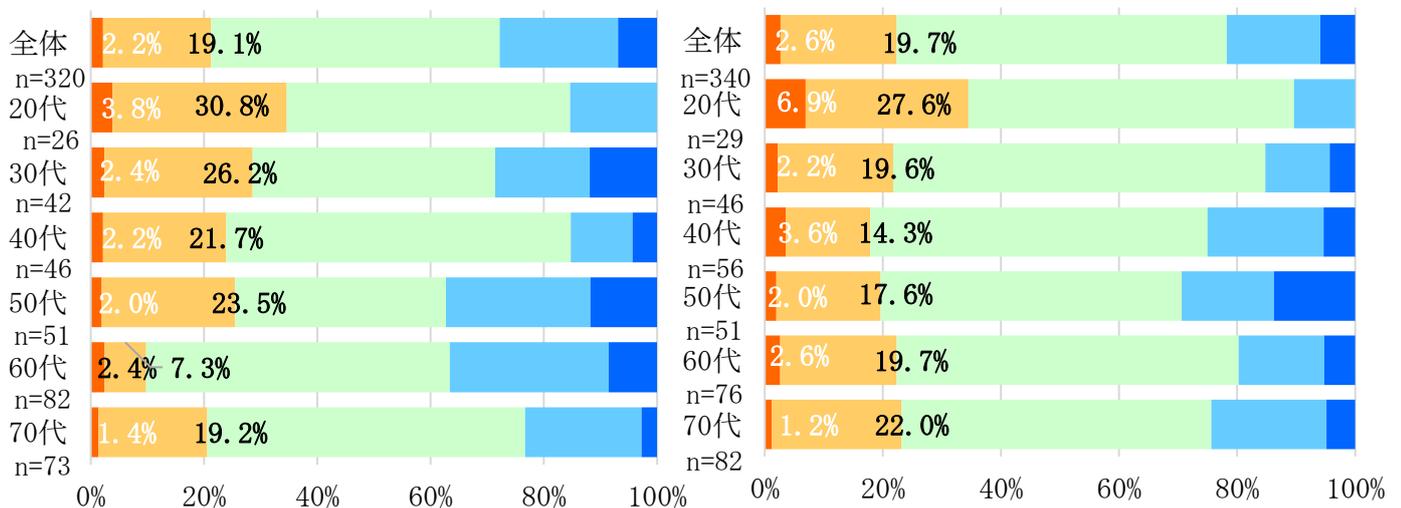
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **22% (昨年度 22%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

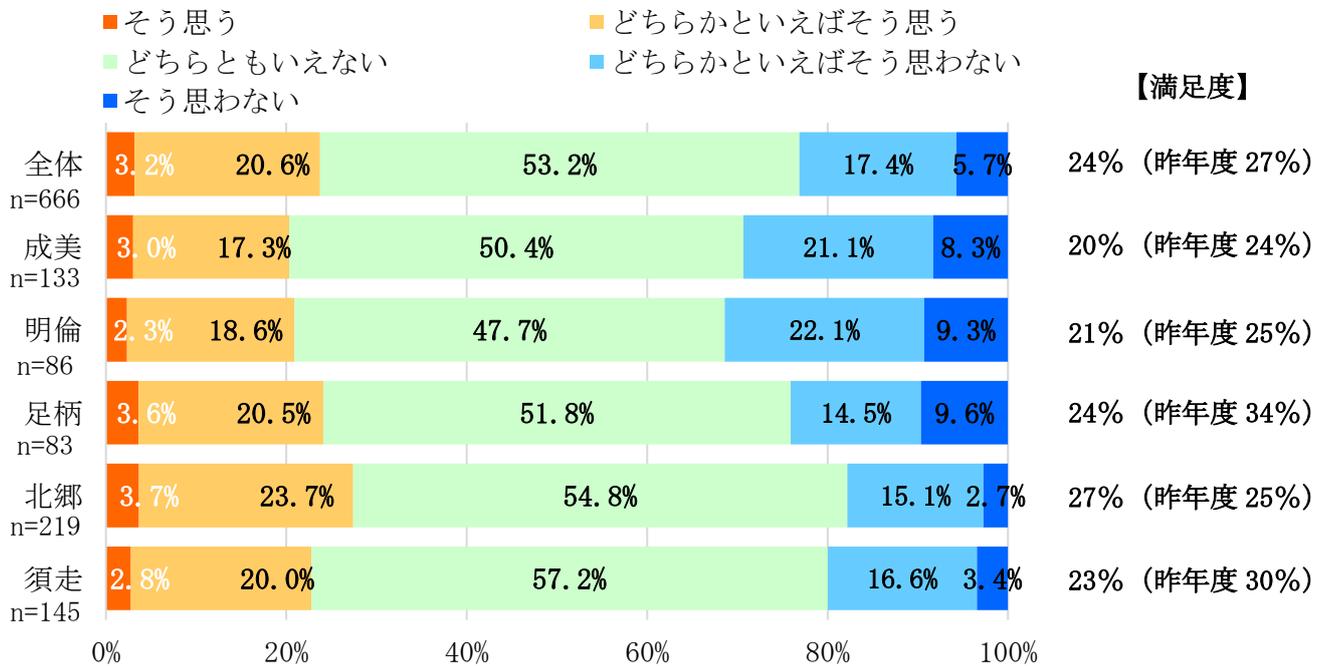


地区別の比較では、須走地区が最も高く、明倫地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、40歳代が低くなっています。

問8- (46) 「地域コミュニティが活発である」

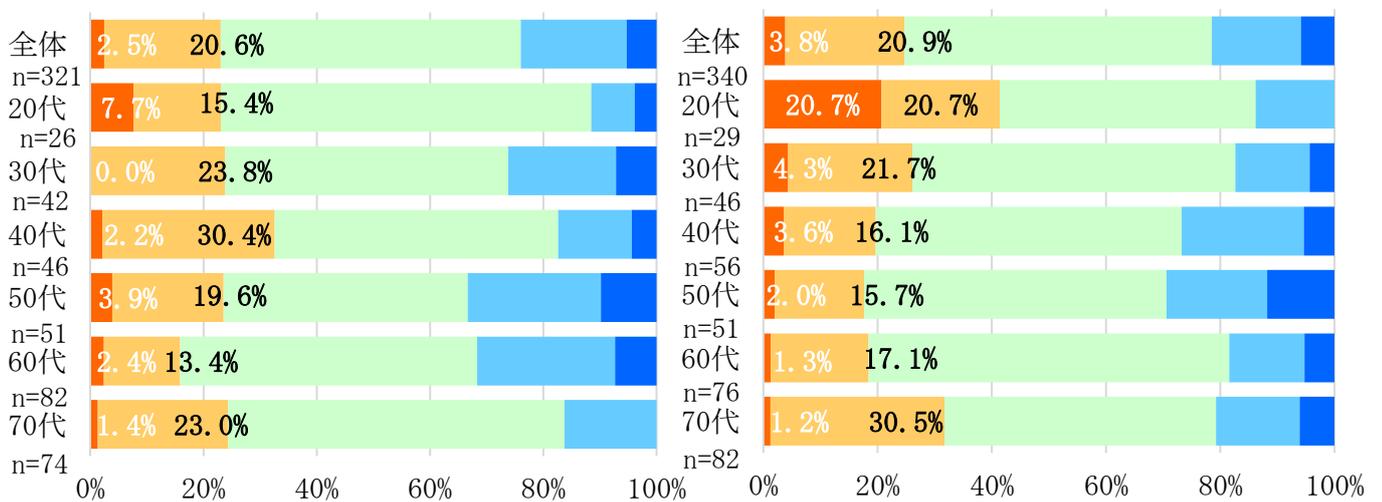
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **24% (昨年度 27%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

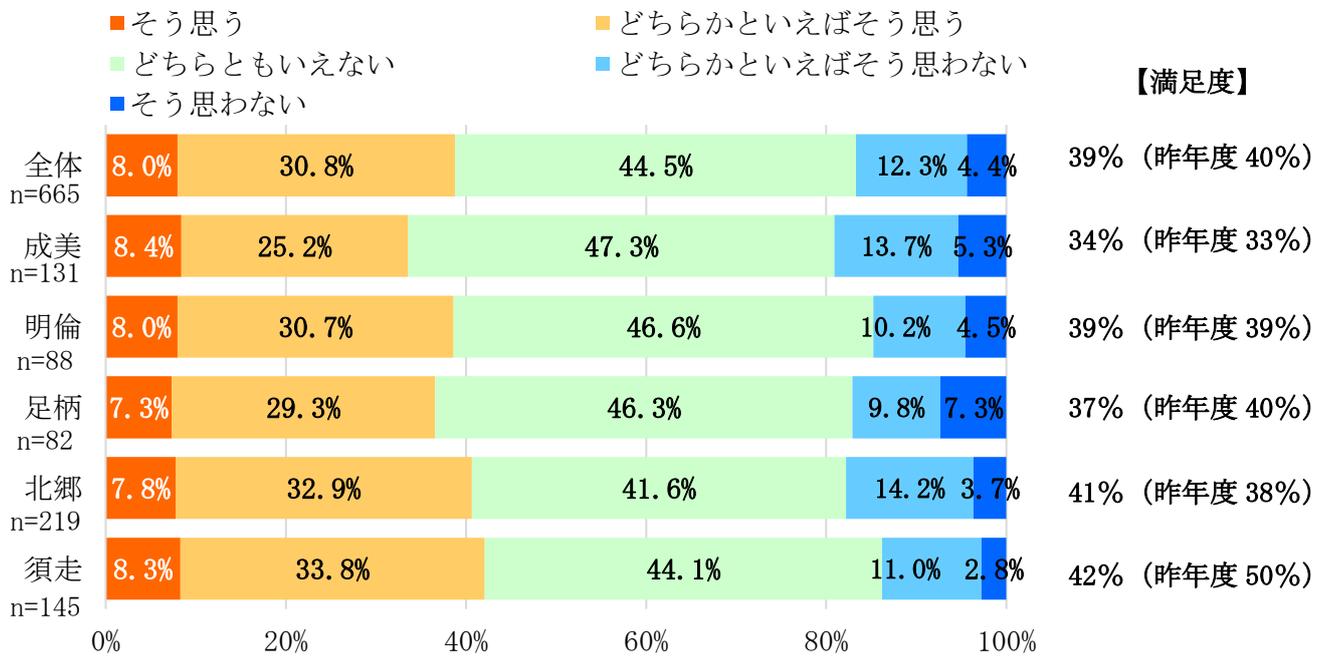


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美・明倫地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、40歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、50・60歳代が低くなっています。

問 8 - ( 4 7 ) 「普段の生活の中で、男女が平等である」

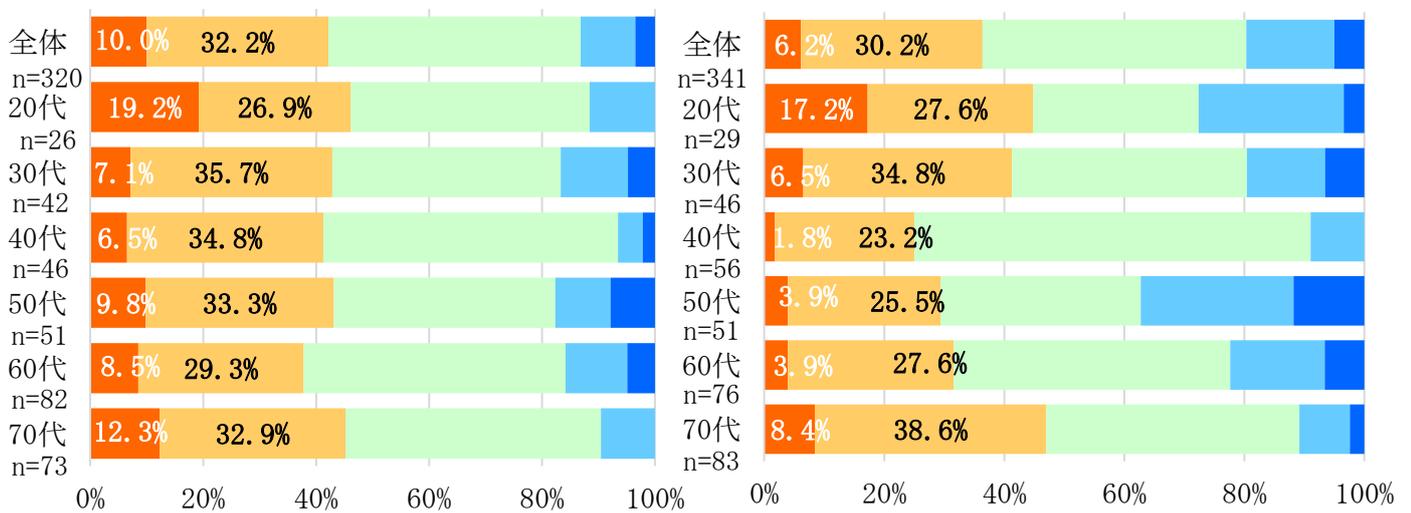
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **39% (昨年度 40%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

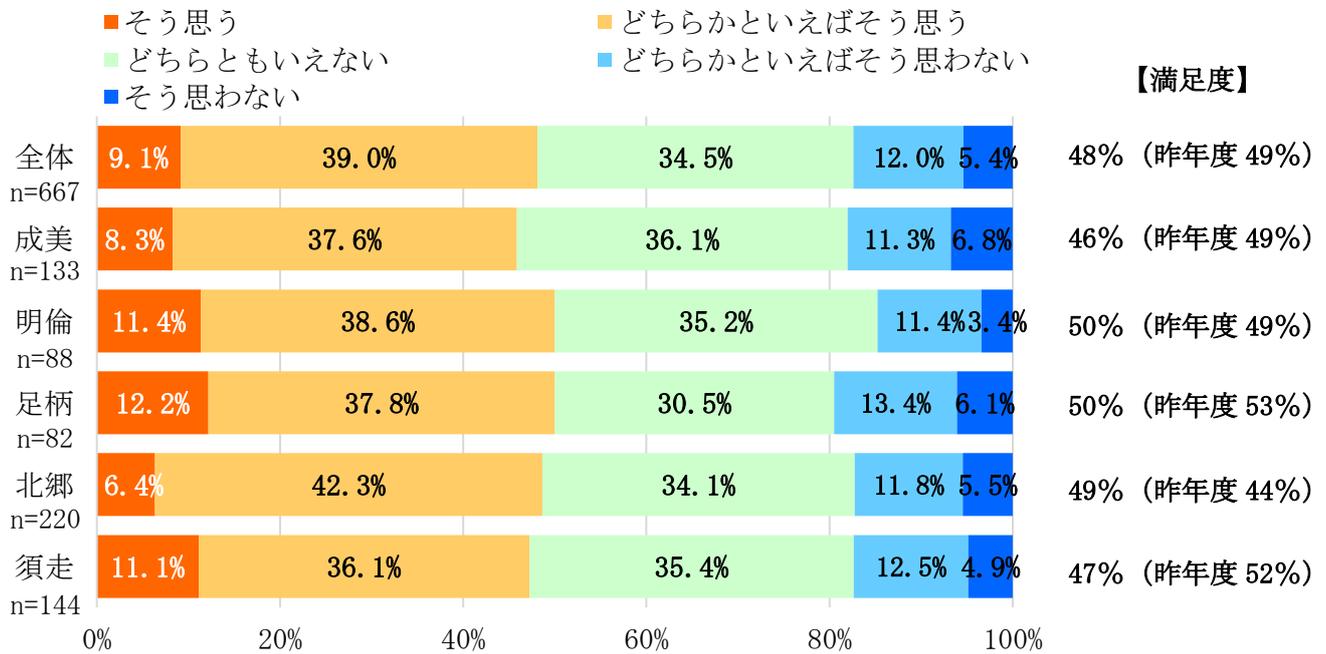


地区別の比較では、各地区概ね横ばいですが、須走地区が最も高く、成美地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに 20 歳代と 70 歳代が高く、男性では 60 歳代が、女性では、40 歳代が低くなっています。

問 8 - ( 4 8) 「町からの必要な情報が適切に伝わっている」

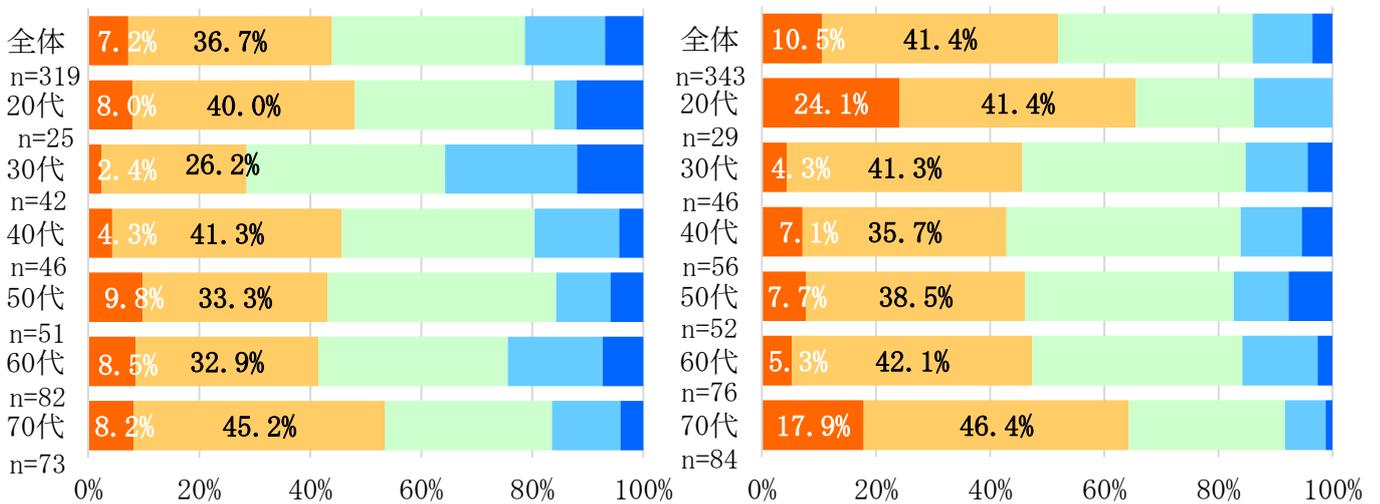
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48% (昨年度 49%)

全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

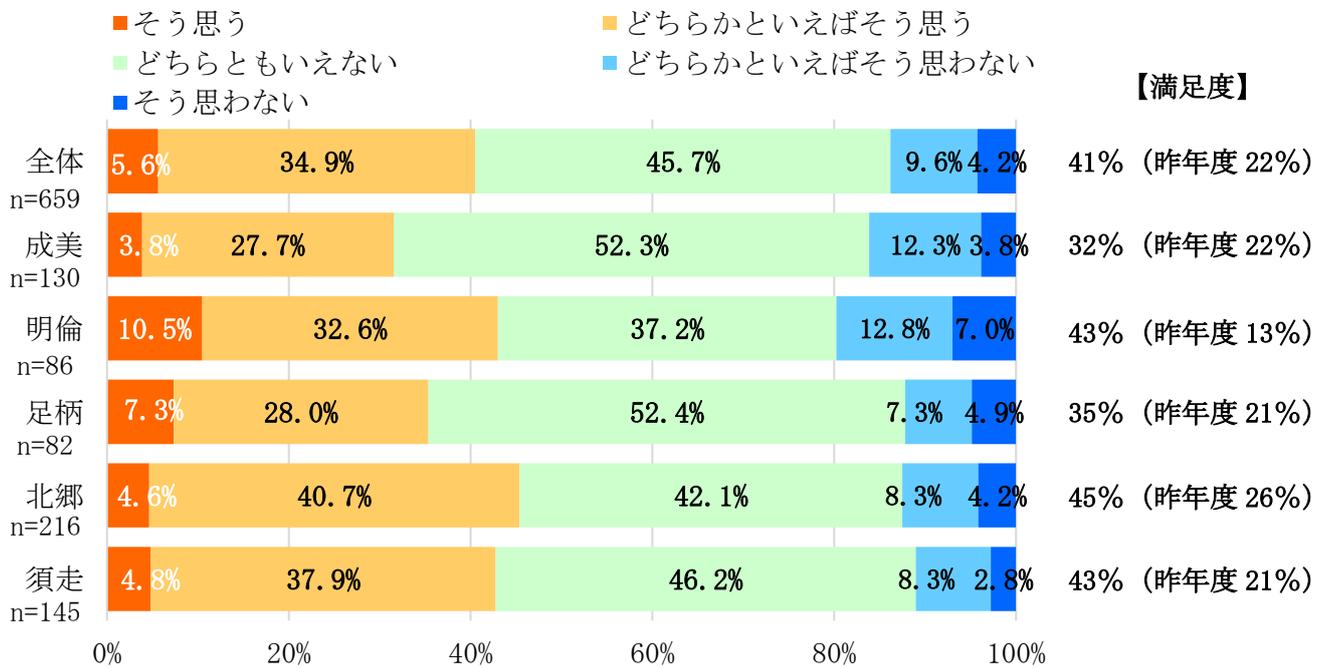


地区別の比較では、各地区概ね横ばいですが、明倫・足柄地区が高く、成美地区が低い傾向にあります。男女 (年齢) 別の比較では、男性では、70 歳代が高く、30 歳代が低くなっています。女性では、20・70 歳代が高く、40 歳代が低くなっています。

問8- (49) 「小山町は周辺市町村と連携している」

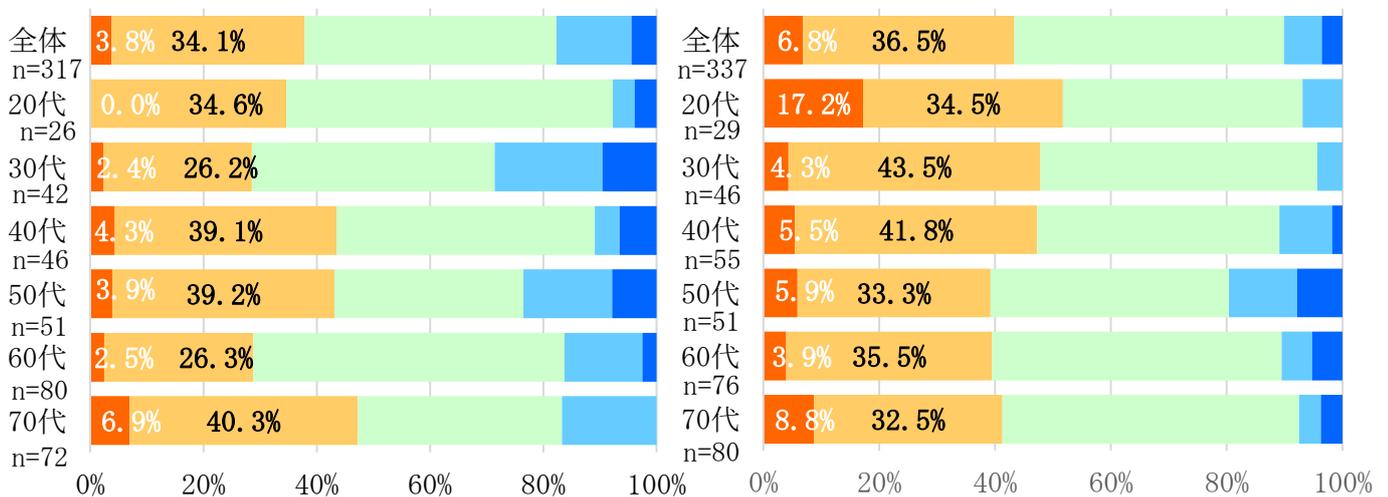
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **41% (昨年度 22%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

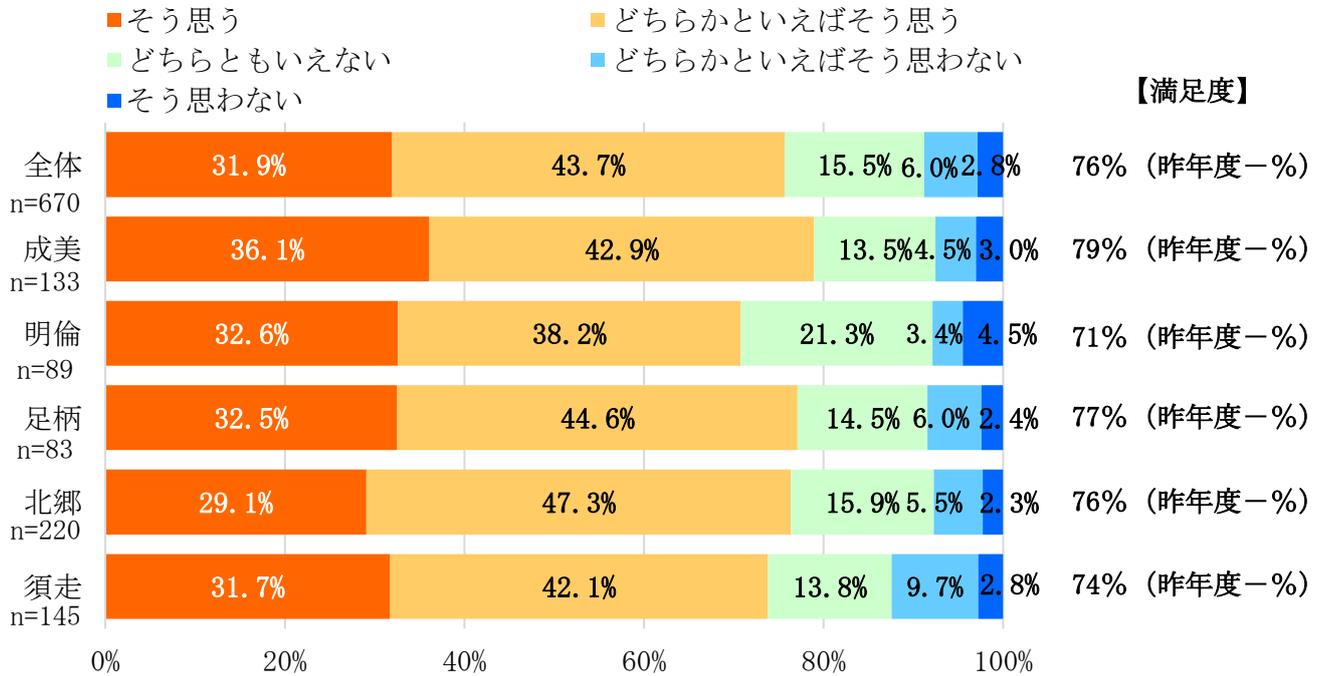


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、70歳代が高く、30・60歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、50・60歳代が低くなっています。

問8－(50) 「無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている」

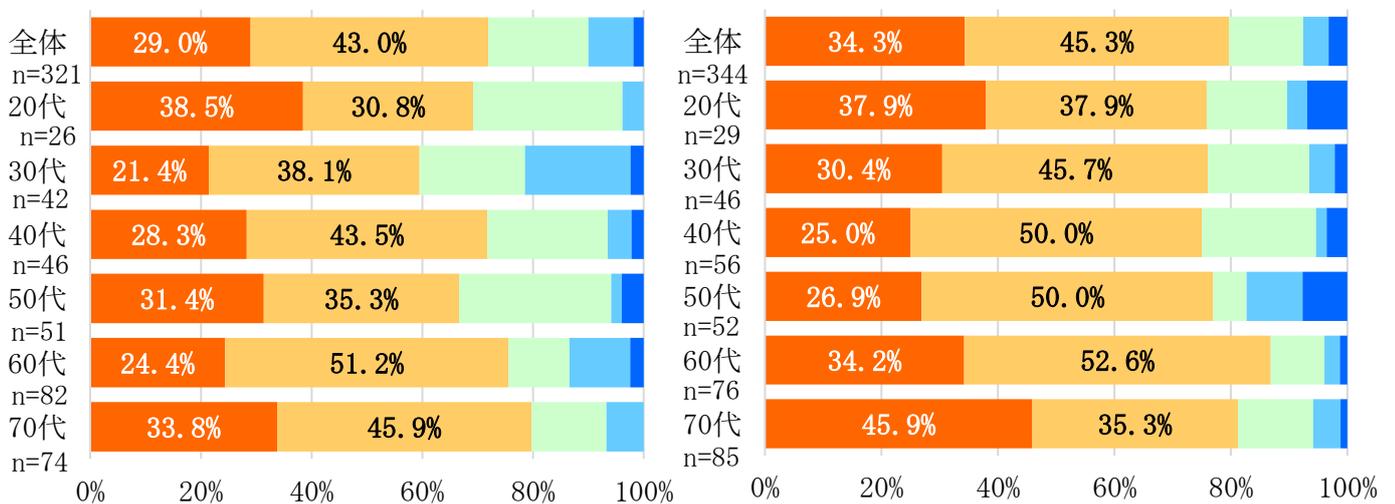
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **76% (昨年度－%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

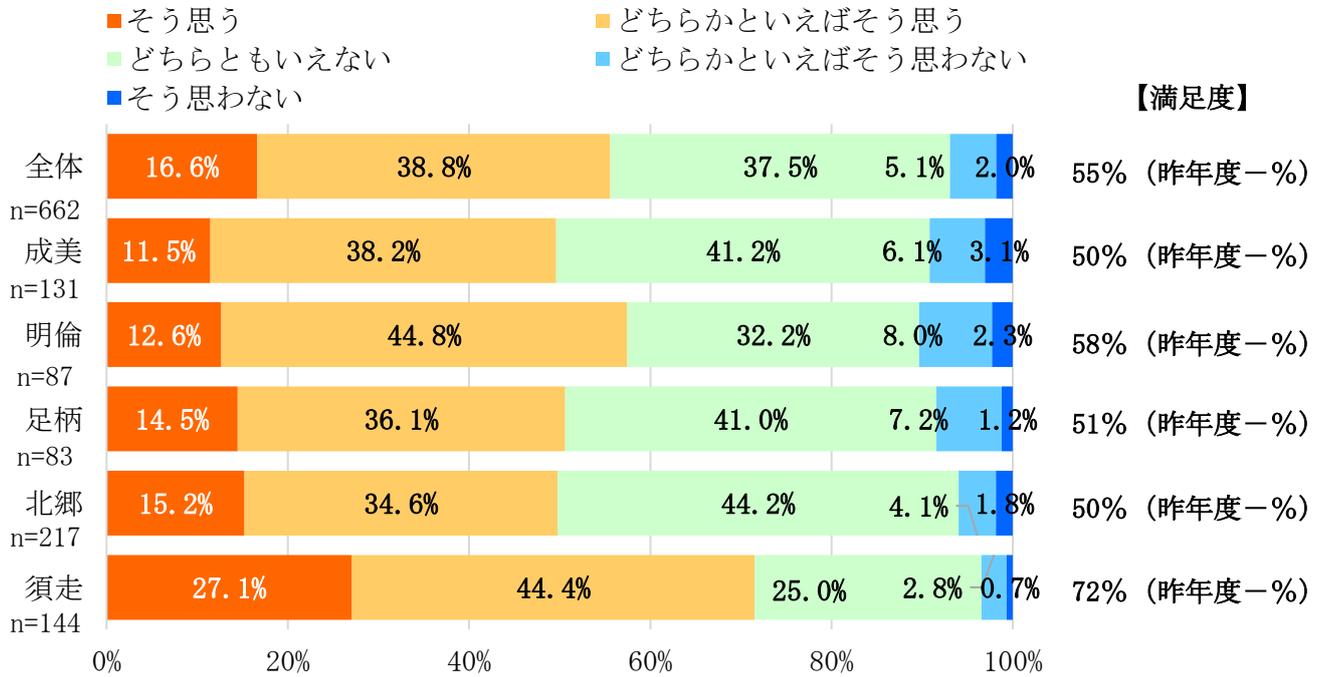


地区別の比較では、成美地区が最も高く、明倫地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、70歳代が高く、30歳代が低くなっています。女性では、60歳代が高く、40歳代が低くなっています。

問8－(51) 「小山町は日頃（有事の際も含む）から、自衛隊と連携が取れている」

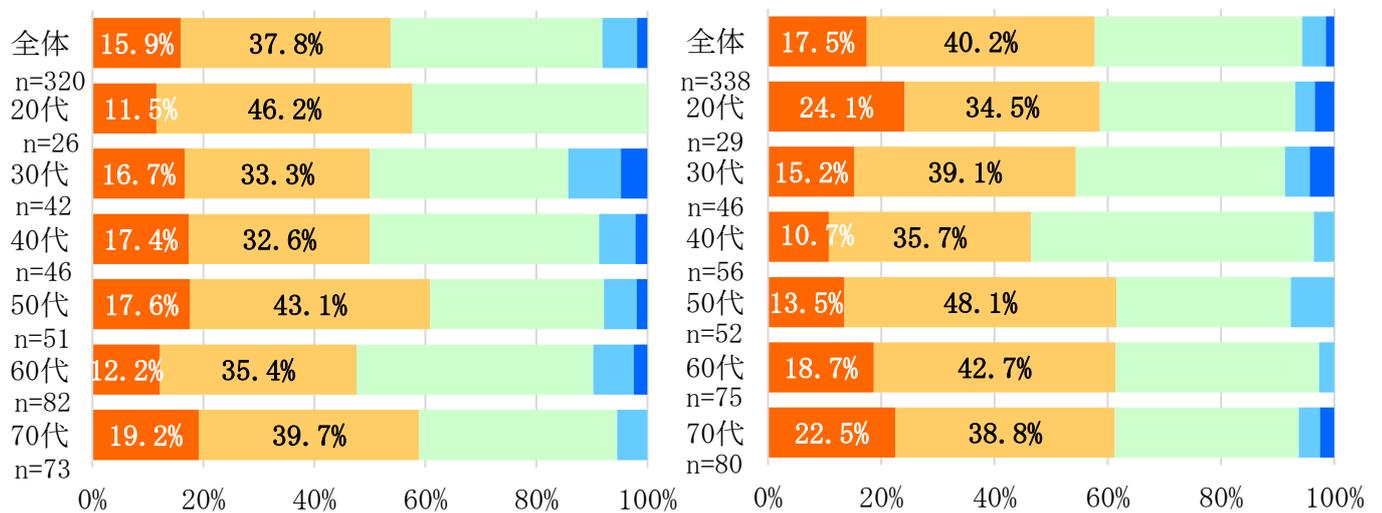
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 55%（昨年度－%）

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

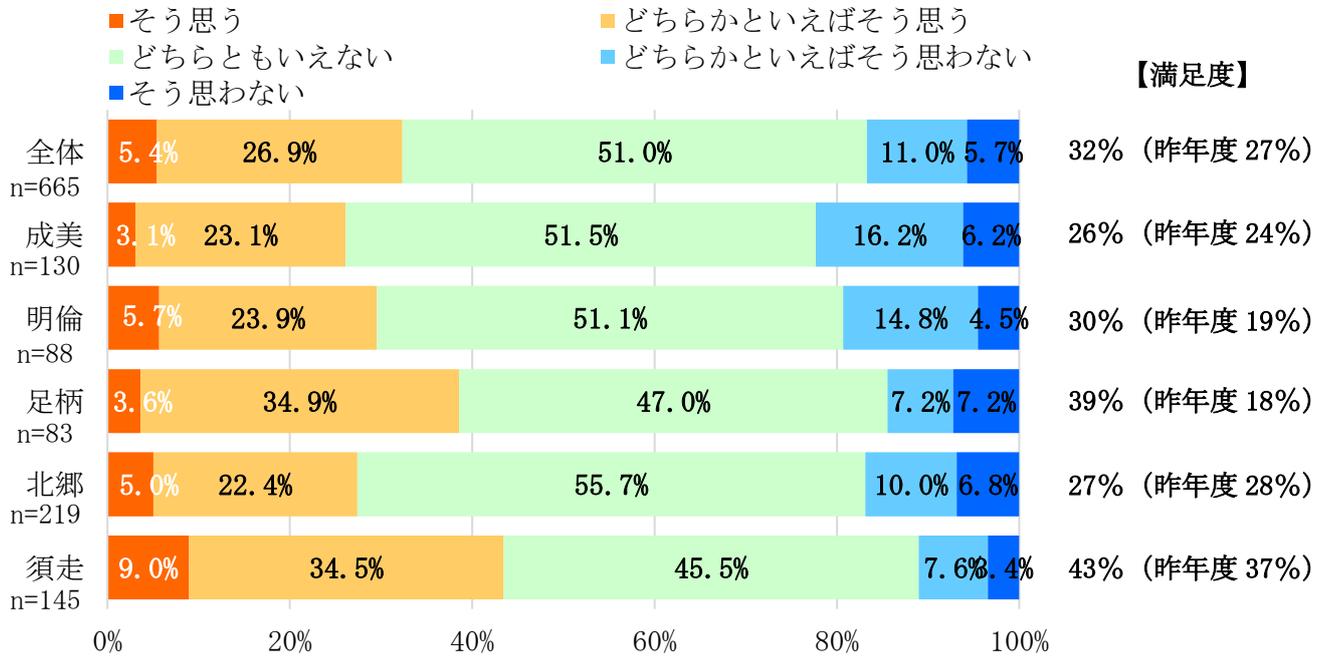


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美・足柄・北郷地区が低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男性では、50歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、50歳代・60歳代・70歳代が高く、40歳代が低くなっています。

問 8 - ( 5 2) 「町は町民目線に立ち、透明性・公平性の高い行政運営を行っている」

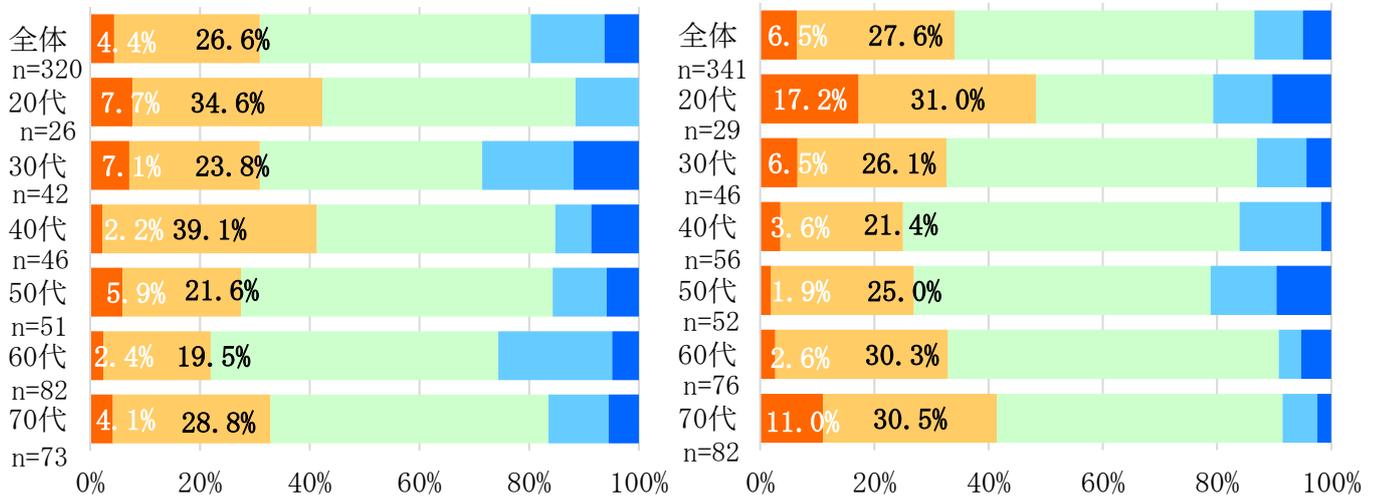
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 32% (昨年度 27%)

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

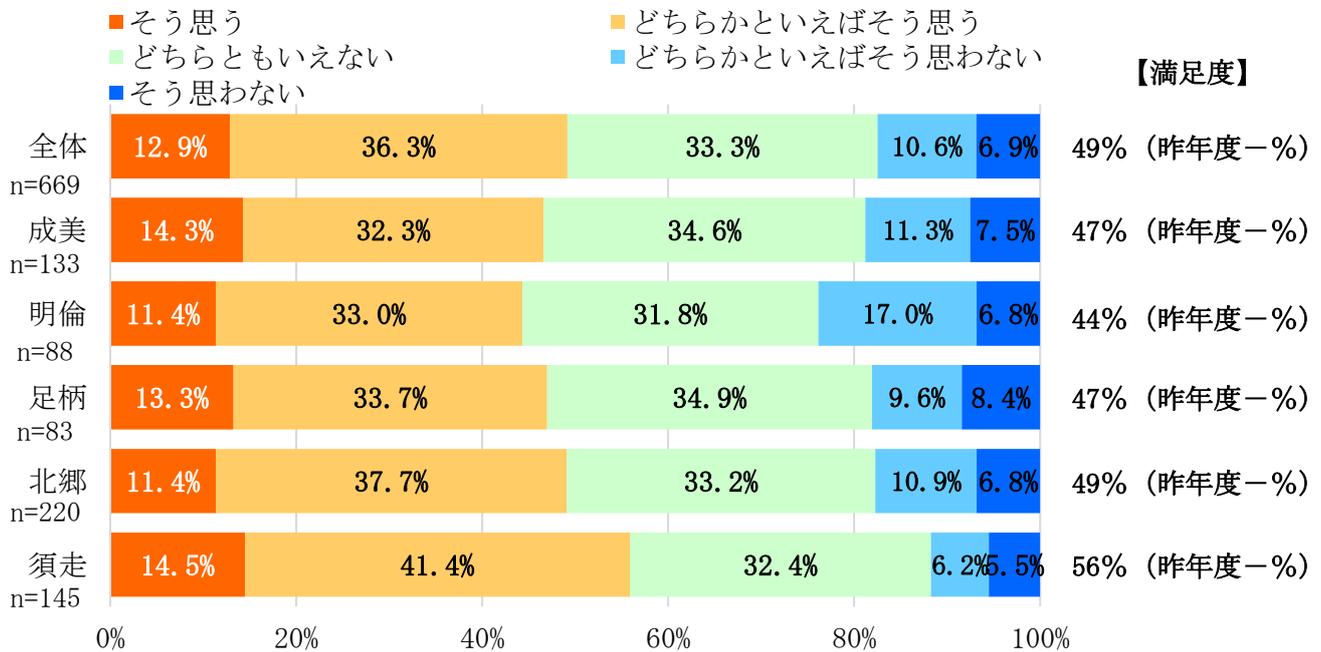


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区と北郷地区が低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男性では、20・40歳代が高く、60歳代が低くなっています。女性では、20歳代が高く、40歳代が低くなっています。

問 8 - ( 5 3 ) 「町職員の窓口対応及び各種対応に満足している」

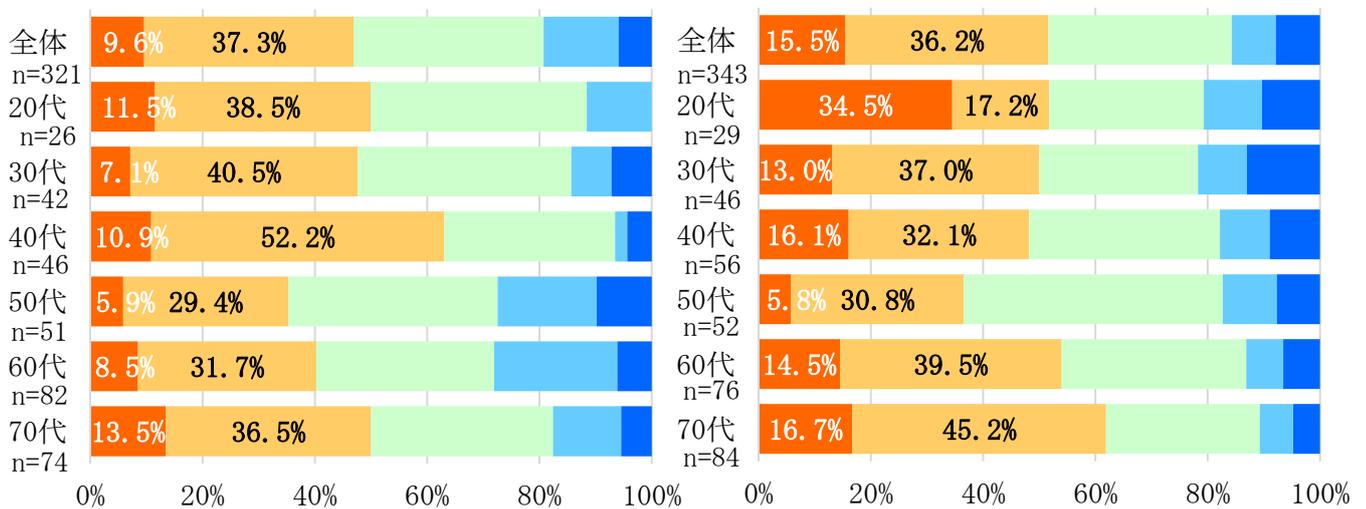
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **49% (昨年度-%)**

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

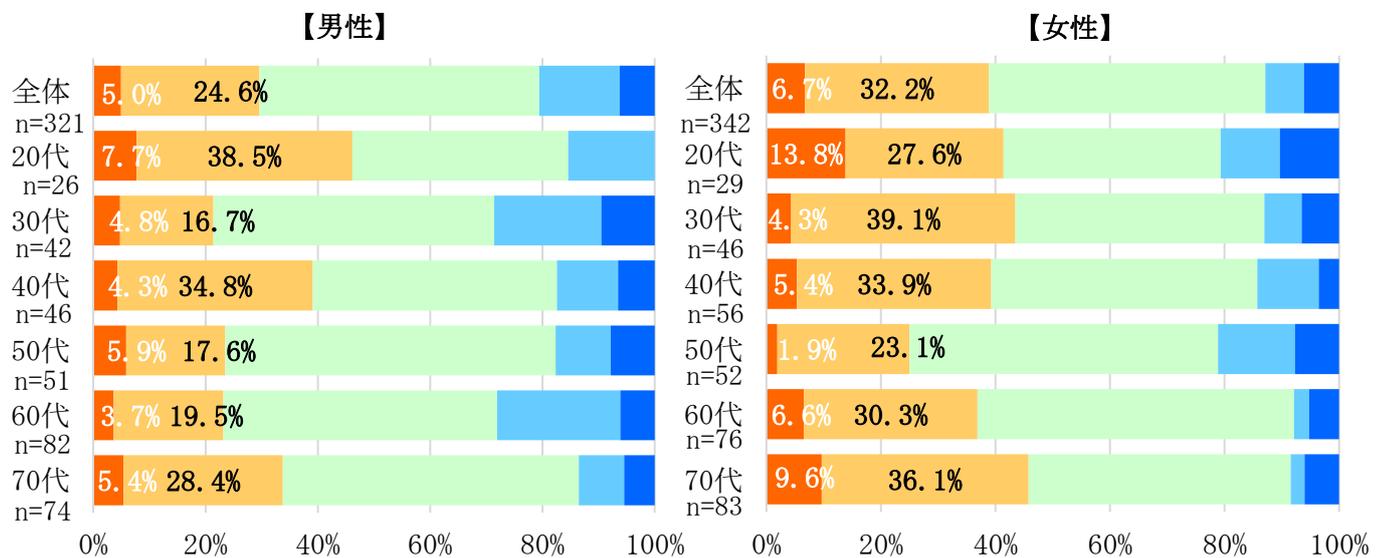
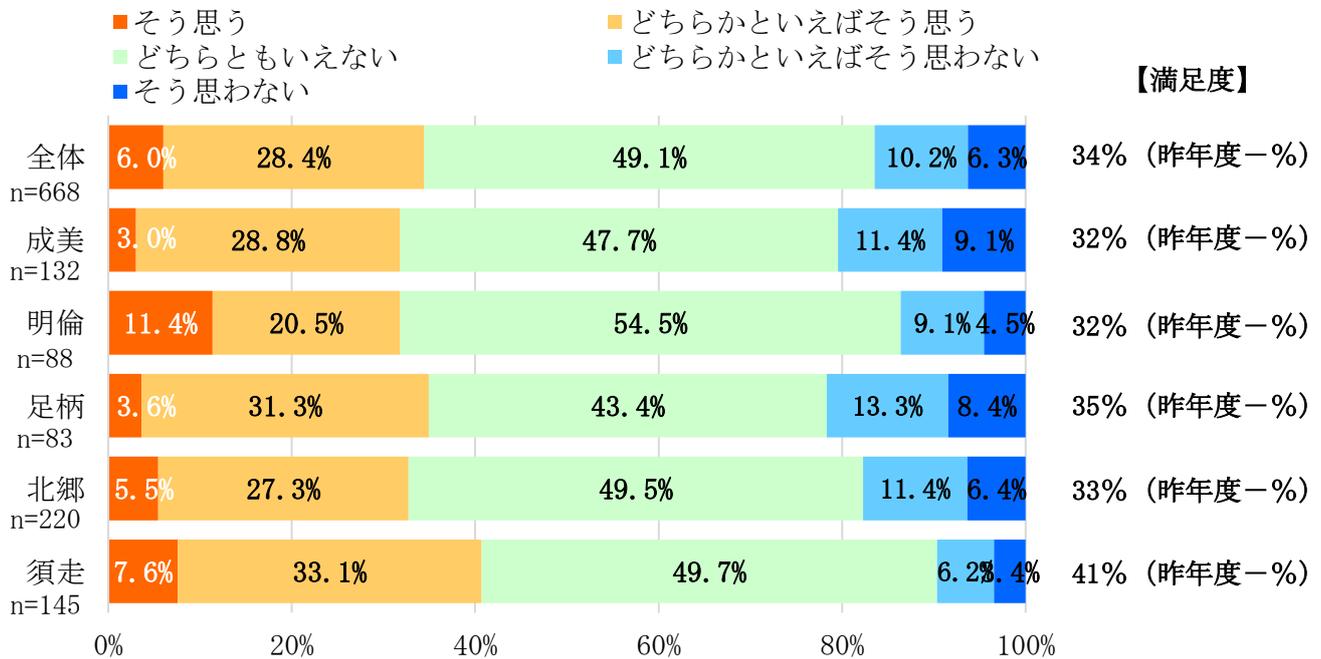


地区別の比較では、須走地区が最も高く、明倫地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、40歳代が高く、50歳代が低くなっています。女性では、70歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問8－(54) 「町は効率的・効果的な行政運営を行っている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 34% (昨年度－%)

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

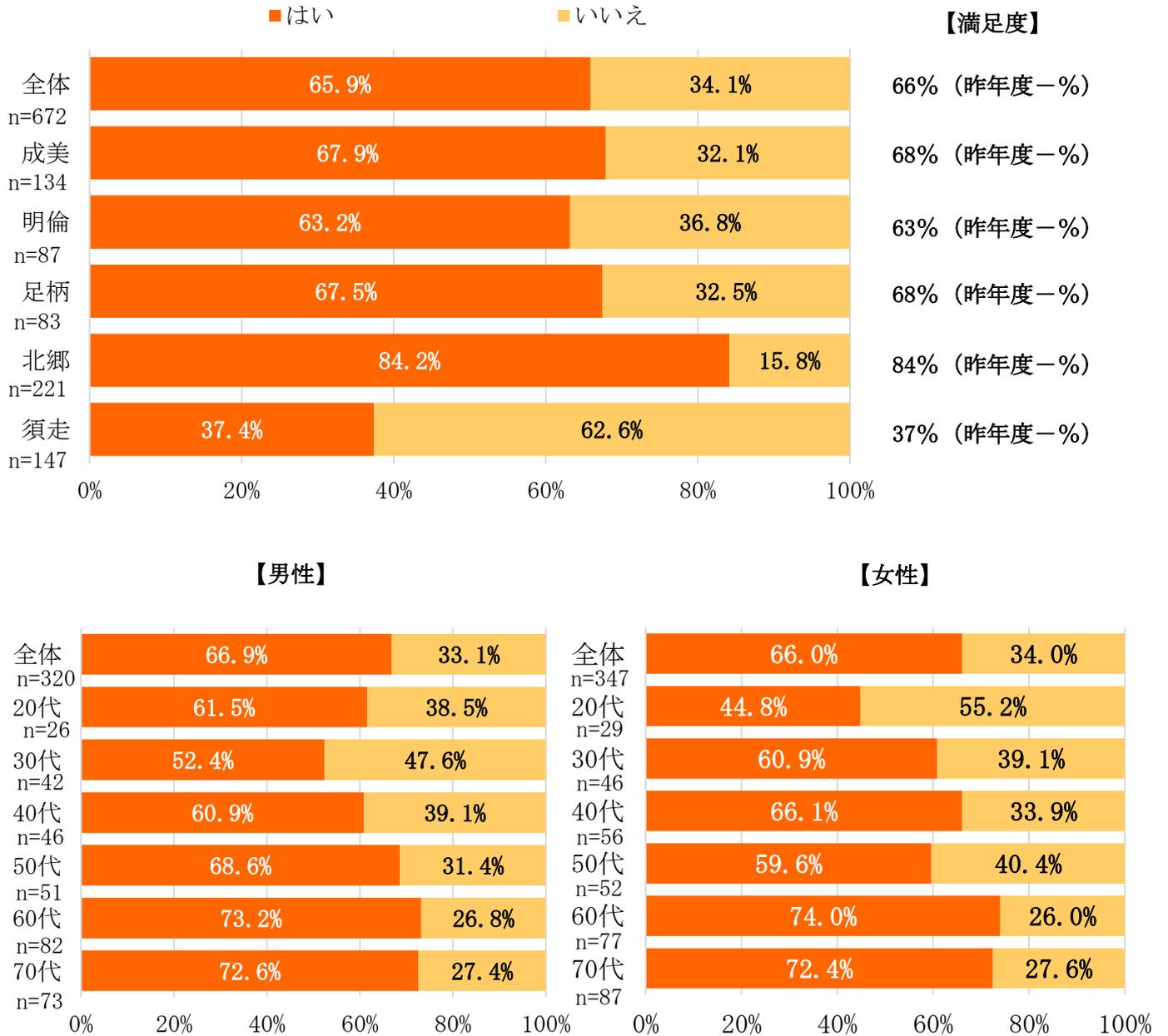


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美・明倫・北郷地区が低い傾向にあります。男女(年齢)別の比較では、男性では、20歳代が高く、30・50・60歳代が低くなっています。女性では、30・70歳代が高く、50歳代が低くなっています。

問 2 5 「あなたは、普段からご家庭で地元産（小山町・御殿場市）のお米を食べていますか。」

「はい」と回答した町民の割合 ⇒ 66%（昨年度－%）

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



地区別の比較では、北郷地区が最も高く、須走地区が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに60歳代・70歳代が高く、男性では30歳代が、女性では20歳代が低い傾向にあります。